

盛岡市総合計画実施計画

— 平成28年度実績 —

目次

1	まちづくりの取組	1
	(1) 施策別	1
	(2) 総括	75
2	戦略プロジェクト	82
3	計画額と実績額の差が1億円以上となった主要事業	91
4	平成28年度完了事業	93
5	自治体経営の取組	95

1 まちづくりの取組

(1) 施策別

施策別の見方

施策の方針について掲載しています。

施策18 生涯学習の推進

誰もが楽しみや生きがいを持ち、豊かに暮らすことができるように、いつでもどこでも学ぶことができる

主要事業の主な取組と、各事業内容、実績を掲載しています。

- ・「新市」欄の「★」は、玉山村との合併時に策定した「盛岡市・玉山村新市建設計画」に登録されている主要事業です。なお、「(★)」は、事業の一部が「盛岡市・玉山村新市建設計画」に登録されている主要事業です。
- ・「計画額」は、平成28年度当初予算額です。
- ・「実績額」は、平成28年度予算額に対する実績額です。
- ・「翌年度繰越額」は、平成29年度へ繰り越した予算額です。
- ・「計画額」「実績額」とも、四捨五入しているため、計と合致しない場合があります。

■ 主要事業の実績

市民が企画する生涯学習活動に市職員や大学教員等を講師として派遣するなど・・・

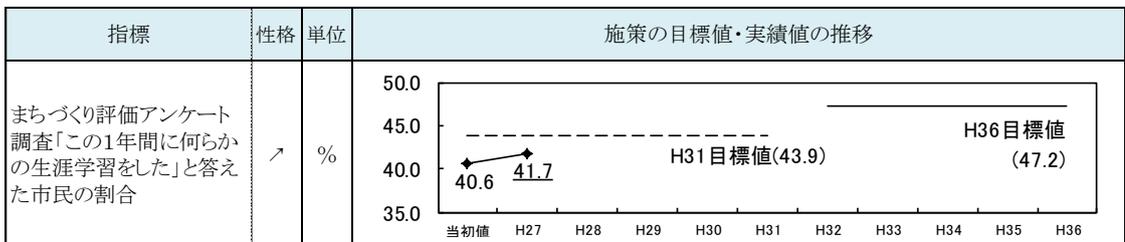
(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
社会教育促進事業	一般	★	学校・家庭・地域連携推進事業、生涯学習推進事業、社会教育団体活動支援、成人のつどい式典実施など	10	9	0

まちづくり指標（成果指標）の状況を掲載しています。

- ・指標は、統計値やアンケート調査の結果に基づいています。
- ・「性格」欄の「↗」は数値を上げていくことを、「↘」は数値を下げっていくことを、「→」は現状を維持していくことを目標としています。
- ・「当初値」は、基本的に平成25年度の実績値を用いています。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

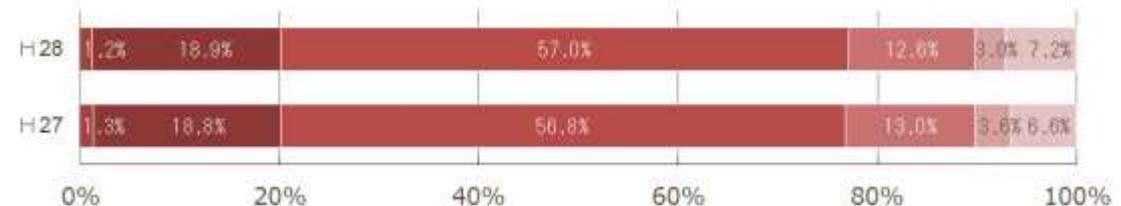


施策に対する市民の実感の状況を掲載しています。

- ・施策への取組状況などについて、市民の皆さんがどのように感じているか、無作為抽出した市民3,000人を対象に毎年アンケート調査を行い、その結果を「市民の実感」として掲載しています。
- ・小数点第2位を四捨五入して算出していますので、合計が100%とならない場合があります。

■ 施策に対する市民の実感

「いつでもどこでも学ぶことができる各種講座の開設や生涯学習環境が整っている」と感じる市民の割合



これからの課題や今後の方向性を掲載しています。

■ これからの課題

市内部の関係課や関係機関等との連携により、「学びの循環推進事業」の活用が定着してきました・・・

■ 今後の方向性

「学びの循環推進事業」や、公民館講座については、・・・

基本目標1 人がいきいきと暮らすまちづくり

施策1 地域福祉の推進

誰もが住み慣れた地域で、それぞれの個性や尊厳を認め合いながら、共に生活を続けることができるように、地域住民が互いに支え合う地域社会の形成を推進します。

■ 主要事業の実績

盛岡市社会福祉協議会や地区福祉推進会への支援を通じ、人と人との支え合う地域づくりの推進を図るとともに、フォーラムや研修会を実施し、地域福祉の担い手の育成を図りました。

また、地域トータルケアシステムの構築に向け、盛岡市社会福祉協議会に地域福祉コーディネーター2名を設置し、各分野の関係機関や民生委員などとの連携を図るとともに、モデル地区を対象に実態調査を実施し、地域福祉活動の現状やニーズの把握に努め、的確なサービスを提供する仕組みづくりに取り組みました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
地域トータルケアシステム構築事業（地域福祉コーディネーター設置補助金）	介護		（社福）盛岡市社会福祉協議会等への地域福祉コーディネーターの設置	11	9	0
地域トータルケアシステム構築事業（地域福祉コーディネーターネットワーク構築事業）	一般		多機関の協働による包括的支援体制構築モデル事業の業務委託	1	6	0
盛岡市社会福祉協議会運営費補助事業	一般	(★)	（社福）盛岡市社会福祉協議会の運営費補助	134	130	0
社会福祉法人指導監督等事業	一般		社会福祉法人の指導監督や設立認可など	12	11	0
地域福祉団体育成事業	一般		地域福祉の推進拠点である地区福祉推進会に対する運営費補助	3	3	0
地域福祉計画推進事業	一般		地域福祉活動の中核的な担い手の育成、地域での日常生活ニーズの調査研究など	0	0	0
施策の計（一般会計）				150	151	0
施策の計（一般会計以外）				11	9	0

・ 地域トータルケアシステム構築事業（地域福祉コーディネーターネットワーク構築事業）

国のモデル事業の採択を受け、補正予算により多機関の協働による包括的支援体制構築モデル事業を実施により、様々な相談支援機関とのネットワークの構築を図り、各分野の関係者が分野横断的な活動を行ないやすい環境の整備を実施したため実績額が大きくなりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

成果指標名（施策）	指標の性格	単位	施策の目標値・実績値の推移																		
まちづくり評価アンケート調査「福祉サービスが適切に受けられる」と答えた市民の割合	↑	%	<table border="1"> <caption>「福祉サービスが適切に受けられる」と答えた市民の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>22.9</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>23.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>33.4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>26.4</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>30.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値 (%)	目標値 (%)	当初値	22.9	-	H27	23.0	-	H28	33.4	-	H31	-	26.4	H36	-	30.0
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																			
当初値	22.9	-																			
H27	23.0	-																			
H28	33.4	-																			
H31	-	26.4																			
H36	-	30.0																			
まちづくり評価アンケート調査「地域で支え合いが進んでいる」と答えた市民の割合	↑	%	<table border="1"> <caption>「地域で支え合いが進んでいる」と答えた市民の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>29.4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>24.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>26.3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>31.7</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>34.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値 (%)	目標値 (%)	当初値	29.4	-	H27	24.0	-	H28	26.3	-	H31	-	31.7	H36	-	34.0
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																			
当初値	29.4	-																			
H27	24.0	-																			
H28	26.3	-																			
H31	-	31.7																			
H36	-	34.0																			

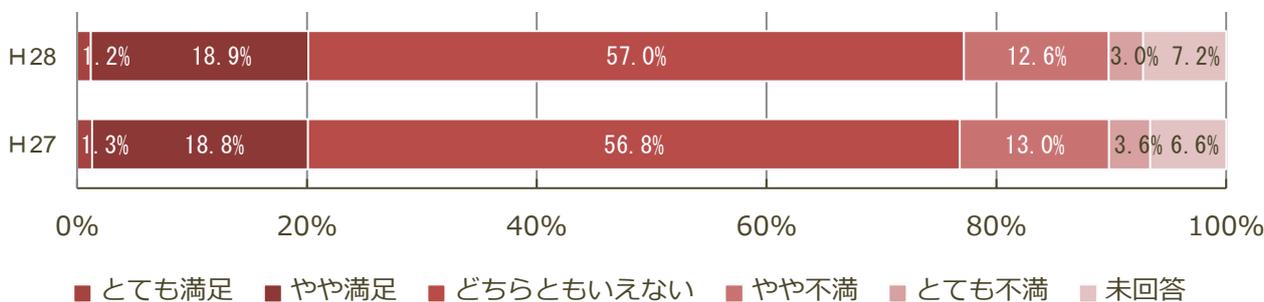
・ 「地域での支え合いが進んでいる」と答えた市民の割合が減少

地域の支えあいの一翼を担うボランティア団体数及びその登録者数がともに5～10%減少したこと、近所付き合いや地域活動に参加する人が少なくなるとともに、地域活動に参加したい人や日常生活の支援への協力ができる人が、そのきっかけを得ることが困難になっていることが考えられます。

また、東日本大震災の発災による災害ボランティアに対する関心の高まりが、年数を経ることにより落ち着いてきたことも一因として挙げられます。

■ 施策に対する市民の実感

「共に支え合い安心して暮らすことができる地域社会の実現に向けた取組が行われている」と感じる市民の割合



■ これからの課題

地域のさまざまな福祉課題は、地域の実情によってとらえ方が異なり、温度差があることから、第2期盛岡市地域福祉計画に基づき、地域福祉コーディネーターの設置を着実に進めながら、個別支援だけでなく、地域資源を活かした仕組みづくりを推進するなど、各分野の相談支援機関などが有機的に連携できるような仕組み（地域トータルケアシステム）を構築して、地域共生社会の実現に向け取り組んでいく必要があります。

また、平成27年度にモデル地区で実施した調査結果をもとに、企業の協力など新たな社会資源の開発も含めた小地域における地域の支え合い体制が機能するような環境の整備や仕組みの構築に向けた取組を進め、公的な福祉サービスだけでなく、持続可能性の高いインフォーマルな福祉サービスやコミュニティビジネスなど、地域の社会資源がその機能を発揮できるような環境の整備や仕組みの構築を進めていくことが求められるほか、それらの活動を担う人材育成を進めることが求められます。

■ 今後の方向性

「地域福祉コーディネーター設置補助事業」により設置した地域福祉コーディネーターを中心に、市内の相談支援機関が有機的に結びつくような体制を構築し、支援を必要とする世帯や相談支援機関に対し、高齢者福祉・障がい者福祉・子ども子育てなどの各福祉分野の専門家がチームとして支援できる体制を構築します。

「地域福祉計画推進事業」の推進により、地域力を一層強化するため住民の身近な圏域で住民が主体的に地域課題を把握して、解決を試みる体制づくりを進める観点から、モデル地区を2地区程度選任して、地域課題に対する相談・情報提供を行います。

共生社会の理念を実現するため、今後の盛岡の未来の担い手としての高校生や大学生の若者も視野に入れた地域課題に関わる実践的なプログラムを実施して、若者の愛郷心を育む場を創りながら、地域福祉活動の活性化と担い手の育成を図ります。

施策2 子ども・子育て，若者への支援

子どもの最善の利益を第一に，希望を持って子どもを産み育て，全ての子どもが健やかに成長できるように，子ども・子育て支援を進めます。

また，困難を抱える若者が自立できるように，社会全体で支援する仕組みを構築します。

■ 主要事業の実績

認可保育所や小規模保育施設等の新規開設相談，保育所等の新設や整備補助の実施により，274人の定員増につなげ，さらに定員の弾力化に取り組み，平成29年4月1日時点で待機児童0人を達成しました。

また，地域子育て支援センター事業を市内保育所8園において，つどいの広場事業を市内2箇所において実施したほか，各医療費給付事業，母子父子寡婦福祉資金，ママのあんしんテレフォン等の子育て支援サービスの周知を図り，子育てしやすい環境づくりを推進しました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
私立児童福祉施設等運営事業	一般		認可された私立保育所，母子生活支援施設の運営委託	5,234	5,093	0
保育所管理運営事業	一般		市内公立保育所の管理運営	476	452	0
特別保育事業	一般	★	保育所での延長保育，一時預かりの実施	217	196	0
地域子育て支援センター事業	一般	★	市内の保育所8園での保育所開放，交流の場の提供，子育て講座，子育て情報の提供など	60	63	0
子育て世代包括支援センター運営事業	一般		妊婦相談や乳幼児家庭訪問，出張子育て相談，子育て支援サービス等の情報提供，ケアプラン作成など	10	9	0
医療費給付事業（妊産婦）	一般		妊産婦医療費給付	90	130	0
医療費給付事業（乳幼児）	一般		乳幼児医療費給付	390	411	0
医療費給付事業（小学生）	一般		小学生医療費給付	162	131	0
母子保健事業	一般		妊婦健康診査，母親教室などの開催，子育て相談	232	234	0
乳幼児健康診査事業	一般	★	3歳児までの各健康診査など	110	111	0
小児救急輪番制病院事業	一般		休日，夜間などに入院治療を必要とする小児重症救急患者を輪番制で診療する病院への運営費補助	154	28	0
施策の計（一般会計）				7,136	6,857	0

・ 医療費給付事業（妊産婦）

平成28年8月から導入された現物給付方式において，限度額適用認定証の利用が低調であり，医療費給付に含まれる高額療養費分が大きくなりました。

・ 小児救急輪番制病院事業

公的病院等への助成事業について，特別交付税措置制度の改正による交付税の減少に伴い，事業規模を基準額の1割に縮小し実施したため，実績額が小さくなりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

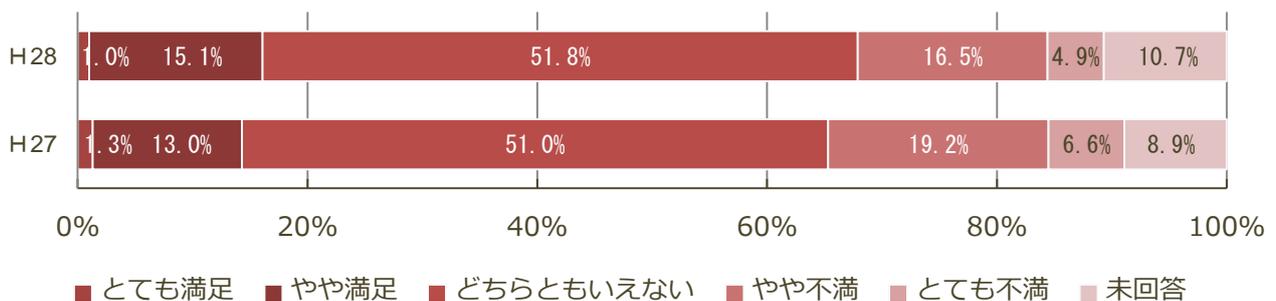
成果指標名(施策)	指標の性格	単位	施策の目標値・実績値の推移																		
子育て支援サービス利用者数	↑	人	<table border="1"> <caption>子育て支援サービス利用者数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>70,179</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>76,691</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>80,223</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>74,000</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>77,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	70,179	-	H27	76,691	-	H28	80,223	-	H31	-	74,000	H36	-	77,000
年度	実績値	目標値																			
当初値	70,179	-																			
H27	76,691	-																			
H28	80,223	-																			
H31	-	74,000																			
H36	-	77,000																			
まちづくり評価アンケート調査「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合	↘	%	<table border="1"> <caption>子育てをつらいと感じている親の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>19.2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>22.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>24.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>14.5</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>10.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	19.2	-	H27	22.0	-	H28	24.0	-	H31	-	14.5	H36	-	10.0
年度	実績値	目標値																			
当初値	19.2	-																			
H27	22.0	-																			
H28	24.0	-																			
H31	-	14.5																			
H36	-	10.0																			
まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合	↑	%	<table border="1"> <caption>支援策が充実していると感じる市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>17.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>13.3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>15.2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>40.0</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>50.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	17.0	-	H27	13.3	-	H28	15.2	-	H31	-	40.0	H36	-	50.0
年度	実績値	目標値																			
当初値	17.0	-																			
H27	13.3	-																			
H28	15.2	-																			
H31	-	40.0																			
H36	-	50.0																			

・ 「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合の増加

28年度実績の内訳は、①「楽しい」と感じる人が多い：33.5%，②どちらかといえば「楽しい」と感じる人が多い：40.5%，③「楽しい」と「つらい」が同じくらい：17.0%，④どちらかといえば「つらい」と感じる人が多い：5.0%，⑤「つらい」と感じる人が多い：2.0%となっており、上記の実績24.0%は、③④⑤の合計値となります。④⑤合わせて7%が「つらい」と感じており、その要因として、閉塞的な環境の中で子育てしている世帯の増加などが考えられます。

■ 施策に対する市民の実感

「安心して産み・育てられる子育て支援の取組が充実している」と感じる市民の割合



■ これからの課題

・ 保育環境の充実

4月1日時点では待機児童は0人となりましたが、育児休業明けなど年度が進むにつれて待機児童が発生する状況にあるので、さらに定員を拡大する必要があります。また、定員拡大を進めることで、保育士も必要となりますが、各園では保育士不足を訴えており、保育士が働きやすい環境を整備するとともに、採用・定着に結びけるような支援を行う必要があります。

・ 育児不安の軽減

虐待等の相談件数が増えており、関係機関と連携強化しながらリスクのある家庭へ早期介入する必要があります。また、まちづくり評価アンケートの「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合の数値を下げる施策・方法の検討が必要です。

- ・ **母子保健・予防の推進**

特定不妊治療については、高額な治療費が必要となりますが、盛岡広域圏の他市町では上乘せ助成を行っていることから、当市でも検討する必要があります。また、産後まもなく安心して子育てできる環境づくりとして、産後ケア事業の検討を行う必要があります。

- ・ **支援体制の充実**

医療費給付について、中学校卒業までの対象拡大が求められています。

- ・ **困難を抱えた子ども・若者の支援**

少年センターの街頭巡回において、より効率的な巡回時間やコースの設定が必要です。

- ・ **児童・青少年の健全育成**

ユースネット登録団体のネットワーク形成を図る必要があります。

■ 今後の方向性

- ・ **保育環境の充実**

社会福祉法人等からの相談に積極的に応じるとともに、国の補助制度等を導入して保育所等の新規・整備を進めます。

- ・ **保育士確保**

平成29年度に、奨学金返済の一部補助を行い、保育所への定着を図っていますが、保育関係者等からの意見を聞きながら次の効果的な対策を講じます。

- ・ **育児不安の軽減**

「子育て応援プラザ」において、市民、団体、企業などが交流できる取組を実施し、子育て中の親の多様なニーズに対応するとともに、人材や団体の育成を図ります。また、要保護児童対策地域協議会を活用し、関係機関と連携を図り、要保護児童、要支援児童の早期発見に努めます。

- ・ **母子保健・予防の推進**

産後ケア事業について、県立大学看護学部との協働研究により、産後の助成のニーズを把握するとともに、産科関係機関と実現可能な内容を検討します。

- ・ **支援体制の充実**

医療費給付については、小学生の通院までの拡充の実績を見極めながら、対象の拡大、無料化を検討します。また、国民健康保険療養費等国庫負担金の減額措置撤廃について引き続き国に対して要望を行います。

- ・ **困難を抱えた子ども・若者の支援**

少年補導委員の研修機会を設け、スキルアップを図り効率的な巡回補導を行います。

- ・ **児童・青少年の健全育成**

各団体へユースネットからの情報発信について周知を図るとともに、各団体が行っている相談窓口情報を収集し、ガイドブックに掲載します。

施策3 高齢者福祉の充実

高齢者が健康で生きがいを持ち、安心して暮らすことができる長寿社会の実現を目指し、高齢者の社会参加を促進するとともに、介護予防や認知症対策などを推進するほか、介護サービス提供体制を強化するなど、高齢者福祉の充実を図ります。

■ 主要事業の実績

地域包括支援センターによる相談体制の充実、はなまるシニア筋力アップ教室などによる介護予防の推進や地域ケア会議などを通じた地域団体や民生委員等との協働により、地域ケア体制の構築を進めました。

また、生きがい活動を支援する「老人福祉センター管理運営事業（27施設）」、「老人クラブ活動促進事業」、「もりおか老人大学開催事業」等を通じ、高齢者の社会参加を促進しました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
地域包括ケアシステム構築事業（地域支援事業）	介護		介護予防事業，地域包括支援センターの運営など	417	402	0
生きがい活動推進事業	一般		老人作品展・老人芸能大会等の支援，敬老バスの運行，スポーツ振興など	30	28	0
介護保険事業（繰出金）	一般		介護保険特別会計への一般会計繰出金	3,433	3,392	0
介護保険事業（施設整備）	一般		老人福祉施設整備に対する補助	528	5	378
介護保険事業（特別会計）	介護		介護保険制度の周知，介護保険サービスの運用など	23,980	23,638	0
施策の計（一般会計）				3,990	3,425	377
施策の計（一般会計以外）				24,397	24,039	0

・ 介護保険事業（施設整備，特別会計）

施設整備については、補助金を活用して施設整備を行う事業者が当初の見込みを下回ったことにより、実績額が小さくなりました。

また、介護サービス給付費が計画額を下回ったことにより、実績額が小さくなりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

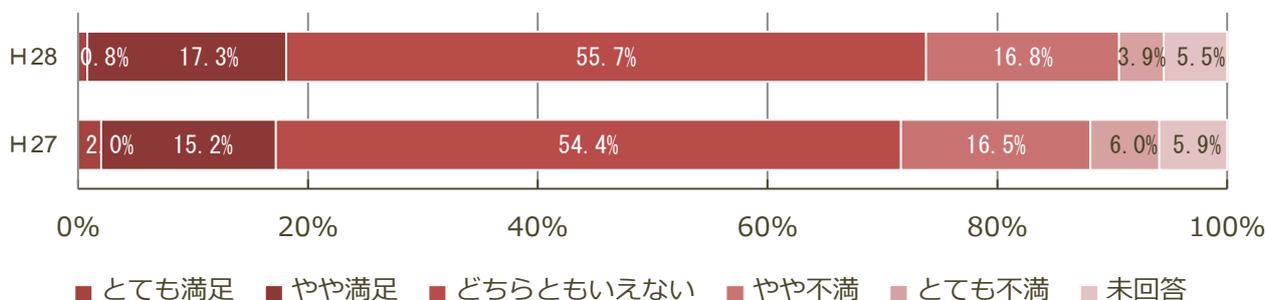
成果指標名（施策）	指標の性格	単位	施策の目標値・実績値の推移												
75歳介護保険認定者数／75歳人口*	→	%	<table border="1"> <caption>75歳介護保険認定者数／75歳人口の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>9.8</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>9.3</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>10.1</td> </tr> <tr> <td>H31目標値</td> <td>9.8</td> </tr> <tr> <td>H36目標値</td> <td>9.8</td> </tr> </tbody> </table>	年度	値	当初値	9.8	H27	9.3	H28	10.1	H31目標値	9.8	H36目標値	9.8
年度	値														
当初値	9.8														
H27	9.3														
H28	10.1														
H31目標値	9.8														
H36目標値	9.8														
まちづくり評価アンケート調査「生きがいを持って暮らしている」と答えた高齢者の割合	↗	%	<table border="1"> <caption>まちづくり評価アンケート調査「生きがいを持って暮らしている」と答えた高齢者の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>66.0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>66.6</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>56.4</td> </tr> <tr> <td>H31目標値</td> <td>66.7</td> </tr> <tr> <td>H36目標値</td> <td>66.7</td> </tr> </tbody> </table>	年度	値	当初値	66.0	H27	66.6	H28	56.4	H31目標値	66.7	H36目標値	66.7
年度	値														
当初値	66.0														
H27	66.6														
H28	56.4														
H31目標値	66.7														
H36目標値	66.7														

* 「75歳介護保険認定者数／75歳人口」は27年度から新たに設定した指標です。当初値は平成26年度の実績とします。

- ・ まちづくり評価アンケート調査「生きがいを持って暮らしている」と答えた高齢者の割合の減少
高齢者が積極的に外に出て、仲間づくりや生きがいづくり、学習に取り組むことは、高齢者の孤立防止や健康増進、介護予防への効果が期待できますが、参加者が減少している事業があり、周知等を工夫する必要があります。

■ 施策に対する市民の実感

「高齢者が積極的に社会参加できる取組や高齢者福祉サービスが充実している」と感じる市民の割合



■ これからの課題

・ 地域包括ケアシステムの構築

地域包括支援センターの体制については、今後も高齢者数に応じて所要の見直しを行っていく必要があります。また、モデル事業として実施した地域での取組は、地域包括ケアシステムの構築に向けて非常に有効であり、他地域に広げていくことが必要です。

・ 高齢者の健康・生きがい対策の充実

高齢者人口が急速に増加する中、特に団塊世代の高齢化に対応するためにも、老人のための明るいまちづくり推進事業などの現行事業について参加者を増やす必要があります。また、住み慣れた地域で気軽に介護予防に参加できるような機会の提供が必要です。

はなまるシニア筋力アップ教室は、現在4会場で実施していますが、今後、教室の実施会場を増やし、更なる成果向上を目指す必要があります。

・ 高齢者福祉サービスの充実

65歳以上の高齢者人口の増加に伴い、介護保険認定者も増加しています。制度の浸透とともに、介護サービス給付費の増大も課題となっていることから、介護予防事業や相談事業の充実とともに、在宅福祉施策や地域ケア体制整備を一層推進する必要があります。また、介護予防事業への参加者数をさらに伸ばすため、参加しやすい環境づくりに力を入れるとともに、事業内容をより市民ニーズに合った内容に見直していく必要があります。

■ 今後の方向性

・ 地域包括ケアシステムの構築

地域包括ケアシステムの構築に向けて、各地域で身近な課題解決から取り組めるよう働きかけを行っていくとともに、取組に当たっては、地域包括支援センターを中核として実施するよう仕組みづくりを行います。

・ 高齢者の健康・生きがいづくりの充実

多様化する高齢者の社会参加や社会貢献等に対するニーズを把握するとともに、事業の周知を工夫し、参加者の増を目指します。はなまるシニア筋力アップ教室は、より身近な地域での参加を促すため、実施箇所の拡充について、民間委託も含めて検討し事業の充実を図ります。

- ・ **高齢者福祉サービスの充実**

高齢者がいつまでも元気に暮らすことができるように、参加者のニーズを捉えた介護予防事業の実施や地域包括支援センターなど身近な相談窓口の更なる周知、必要な在宅福祉施策や地域ケアに適切に結び付けるための関係機関の連携強化に努めます。

施策4 健康づくり・医療の充実

生涯にわたり健やかに暮らすことができるように、健康相談や健康診査などを実施するとともに、医療体制の拡充や医療費を助成するなど、健康づくりと医療の充実を図ります。

■ 主要事業の実績

生活習慣に起因する内臓脂肪症候群やがん等が疑われる早期の段階から、改善や治療に取り組めるよう、各種健診の受診勧奨、健康教育及び健康相談など、身近な地域での保健活動に努めました。

また、市医師会等と連携・協力し、夜間急患診療所や休日当番医、救急医療機関からなる盛岡地区救急医療体制の周知を図ることにより、各医療機関の持つ機能をより明確にし、役割分担と連携による医療提供体制の構築を進めました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
各種健康診査事業	一般	★	女性健康診査や各種がん検診など	435	479	0
健康教育事業	一般	★	保健所フェスタ健康講座、ウォーキング教室、地区健康教室、病態別栄養教室などの開催	2	2	0
精神保健福祉事業	一般		こころの健康についての保健相談、自殺対策強化など	4	3	0
予防接種事業	一般		インフルエンザなどの各種予防接種	773	770	0
感染症対策事業	一般		感染症に関する検診や予防対策の周知など	24	23	0
食品衛生指導事業	一般		食品営業施設の監視指導や食品営業許可など	8	7	0
生活衛生指導事業	一般		公衆浴場に対する営業許可や井戸水の検査など	1	1	0
医務薬務指導事業	一般		医療施設の開設許可や医薬品販売業などの許可・登録、病院への立入検査	1	1	0
第二次救急医療事業	一般	★	休日、夜間などに入院治療を必要とする重症救急患者を輪番制で診療する病院への運営費補助	131	61	0
在宅当番医制事業	一般		休日などに開院する内科、小児科、外科・整形外科、歯科の在宅当番医による診療	8	8	0
夜間急患診療所管理運営事業	一般		夜間の初期救急患者のための内科、小児科の診療（年中無休）	71	70	0
後期高齢者医療事業（繰出金）	一般		後期高齢者医療療養給付費負担金、後期高齢者医療費特別会計への一般会計繰出金など	3,223	3,208	0
後期高齢者医療事業（特別会計）	後期高齢		申請受付、保険料の徴収など	2,893	2,863	0
国民健康保険事業（繰出金）	一般		国民健康保険費特別会計への一般会計繰出金	2,106	1,932	0
国民健康保険事業（特別会計）	国保		国民健康保険の被保険者への保険給付、人間ドック等の保健事業など	31,649	31,059	0
施策の計（一般会計）				6,787	6,564	0
施策の計（一般会計以外）				34,542	33,922	0

・ 第二次救急医療事業

公的病院等への助成事業について特別交付税措置制度の改正による交付税の減少に伴い、事業規模を基準額の1割に縮小し実施したため、実績額が減額となりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

成果指標名(施策)	指標の性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
3大死因*1の死亡率(人口10万対年齢調整死亡率*2)*3	↘	割合	
まちづくり評価アンケート調査「身近に健康について相談できる人がいる」と答えた市民の割合	→	%	
まちづくり評価アンケート調査「いつでも受診できる医療機関がある」と答えた市民の割合	→	%	

*1 3大死因

悪性新生物, 心疾患, 脳血管疾患のこと。

*2 年齢調整死亡率

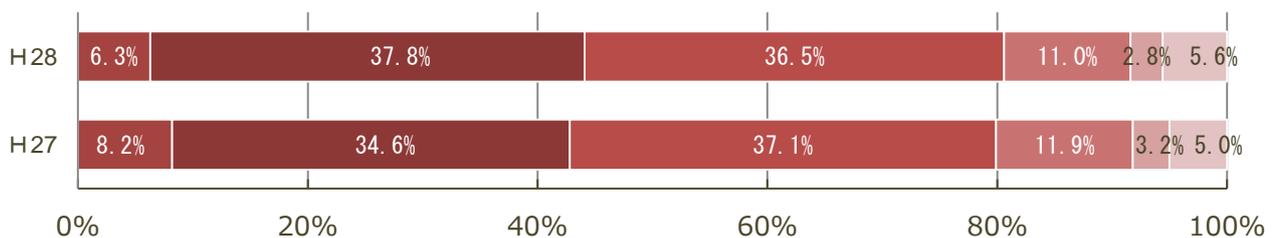
人口構成の異なる集団間で比較するために, 死亡率を一定の基準人口にあてはめて算出した指標である。

*3 平成28年度の実績値は, 30年3月に公表予定。

- まちづくり評価アンケート調査「身近に健康について相談できる人がいる」, 「いつでも受診できる医療機関がある」と答えた市民の割合の減少

保健医療圏における初期救急医療体制（特に小児科）の整備や医師, 看護師不足への対応が急がれており, 特に, 県内の深刻な医師不足（小児科医師の高齢化など）の解消が必要とされています。

■ 施策に対する市民の実感



■ とても満足 ■ やや満足 ■ どちらともいえない ■ やや不満 ■ とても不満 ■ 未回答

「健康診断や予防接種, 健康相談がしやすい」と感じる市民の割合

■ これからの課題

- 健康の維持, 予防, 衛生対策の推進

3大疾病による死亡の割合は, 依然として死因の約6割を占めており, 病気の早期発見・早期治療のための健診受診率の向上がさらに求められます。また, 生活習慣病予防や介護予防等, 将来安定したQOL（生活の質）の向上を獲得するため, 市民が気軽に参加できる健康教育・健康相談等の実施や

健康づくりをサポートする関係機関，食生活改善推進員団体連絡協議会などと連携を図りながら，市民自らが主体的に健康づくりに取り組む環境づくりを進める必要があります。

全国的に食中毒の防止等，食の安全が重要な課題となっており，特に食品衛生については，法令等と最新の科学的な根拠に基づく監視指導と正しい食品衛生知識を普及啓発する取組を強化する必要があります。

・ 医療機関との連携

重症患者の治療の妨げや医師の過重労働による疲弊などを防止するため，第二次・第三次救急医療機関の適切な利用と「かかりつけ医」を持つという意識の醸成を図ることを促す必要があります。また，医師確保問題の解決は，個々の自治体の努力のみでは困難であることから，今後とも県全体で継続的に取り組む必要があります。

・ 医療の充実

国保制度を健全に運営するためには，ジェネリック医薬品活用の促進や多重・頻回受診者への訪問指導，特定健康診査・特定保健指導の受診及び実施率向上を図るとともに，健康診査等を通じた病気の早期発見・予防を推進し，医療費抑制に取り組む必要があります。また，国民健康保険税の収納においては，滞納者の実態の把握に努め，効率的・効果的な催告，差押，執行停止，分納の進行管理を行うなど，なお一層の収納率向上対策の推進が必要です。

■ 今後の方向性

- ・ 感染症の拡大防止及び予防接種の接種率向上のため，周知・啓発，個別通知等を継続して実施するとともに，結核検診の要精密検査対象者へ受診を勧奨します。
- ・ 健康づくり行動を推進する手段として，がん検診受診者や健康教室受講者等への健康ポイント付与等の健康づくりに向けたインセンティブの提供について研究します。
- ・ 衛生指導・監視業務に従事する食品衛生監視員等の適正配置・確保を図ります。
- ・ 職員の資質向上・研鑽に努め，経験の蓄積を図ります。
- ・ 浴場施設等に係る適切な衛生管理手法（ＡＴＰ検査法等）について，普及啓発を図ります。
- ・ 県内における医師の確保，特に，小児科医師の負担の軽減，医師不足に対応します。
- ・ 盛岡市内における看護職員の確保と看護師養成に対応します。
- ・ 適切な受診への誘導・啓発を行います。
- ・ 納税推進センター運営の効率化，ペイジー口座振替受付サービス利用による口座振替の勧奨の継続，コンビニ，ゆうちょ銀行等収納チャンネルの拡大を推進し，国民健康保険税の収納を強化します。
- ・ 被保険者1人1人が自らの健康の保持に努める意欲（意識）を高めていけるよう各種保健事業の充実を図る他，医療費通知やジェネリック医薬品への転換勧奨通知等により，コスト意識の醸成を行います。

施策5 障がい者福祉の充実

障がい者が地域の一員として安心して暮らすことができるように、障がいや障がい者への市民の理解と交流を促進するとともに、障がい者福祉サービスの充実を図ります。

■ 主要事業の実績

盛岡市障がい者福祉計画に基づき、障がい者への理解と交流の促進、障がい者福祉サービスの充実に向けた各種事業を実施し、障がいのある人もない人も、相互に人格と個性を尊重しあう共生社会の実現を進めました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
地域生活支援事業	一般		意思疎通支援, 日常生活支援, 移動支援, 地域活動支援センター機能強化など	242	236	0
障がい者相談支援事業	一般		身体・知的・精神に係る相談事業, 福祉サービスなどに関する情報提供など	34	34	0
障がい者福祉施設整備助成事業	一般		障がい者福祉施設整備に対する助成	0	5	0
介護給付等給付事業	一般		障がい者に対する居宅介護や生活介護, 施設入所支援などのサービス給付	2,727	2,832	0
訓練等給付事業	一般		障がい者の機能訓練, 生活訓練, 就労支援など	1,929	2,061	0
医療費給付事業(重度)	一般		重度心身障がい者医療費給付	733	722	0
医療費給付事業(中度)	一般		中度身体障がい者医療費給付	215	210	0
施策の計(一般会計)				5,880	6,099	0

・ 障がい者福祉施設整備助成事業

当初計画していなかった、障がい者施設の防犯対策に係る助成事業を実施したため、実績額が大きくなりました。

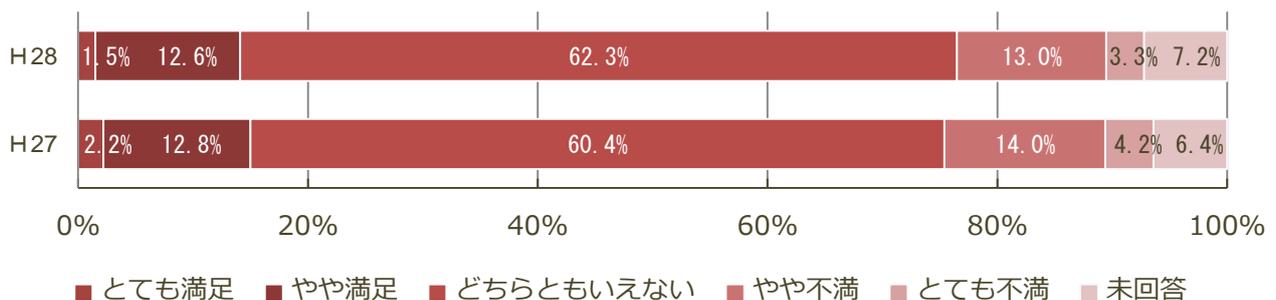
■ まちづくり指標（成果指標）の状況

成果指標名(施策)	指標の性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
障がい福祉サービス受給者数	↗	人	<p>当初値 2,460 H27 2,780 H28 2,969 H31目標値(3,300) H36目標値(4,100)</p>
施設から地域への移行*	↗	人	<p>当初値 96 H27 114 H28 134 H31目標値(150) H36目標値(195)</p>
施設から一般就労への移行	↗	人	<p>当初値 18 H27 45 H28 44 H31目標値(19) H36目標値(19)</p>
管内事業所の障がい者雇用率	↗	%	<p>当初値 1.74 H27 1.83 H28 2.00 H31目標値(2.00) H36目標値(2.00)</p>

* 国の目標値に合わせ、障害者施設からの地域移行者数としています。

■ 施策に対する市民の実感

「障がい者が安心して暮らすことができるまちづくりや障がい福祉サービスが充実している」と感じる市民の割合



■ これからの課題

障害者差別解消法の周知を継続して行う必要があります。

また、個々の福祉サービス事業所間の連携や困難事例を相談できる体制の整備が必要です。

■ 今後の方向性

平成29年度は障害者差別解消法地域フォーラムを内閣府、岩手県との共催により開催するなど、障害者差別解消法の周知に取り組みます。また、平成29年4月に、既存の相談支援体制に加えて、個々の福祉サービス事業所間の連携や困難事例を相談できる施設として盛岡市基幹相談支援センターを新たに設置し、総合的・専門的な相談支援を実施するとともに、地域の相談支援体制の強化に取り組みます。

バリアフリーマップについて、施設の増減が随時ありますが、掲載情報の更新が行われていないことから、専門業者に調査業務を委託して実施することにより、障がい者が地域の一員として安心して生活できると共に市民の障がい者への理解を進めます。

施策6 生活困窮者への支援

生活困窮者が自立し安定した暮らしができるように、生活保護制度や生活困窮者自立支援制度などによる支援を推進します。

■ 主要事業の実績

福祉事務所内にハローワークの常設窓口を開設するなど、ハローワークとの連携を強化し、就労支援事業活用プログラムを充実させるとともに、稼働能力活用プログラムや職場体験等事業を積極的に推進し、生活保護受給者を対象に経済的自立や社会参加を促進しました。

また、生活困窮者自立支援法に基づき、生活相談窓口「盛岡市くらしの相談支援室」を設置したほか、一定の要件のもと、家賃相当額を支給する住居確保給付金の支給、子どもの学習支援として中高生に対する就学相談や中学生に対する学習支援、直ちに一般就労への移行が困難な方への就労に向けた訓練を行い、生活困窮者の自立の促進を図りました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
生活保護事業	一般		生活困窮者の就労、住宅確保、学習等の支援及び自立に関する相談支援など	7,910	7,385	0
生活困窮者自立支援事業	一般		生活相談や学習支援、就労支援及び住居確保給付金給付	45	44	0
医療費給付事業（ひとり親家庭）	一般		ひとり親家庭等医療費給付	144	143	0
医療費給付事業（寡婦等）	一般		寡婦・寡夫医療費給付	59	60	0
公営住宅整備事業	一般		青山二丁目、三丁目アパートの建替や既存公営住宅の改修工事など	1,111	913	22
施策の計（一般会計）				9,269	8,545	22

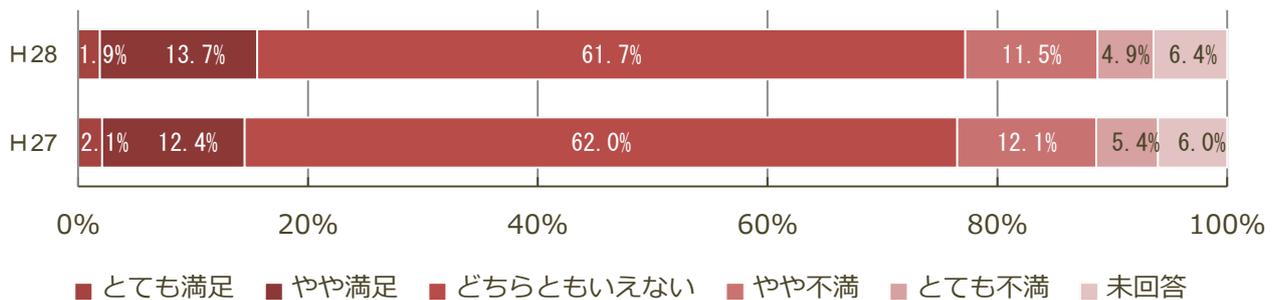
■ まちづくり指標（成果指標）の状況

成果指標名(施策)	指標の性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
生活保護受給世帯から自立した世帯の割合(死亡・移管・失踪などを除く)	↗	%	
生活困窮者の自立支援相談の解決率*	→	%	

* 27年度から新たに設定した指標。生活困窮者自立支援法の施行(27年4月)に伴い実施する事業において実績を把握するため、当初値は表示していない。目標値については、類似事業の実績値を基に設定している。

■ 施策に対する市民の実感

「生活保護や医療助成などの生活の自立を支援する取組が行われている」と感じる市民の割合



■ これからの課題

生活困窮者自立支援事業の新規相談者は減少傾向にある反面、解決が困難な支援対象者数は増加傾向にあり、自立相談支援機関の体制強化が必要です。市営住宅については、引き続き盛岡市市営住宅長寿命化計画に基づく計画的な建て替えや修繕等が課題となります。また、市営住宅の建て替えや修繕等に必要となる事業費の縮減を図る工夫も必要です。

■ 今後の方向性

支援対象者を幅広く受け止めパーソナルサポートサービスを実施し、解決困難な支援対象者に対し、庁内関係各課を始め、各分野の専門機関との連携を強化し課題解決を図ります。

市営住宅については、今後も盛岡市市営住宅長寿命化計画に位置づけながら、効率的で効果的な改善手法の検討や、実施スケジュール等の見直しを図ります。

施策7 人権尊重・男女共同参画の推進

お互いを理解しながら個人が尊重される社会を実現するため、人権尊重の精神と平和の尊さの意識啓発に取り組むとともに、男女が、均等に利益を享受し、責任も分かち合いながら、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画を推進します。

■ 主要事業の実績

盛岡人権擁護委員協議会の活動の補助、原爆写真パネル展の開催等を通じ、平和や人権啓発の推進を図りました。

また、男女共同参画を推進する団体の取組の支援、男女参画サポーター養成講座や男女共同参画推進リーダー育成事業の実施、情報誌の発行などにより、男女共同参画意識の高揚に努め、配偶者暴力相談支援センターにおいては、DVに対する相談や支援を行いました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
人権擁護事務	一般		人権の花運動、幼稚園・保育園での人権啓発事業、盛岡市人権擁護委員協議会活動補助	1	1	0
男女共同参画意識啓発事業	一般		男女共同参画意識を高めるために、情報誌「あの・なはん」の作成や男女共同参画に資する人材を育成するための講座の開催など	1	1	0
配偶者等暴力防止事業	一般		DV相談、支援及び被害を予防するための啓発など	3	3	0
施策の計（一般会計）				4	4	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

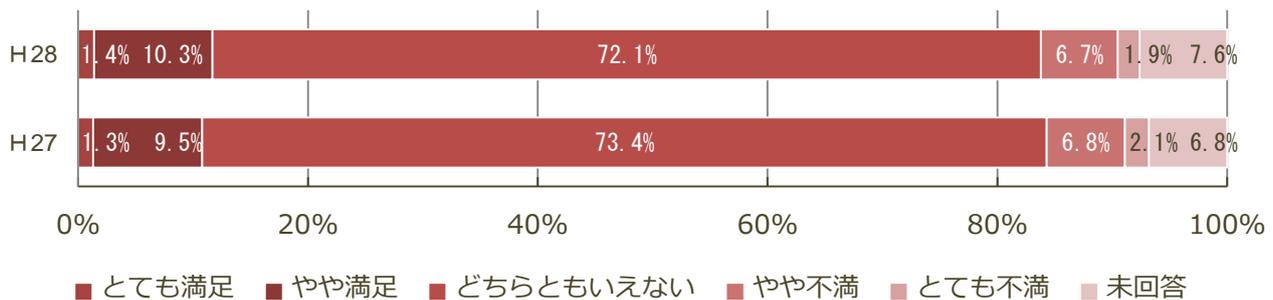
成果指標名（施策）	指標の性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
人権相談件数(女性センター女性相談、子ども未来課家庭・婦人相談)	→	件	<p>7,5000 6,5000 5,5000 4,5000 3,5000</p> <p>4,345 5,807 6,358</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(4,350) H36目標値(4,350)</p>

・ 人権相談件数が増加

人権啓発の取組は、盛岡人権擁護委員協議会への補助金の支出に留まり、活動への積極的な関与に至っていないと考えられます。また、女性相談や婦人相談などの人権に関する相談は、解決などにより相談を必要とする人が減る（相談件数が減る）ことが理想であることから、中長期的には相談件数を維持することを目指していますが、現状は相談窓口の周知が進んだことで、相談者が顕在化し件数が増加したものと分析しています。

■ 施策に対する市民の実感

「男女共同参画社会の推進や人権問題への取組が行われている」と感じる市民の割合



■ これからの課題

「男女共同参画社会の推進や人権問題への取組が行われている」と感じる市民の割合が、「とても満足」「やや満足」を合わせても10%程度と依然低い一方で、7割を超える人が「どちらともいえない」と回答しており、取組への満足度だけでなく、取組の認知度が低いと推察され、いかに認知度を高めるかが課題となっています。

また、社会情勢の変化とともに、当該施策における新たな課題（海外、特に北朝鮮情勢の不安定さ、インターネット上の人権侵害、外国人等の人権問題など）が現れてきています。

■ 今後の方向性

人権相談や非核平和の推進に係る各事業の認知度を向上させるため、前例にとらわれず、SNSなどのツールを活用した周知を図るとともに、幅広い世代が関心を持つように、事業内容を工夫します。

また、女性活躍推進法の趣旨を踏まえ、審議会等の女性委員就任率向上に向けて、庁内外への働きかけを強めるほか、DV相談の増加・広域化に対応するため、配偶者暴力相談支援センターの運営体制を強化するとともに、国、県、関係機関とのさらなる連携を図ります。

施策8 安全・安心な暮らしの確保

市民の安全・安心な暮らしを確保するため、自然災害や火災、健康被害など、あらゆる危機に対し強いまちを目指し、防災や防犯対策、消防力の充実などに取り組みます。

■ 主要事業の実績

自然災害に備え、被害を軽減するため、防災・減災意識の高揚、自主防災組織の結成促進に取り組むとともに、河川の整備や急傾斜地の対策を進めました。

また、交通安全や防犯対策を推進するため、講習会や広報紙での啓発、活動団体への支援などを行いました。空き家等対策として、空き家に係る講座の実施や専門家による相談会を実施しました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
急傾斜地崩壊対策事業	一般		繋地区の対策工事及び山岸地区の詳細設計	9	0	9
都市基盤河川改良事業	一般	★	一級河川南川の改修工事など	294	98	182
自主防災組織育成事業	一般		防災資機材等の交付、地域防災組織育成助成事業補助など	10	8	0
危機管理防災事業	一般		危機管理及び防災体制の構築・推進、危機管理指針の運用	16	19	0
防災施設整備事業	一般		避難所備蓄品（アルファ化米、災害用トイレ等）、防災ラジオの購入など	8	11	0
盛岡地区広域消防組合負担金事務	一般		消防署の運営、消防車両の更新、中央消防署庁舎ほかの消防施設の整備など	3,415	3,308	0
消防団管理事務	一般		消防団員報酬、出動手当、消防団装備購入など	203	198	0
消防施設整備事業	一般	(★)	小型動力ポンプ付積載車・消防ポンプ自動車の更新、消防屯所の整備など	85	80	0
交通安全教育事業	一般		交通安全教室の開催	9	9	0
交通指導員活動事業	一般		交通指導員活動（登校時、下校時における街頭指導）	44	47	0
防犯活動事業	一般		市防犯協会事業費助成、防犯活動支援	6	6	0
空き家等対策推進事業	一般		空き家等の相談受付、現地確認、周辺環境に悪影響を及ぼしている空き家等の所有者に対する適正管理に係る助言	3	5	0
消費者行政推進事業	一般		消費生活相談、多重債務者対策、食品に係る放射性物質の検査など	39	38	0
施策の計（一般会計）				4,142	3,826	192

・ 防災施設整備事業

平成28年熊本地震の発生により被災した熊本市に対し、備蓄物資の支援を行い、その後、備蓄物資の補充をおこなったため、実績額が大きくなりました。

・ 空き家等対策推進事業

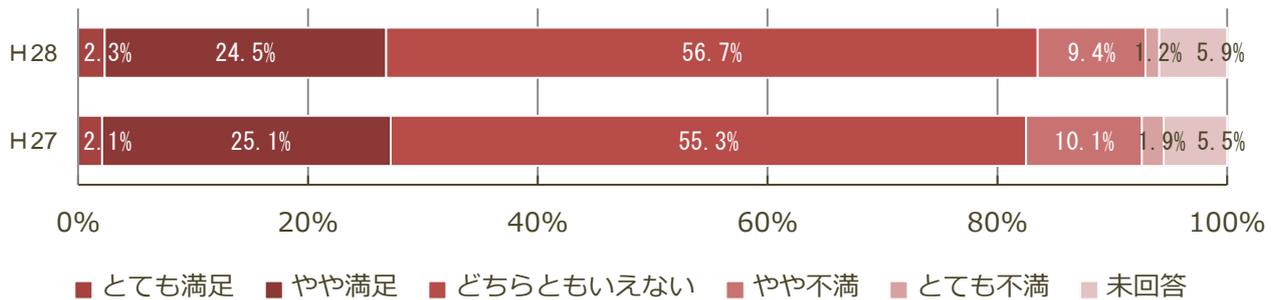
空き家等実態調査関係業務の効率化のため、新たに2名の臨時補助員を9月から雇用したため、実績額が大きくなりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

成果指標名(施策)	指標の性格	単位	施策の目標値・実績値の推移																		
まちづくり評価アンケート調査「避難場所を知っている」と答えた市民の割合	↗	%	<table border="1"> <caption>避難場所を知っている市民の割合</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>69.0</td><td>-</td></tr> <tr><td>H27</td><td>72.7</td><td>-</td></tr> <tr><td>H28</td><td>76.2</td><td>-</td></tr> <tr><td>H31</td><td>-</td><td>75.0</td></tr> <tr><td>H36</td><td>-</td><td>80.0</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	69.0	-	H27	72.7	-	H28	76.2	-	H31	-	75.0	H36	-	80.0
年度	実績値	目標値																			
当初値	69.0	-																			
H27	72.7	-																			
H28	76.2	-																			
H31	-	75.0																			
H36	-	80.0																			
まちづくり評価アンケート調査「防災対策をしている」と答えた市民の割合	↗	%	<table border="1"> <caption>防災対策をしている市民の割合</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>60.7</td><td>-</td></tr> <tr><td>H27</td><td>57.9</td><td>-</td></tr> <tr><td>H28</td><td>62.1</td><td>-</td></tr> <tr><td>H31</td><td>-</td><td>70.0</td></tr> <tr><td>H36</td><td>-</td><td>80.0</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	60.7	-	H27	57.9	-	H28	62.1	-	H31	-	70.0	H36	-	80.0
年度	実績値	目標値																			
当初値	60.7	-																			
H27	57.9	-																			
H28	62.1	-																			
H31	-	70.0																			
H36	-	80.0																			
人口1万人当たりの火災発生件数	→	件	<table border="1"> <caption>人口1万人当たりの火災発生件数</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>1.7</td><td>-</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1.6</td><td>-</td></tr> <tr><td>H28</td><td>1.5</td><td>-</td></tr> <tr><td>H31</td><td>-</td><td>1.7</td></tr> <tr><td>H36</td><td>-</td><td>1.7</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	1.7	-	H27	1.6	-	H28	1.5	-	H31	-	1.7	H36	-	1.7
年度	実績値	目標値																			
当初値	1.7	-																			
H27	1.6	-																			
H28	1.5	-																			
H31	-	1.7																			
H36	-	1.7																			
人口1万人当たりの刑法犯発生件数	→	件	<table border="1"> <caption>人口1万人当たりの刑法犯発生件数</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>68.4</td><td>-</td></tr> <tr><td>H27</td><td>57.6</td><td>-</td></tr> <tr><td>H28</td><td>51.2</td><td>-</td></tr> <tr><td>H31</td><td>-</td><td>68.4</td></tr> <tr><td>H36</td><td>-</td><td>68.4</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	68.4	-	H27	57.6	-	H28	51.2	-	H31	-	68.4	H36	-	68.4
年度	実績値	目標値																			
当初値	68.4	-																			
H27	57.6	-																			
H28	51.2	-																			
H31	-	68.4																			
H36	-	68.4																			
不適正な管理状態にある空き家等の相談件数	↗	件	<table border="1"> <caption>不適正な管理状態にある空き家等の相談件数</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>60</td><td>-</td></tr> <tr><td>H27</td><td>178</td><td>-</td></tr> <tr><td>H28</td><td>139</td><td>-</td></tr> <tr><td>H31</td><td>-</td><td>85</td></tr> <tr><td>H36</td><td>-</td><td>85</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	60	-	H27	178	-	H28	139	-	H31	-	85	H36	-	85
年度	実績値	目標値																			
当初値	60	-																			
H27	178	-																			
H28	139	-																			
H31	-	85																			
H36	-	85																			
消費生活相談の解決率（解決した件数／消費生活相談件数）	↗	%	<table border="1"> <caption>消費生活相談の解決率</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>98.5</td><td>-</td></tr> <tr><td>H27</td><td>98.8</td><td>-</td></tr> <tr><td>H28</td><td>98.9</td><td>-</td></tr> <tr><td>H31</td><td>-</td><td>99.0</td></tr> <tr><td>H36</td><td>-</td><td>99.0</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	98.5	-	H27	98.8	-	H28	98.9	-	H31	-	99.0	H36	-	99.0
年度	実績値	目標値																			
当初値	98.5	-																			
H27	98.8	-																			
H28	98.9	-																			
H31	-	99.0																			
H36	-	99.0																			

■ 施策に対する市民の実感

「安全・安心な暮らしを確保するための防災対策や防犯、交通安全、消費者相談などの取組が行われている」と感じる市民の割合



■ これからの課題

・ 危険箇所の解消

河川整備率の向上に向け、更なる事業費の確保と、土砂災害対策においては県との連携が必要です。

・ 地域防災力の強化

国・県の浸水想定区域の見直し等を反映した防災マップの作成・配布など、災害時に市民が迅速かつ的確に避難行動をとることができるような環境づくりを進めるとともに、自主防災組織の結成促進・育成強化を図る必要があります。

・ 消防・救急の充実

消防団の消防防災活動に必要な装備の整備を進めるとともに、消防団員に対する環境整備を図りながら、消防団の幹部等による団員確保の取組を行うほか、新採用職員等を対象とする体験入団の継続実施やその他の職員に対する呼びかけを行うなどの取組が必要です。

・ 交通安全の推進

交通事故の割合が高い高齢者に対する事故防止啓発活動を重点的に取り組む必要があります。

・ 防犯対策の推進

子どもに対する声かけ事案や還付金詐欺等の特殊詐欺に対し、子ども見守り活動への支援や警察等関係機関と連携した啓発活動の強化を図る必要があります。

・ 空き家等対策の推進

空き家等を発生させない取組が必要です。

・ 消費者の自立支援

消費者をめぐる社会状況に応じた施策・事業を推進するため、正規職員の人員を増やすなど組織の改善が必要です。

■ 今後の方向性

・ 危険箇所の解消

「準用河川改修事業」及び「都市基盤河川改修事業（南川）」の交付金配分について、統一要望時などの機会を捉え、国・県に要望して予算の確保を図るとともに、「準用河川改修事業」については、予算内での配分や施工方法を検討して、効率的な事業の進捗を図ります。また、「急傾斜地崩壊対策事業」については事業の進捗が図られるよう県に協力して、事業関係者への対応に取り組めます。

・ 地域防災力の強化

避難場所等の周知を図るため、「防災マップ」の作成・配布や、「防災マップ」の活用が図られるよう、説明会等を開催するとともに、総合防災訓練やシェイクアウト、土砂災害訓練などの住民参加型訓練や地域が主体となって行われている防災訓練等の場を活用し、防災に関する出前講座を実施します。

また、自主防災組織が未結成の町内会等に直接働きかけ、結成を促します。結成済みの自主防災組織に対しては、研修や訓練などが実施される際に職員を派遣し、指導を行います。

- ・ **消防・救急の充実**

「消防団管理事務」及び「消防施設整備事業」において、消防団の消防防災活動に必要な装備の整備を進めるとともに、消防団員に対する環境整備を図りながら、消防団の幹部等による団員確保の取組を行うほか、消防団員の優遇制度等の導入を検討します。また、市としては、新採用職員等を対象とする体験入団の継続実施やその他の職員に対する呼びかけを行います。

- ・ **交通安全の推進**

高齢者交通安全教室開催のPR、警察等交通安全関係団体との連携による高齢者に対して更なる啓発を行います。

- ・ **防犯対策の推進**

必要と思われる防犯パトロール用品のアンケートを実施するとともに、警察等関係機関と連携した啓発活動を強化します。

- ・ **空き家等対策の推進**

不動産鑑定士や宅地建物取引士など専門家による、空き地・空き家の売却、賃貸、相続などに関する相談会を実施します。

- ・ **消費者の自立支援**

正規職員の人員を増員し、事務的作業をする管理チームと必要な施策・事業を推進する事業チーム（消費者教育・啓発を含む）の組織化に向けて取り組みます。

施策9 地域コミュニティの維持・活性化

地域コミュニティがこれまで担ってきた多岐にわたる役割を維持し、活動を活性化するため、地縁又は目的を共にする団体などへの支援に取り組みます。

■ 主要事業の実績

協働推進奨励金制度の創設により、自治会・町内会の事務負担を軽減しました。

また、地域と市とのパイプ役を果たす地域担当職員を地区毎に配置し、市民協働の推進を支援するとともに、コミュニティ推進地区に対して情報提供や活動助成を行ったほか、地域づくり計画に基づく事業に対して補助を行いました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
コミュニティ推進事業	一般		30のコミュニティ推進地区に対する情報提供や活動助成など	12	10	0
公衆街路灯等事業	一般		町内会などに対する公衆街路灯の電気料及び設置費補助	187	134	0
市民運動総括事業	一般		あすを築く盛岡市民運動実践協議会の運営費補助	1	1	0
地域協働推進事業	一般		地域づくり計画に基づく事業に対して事業費を補助	13	10	0
地区行政事務	一般		町内会、自治会活動に対する協働推進奨励金交付	82	79	0
施策の計（一般会計）				295	234	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

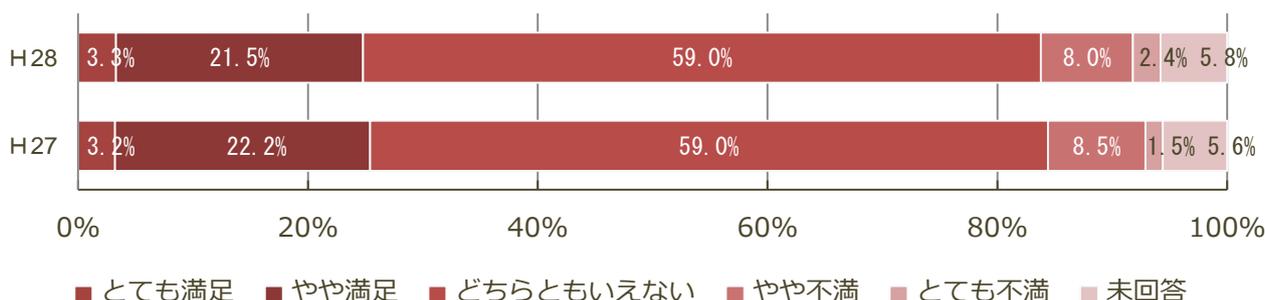
成果指標名（施策）	指標の性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
まちづくり評価アンケート調査「この1年間に地域のコミュニティ活動に参加したことがある」と答えた市民の割合	↑	%	<p>当初値 46.5 H27 46.7 H28 43.8 H31目標値(51.5) H36目標値(56.5)</p>

・ この1年間に地域のコミュニティ活動に参加したことがあると答えた市民の割合の減少

各コミュニティ推進地区組織等では、それぞれ工夫をこらした様々な事業を活発に行っておりますが、参加者が固定化し、現役世代を含めた比較的若い世代を呼び込めていないことが想定されます。

■ 施策に対する市民の実感

「町内会などの地域活動を支援する取組が行われている」と感じる市民の割合



■ これからの課題

- ・ 町内会等の役員の事務や労力の負担軽減のためのNPOの活用の検討が必要です。
- ・ 賃貸アパートやマンションなどの入居世帯の町内会・自治会への加入率の低さが課題となっています。
- ・ 役員の高齢化や人口減少に伴う小規模町内会への対応が必要です。
- ・ 地域活動に対する意識の変化に対応する必要があります。

■ 今後の方向性

- ・ 町内会・自治会等に対する補助金・謝礼金をまとめ、さらに事務負担の軽減を図ります。
- ・ 地域担当職員制度と、並行して行う職員研修を通じた職員の意識の改革による支援強化を図ります。
- ・ 市民協働推進センターの周知徹底と、職員の知識・資質の向上により支援を充実させます。

施策10 生活環境の保全

大気汚染、水質汚濁、騒音などの監視の継続や廃棄物の適正処理などを図り、良好で快適な生活環境の保全に取り組みます。

■ 主要事業の実績

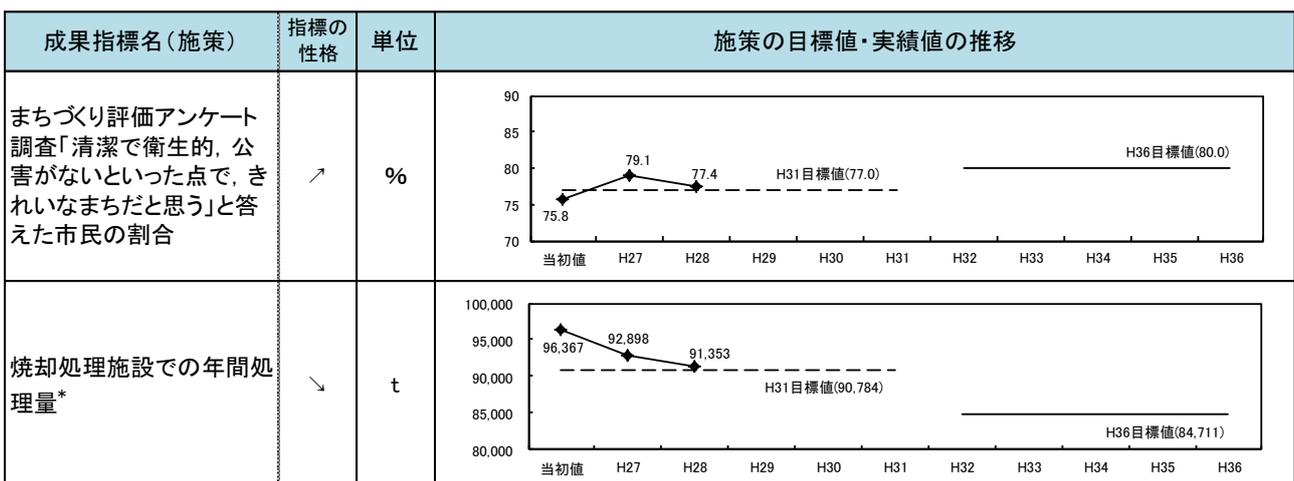
公害防止対策として、大気、水質、騒音、振動、臭気の測定・監視を行い、その結果を公表しました。

また、クリーンセンターの設備改修を行い、家庭や事業所から排出される廃棄物が適切に処理されるよう努めました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
クリーンセンター設備改修事業	一般		焼却施設改修工事などの施設整備	203	195	0
公害防止対策事業	一般		大気、水質、騒音などの測定、監視など	25	22	0
施策の計（一般会計）				228	218	0

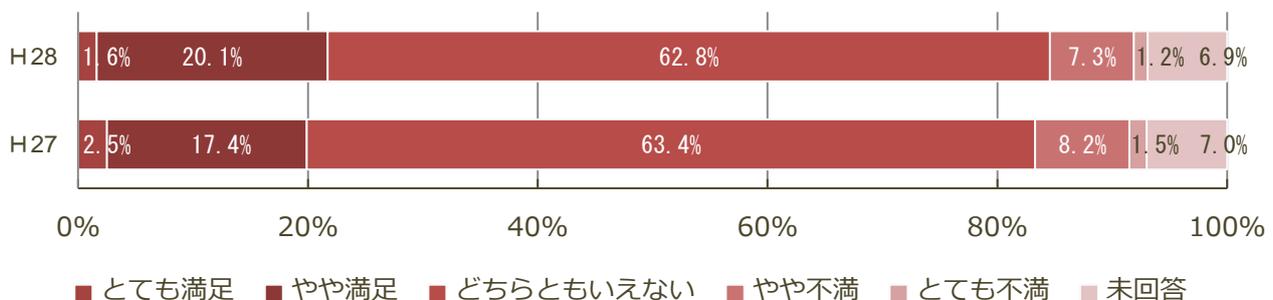
■ まちづくり指標（成果指標）の状況



* 盛岡市一般廃棄物処理基本計画の改訂にあわせ、平成28年度に目標値を変更

■ 施策に対する市民の実感

「身近な生活環境が保全されている」と感じる市民の割合



■ これからの課題

・ 環境衛生の確保

盛岡地域の塵芥収集運搬業務について、平成26年6月に収集運搬体制の見直しを行いました。収集時間の短縮等まだ改善する余地があるほか、玉山地域の住民が、ごみの出し方に関してとまどいが

生じています。また、違反ごみが増加している状況にも対策が必要です。さらに、市クリーンセンターは、工場の稼働開始から19年が経過し、計画的な改修工事が必要です。

- ・ **公害の防止**

大気については、一部環境基準の超過（光化学オキシダント、微小粒子状物質PM2.5）がみられます。また水質についても、一部環境基準の超過（河川における大腸菌群）がみられます。

■ 今後の方向性

- ・ **環境衛生の確保**

盛岡地域の塵芥収集運搬業務について、地区別収集体制に移行し排出量、組成分析データによりごみ減量施策を推進します。また、玉山地域において、ごみの出し方の周知を徹底します。

市クリーンセンターにおいて、県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想の進捗と連携した改修工事計画を総合計画事業に位置付け、計画的に実施します。

- ・ **公害の防止**

PM2.5の成分分析について、県、中核市等の取組状況の調査研究を継続します。

基本目標2 盛岡の魅力があふれるまちづくり

施策11 歴史・文化の継承

地域に受け継がれている歴史や文化に誇りを持ち、次世代に伝えていくため、文化財の保護に取り組むとともに、市民が歴史や文化に理解を深め、身近に感じることができるよう、文化財の幅広い活用を図ります。

■ 主要事業の実績

国指定史跡「志波城跡」の整備、「盛岡城跡」石垣の変位調査等を進め、史跡の保護に努めるとともに、発掘調査現場の積極的な公開や展示会による調査成果の活用により、保護活用への機運の醸成を図りました。

また、無形民俗文化財の保存については、後継者の育成に向けて、若い世代をターゲットとしたイベントを実施し、担い手の掘り起こしに取り組みました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
盛岡城跡保存整備事業	一般		石垣変位調査など	2	2	0
志波城跡保存整備事業	一般		外郭西辺整備, サイン設置, 用地取得など	67	64	0
遺跡の広場整備事業	一般	★	遺跡環境保全, 整備	1	1	0
施策の計 (一般会計)				70	67	0

■ まちづくり指標 (成果指標) の状況

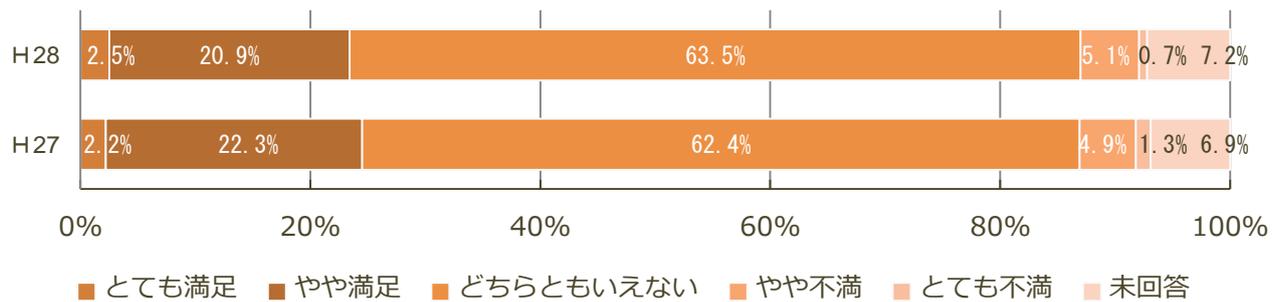
成果指標名(施策)	指標の性格	単位	施策の目標値・実績値の推移																		
文化財数(国・県・市指定)	↗	件	<table border="1"> <caption>文化財数(国・県・市指定)の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>270</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>271</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>273</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>276</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>281</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	270	-	H27	271	-	H28	273	-	H31	-	276	H36	-	281
年度	実績値	目標値																			
当初値	270	-																			
H27	271	-																			
H28	273	-																			
H31	-	276																			
H36	-	281																			
まちづくり評価アンケート調査「盛岡の歴史・文化財に興味関心がある」と答えた市民の割合	↗	%	<table border="1"> <caption>まちづくり評価アンケート調査「盛岡の歴史・文化財に興味関心がある」と答えた市民の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>58.6</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>56.7</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>56.8</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>61.8</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>65.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	58.6	-	H27	56.7	-	H28	56.8	-	H31	-	61.8	H36	-	65.0
年度	実績値	目標値																			
当初値	58.6	-																			
H27	56.7	-																			
H28	56.8	-																			
H31	-	61.8																			
H36	-	65.0																			

・ 「盛岡の歴史・文化財に興味関心がある」と答えた市民の割合減少

歴史・文化財に興味関心を持ち積極的に活動する市民と、歴史・文化財に触れる機会の少ない市民の二極化によるものと考えられます。

■ 施策に対する市民の実感

「文化財の保護や活用が図られている」と感じる市民の割合



■ これからの課題

- ・ 民俗芸能保持団体の後継者不足に対応する必要があります。
- ・ 志波城跡保存整備事業や有形文化財等の保存・修繕における財源確保が必要です。
- ・ 未指定の歴史的建造物等の調査等のほか、増え続ける埋蔵文化財出土資料の収蔵場所を確保する必要があります。
- ・ 博物館等施設の計画的な修繕を行う必要があります。

■ 今後の方向性

- ・ 民俗芸能保持団体の後継者不足について、無形民俗文化財保存連絡協議会と連携しながら後継者不足団体への支援対策を講じます。
- ・ 志波城跡保存整備事業について、地域課題解決プログラムをはじめとする大学との協働研究事業等へ参加するとともに、地域市民団体と協働して、史跡の活用を図ります。
- ・ 有形文化財の保存・修繕のため、所有者及び管理者のほか、町内会等地元住民への協力要請を図るほか、国からの支援制度も考慮しつつ、「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（歴史まちづくり法）」に基づく歴史的風致維持向上計画の策定に取り組みます。
- ・ 埋蔵文化財発掘の出土資料を活用頻度によりランク分けし、再配置を行います。
- ・ 各博物館等施設について、企画の充実とPRの強化のほか、施設外へ出向く「出前講座」の充実を図ります。
- ・ 歴史まちづくり法に基づく、歴史的風致維持向上計画の策定による、博物館施設の整備・充実を図ります。

施策12 芸術文化の振興

誰もが芸術文化に親しみ、豊かな生活が送れるように、優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、市民の自主的、創造的な芸術文化活動を支援します。

■ 主要事業の実績

芸術文化活動振興事業及び文化会館活動事業の展開により、コンサート、演劇、美術展などの芸術鑑賞や各種講座など、芸術文化に親しむ機会を提供するとともに、市民の発表機会の支援にも努め、芸術文化活動の推進を図りました。

(単位 百万円)

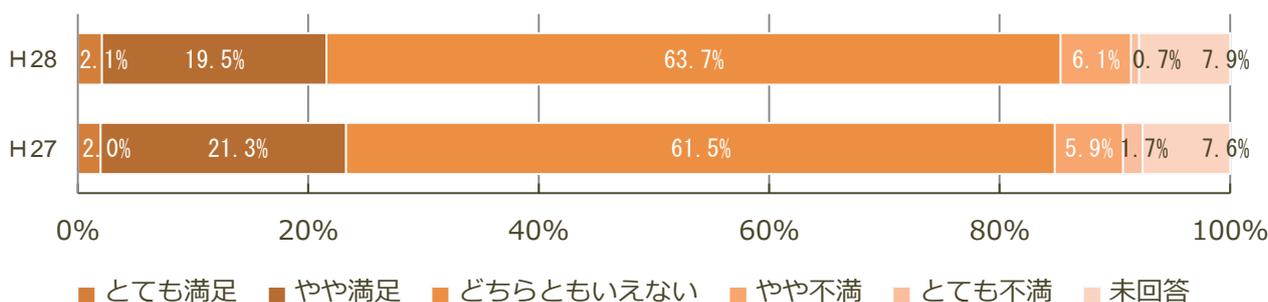
主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
芸術文化活動振興事業	一般	★	芸術団体などが行う芸術文化活動の振興	7	7	0
文化会館活動事業	一般	★	パイプオルガン・演劇・合唱等関連講座の開催、舞台公演・美術展など芸術鑑賞機会の提供、情報誌の発行	26	26	0
施策の計（一般会計）				33	33	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

成果指標名(施策)	指標の性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
まちづくり評価アンケート調査「この1年間に何らかの芸術文化活動に参加した」と答えた市民の割合	↑	%	<p>当初値 41.6 H27 40.3 H28 40.9 H31目標値(45.0) H36目標値(50.0)</p>

■ 施策に対する市民の実感

「芸術文化に親しむ機会が身近にある」と感じる市民の割合



■ これからの課題

新たな担い手を発掘するため、盛岡芸術協会の構成団体の活動情報の発信方法を検討し、興味がある対象へ、タイムリーな情報提供を行う必要があります。

文化会館の舞台設備等は更新や修繕が必要となっていますが、特殊な設備であるため多額の費用を要し、設備の更新や修繕を計画的に進めるための整備計画を立てる必要があります。

■ 今後の方向性

- ・ 盛岡市芸術文化施策推進指針を策定するとともに、盛岡市芸術文化振興施策及び盛岡市芸術文化基本計画の策定について調査・審議するため、(仮称)盛岡市芸術文化推進審議会を設置します。
- ・ 市民ニーズを捉えた鑑賞事業企画を展開します。
- ・ 盛岡芸術協会や芸術文化団体の自主的な芸術活動への支援策を引き続き検討します。
- ・ 文化会館4館の舞台設備、照明設備、音響設備の消耗・劣化度を調査するとともに、望ましい更新時期を分析し、調査結果を踏まえて設備の改修計画を立て財源確保の上、修繕・更新を進めます。
- ・ 利用率の低い施設について、利用率向上に向けたPR方法を検討します。

施策13 スポーツの推進

誰もがスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康でいきいきと暮らすことができるように、スポーツをする環境やスポーツを支える環境づくりを進めるとともに、スポーツを通じたまちの魅力の創出などに取り組めます。

■ 主要事業の実績

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の開催に向けた施設整備や開催準備に取り組んだほか、施設の改修を行い、市民がスポーツを継続する機会を確保し、スポーツを楽しむ環境づくりに努めました。

また、盛岡広域でのスポーツツーリズムの推進やプロスポーツの支援を行いました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
生涯スポーツ推進事業	一般	★	指導者養成, スポーツ教室開催, 体育団体育成, 学校体育施設開放事業, スポーツ大会開催支援など	58	57	0
国民体育大会開催事業	一般		希望郷いわて国体・希望郷いわて大会にかかる施設整備, リハーサル大会, 本大会の補助など	1,550	1,316	0
国民体育大会開催関連スポーツ施設整備事業	一般	(★)	スポーツ施設整備 (アイスアリーナ, 総合プール, 南公園球技場)	233	241	0
渋民運動公園整備事業	一般	★	渋民運動公園の整備 (野球場等改修, 総合体育館耐震・天井改修など)	454	419	0
盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業	一般		事前合宿等誘致用パンフレットの作成, 盛岡広域スポーツコミッション設立, ホストタウンプロモーション活動	1	4	0
施策の計 (一般会計)				2,296	2,037	0

・ 盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業

ホストタウン登録へ向けて、カナダ訪問、プロモーションビデオの制作など、事前キャンプの積極的な誘致活動を行ったため、実績額が大きくなりました。

■ まちづくり指標 (成果指標) の状況

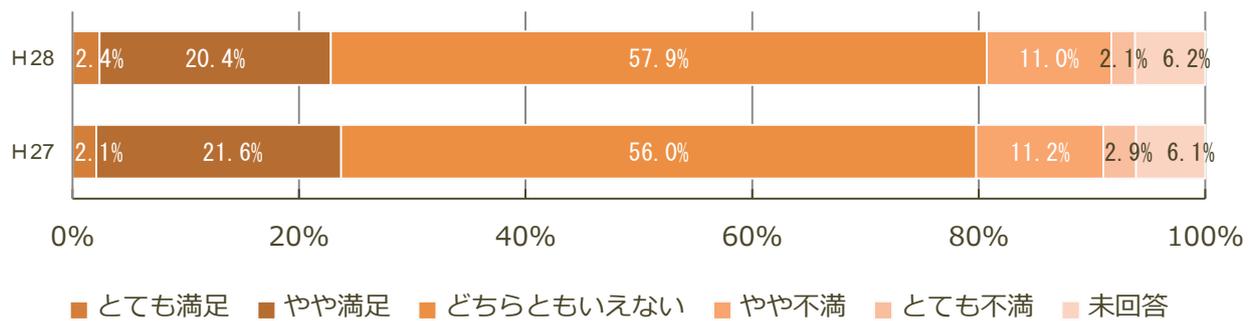
成果指標名 (施策)	指標の性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
まちづくり評価アンケート調査「週1回以上スポーツをしている」と答えた市民の割合	↑	%	<p>当初値 31.1, H27 28.9, H28 27.3, H31目標値(56.0), H36目標値(71.0)</p>

・ 「週1回以上スポーツをしている」と答えた市民の割合減少

市民のスポーツ活動機会の拡大に向け、重要な役割を担う総合型地域スポーツクラブの創設が進んでいないことや、事業数の増加に伴い重複開催日が発生していると考えられることが要因と考えられます。

■ 施策に対する市民の実感

「スポーツ・レクリエーションを楽しむ機会の確保や施設の整備が整っている」と感じる市民の割合



■ これからの課題

- ・ 総合型地域スポーツクラブの創設に向けた人材の育成や事業周知方法の検討が必要です。
- ・ プロスポーツ運営会社や競技団体と連携した会員数増加につながる取組の検討が必要です。

■ 今後の方向性

- ・ 「スポーツ推進事業」や「スポーツ活動機会提供事業」において事業開催周知方法の検討を行います。スポーツ推進委員と連携し、総合型地域スポーツクラブの創設のため既存クラブと連携しながら人材育成に努めます。
- ・ プロスポーツ運営会社及び競技団体に対しチームのサポート会員募集の取組の働きかけと会員募集の協力を行います。
- ・ ホストタウン事業により、カナダナショナルチームの事前キャンプ誘致実現に向けて引き続き交渉を継続します。

施策14 「盛岡ブランド」の展開

盛岡が住みたいまち、住んでみたいまち、訪ねてみたいまちとなるため、盛岡ならではの魅力や価値である「盛岡ブランド」を市民と共に磨き、育み、都市ブランドの確立を目指します。

さらに、効果的に市内外に発信することにより「盛岡ブランド」を展開します。

■ 主要事業の実績

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会が開催されたことから、選手・役員等の大会関係者や市外在住の方を主なターゲットとして、盛岡を訪れた方々が盛岡と継続的に関わるきっかけとなるよう、本市のプロモーション動画を制作しました。

プロモーション動画は、盛岡駅前滝の広場や一部国体会場等で放映し、盛岡ブランドの認知度の向上を図りました。

また、フェイスブックへの投稿回数を増やすなど、閲覧を促す取組を行い、市外の方が盛岡の情報に触れるきっかけづくりを進めました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
盛岡ブランド確立事業	一般	★	プロモーション動画の作成・放映，ブランドフォーラムの開催（共催），ブランドロゴマーク等の商標登録など	3	3	0
施策の計（一般会計）				3	3	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

成果指標名(施策)	指標の性格	単位	施策の目標値・実績値の推移																		
まちづくり評価アンケート調査「盛岡が好き」と答えた市民の割合	↗	%	<table border="1"> <caption>まちづくり評価アンケート調査「盛岡が好き」と答えた市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>78.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>77.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>78.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td></td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	78.0		H27	77.7		H28	78.5		H31		80.0	H36		80.0
年度	実績値	目標値																			
当初値	78.0																				
H27	77.7																				
H28	78.5																				
H31		80.0																			
H36		80.0																			
地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」	↗	位	<table border="1"> <caption>地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>58</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>63</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>117</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td></td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	58		H27	63		H28	117		H31		50	H36		50
年度	実績値	目標値																			
当初値	58																				
H27	63																				
H28	117																				
H31		50																			
H36		50																			
観光客入込数	↗	万人回	<table border="1"> <caption>観光客入込数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>472</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>509</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td></td> <td>520</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	472		H27	509		H28	500		H31		500	H36		520
年度	実績値	目標値																			
当初値	472																				
H27	509																				
H28	500																				
H31		500																			
H36		520																			

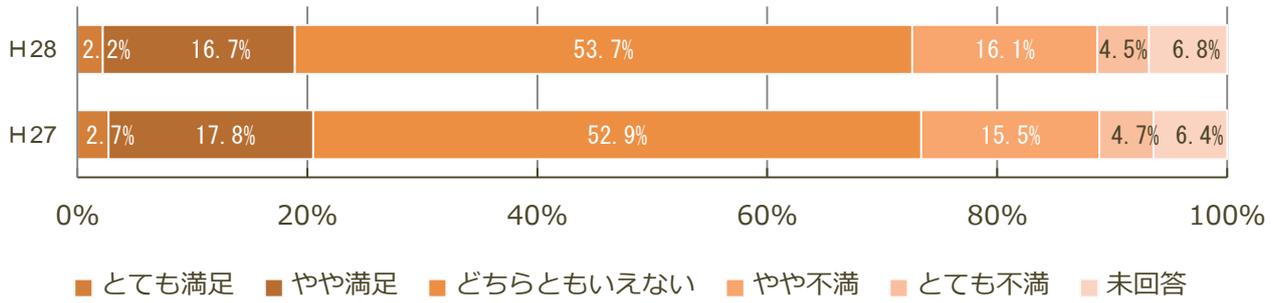
・ 魅力度における盛岡市の順位の低下

指標は、民間シンクタンクが、認知度や情報接触度、地域資源に対する評価など25項目をアンケート調査した結果であります。当市の順位低下は、前回調査と比較すると、認知度や情報接触度、居留意欲度、産品購入意欲度の項目が順位を落としています。その要因は、「旅行やグルメのテレビ番組」、「旅行観光サイト」などの情報系の接触機会の低下等が考えられます。

なお、平成29年度は、62位と上昇しており、認知度や情報接触度、観光意欲度の項目がそれぞれ順位を上げていることによるものです。

■ 施策に対する市民の実感

「盛岡の価値や魅力を育み、市内外へ発信している」と感じる市民の割合



■ これからの課題

- ・ 盛岡ブランドの市民や事業者への浸透が十分ではなく、盛岡ブランドのイメージを分かりやすく伝えることや機会を増やすことが必要です。
- ・ 盛岡ブランドの認知度を市外、特に首都圏において向上させる余地があります。

■ 今後の方向性

- ・ 盛岡ブランドのイメージを分かりやすく伝えられるよう検討します。
- ・ 市民や事業者が盛岡ブランドに持続的に関わることができる仕掛けを検討します。
- ・ 首都圏等における効果的な情報発信の手法を検討します。

施策15 良好な景観の形成

市民と共に、自然環境と歴史的環境とが調和した盛岡らしい魅力ある景観を保持するなど、良好な景観の形成を図ります。

■ 主要事業の実績

都市景観シンポジウムや都市景観賞の表彰を実施し、市民の景観形成の啓発に努めたほか、建築物等の建築の際の指導や屋外広告物の許可を通じて、景観に配慮した快適で美しい街並みの形成を進めました。

また、市所有の保存建造物の管理運営を行うとともに、民間所有の保存建造物の修復に対して補助金を交付し、支援しました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
都市景観形成指導事業	一般	★	景観指導，都市景観シンポジウムの開催，都市景観賞の決定・表彰など	1	1	0
景観計画推進事業	一般		景観重要樹木の標識設置など	1	1	0
屋外広告物事務	一般		屋外広告物の許可，屋外広告物業の登録，簡易除却ボランティア活動の推進など	3	4	0
施策の計（一般会計）				6	6	0

・屋外広告物事務

屋外広告物規制図を新たに印刷したことで、事業費が大きくなりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

成果指標名(施策)	指標の性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
まちづくり評価アンケート調査「誇れる市街地の景観があると思う」と答えた市民の割合	↑	%	
まちづくり評価アンケート調査「誇れる田園や丘陵地の景観があると思う」と答えた市民の割合	↑	%	
まちづくり評価アンケート調査「誇れる山間地の景観があると思う」と答えた市民の割合	↑	%	
まちづくり評価アンケート調査「屋外広告物(屋外に表示・設置されているはり紙や看板など)は、景観に配慮して表示・設置されていると思う」と答えた市民の割合	↑	%	
まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の景観について、改善したい景観がある」と答えた市民の割合	↓	%	

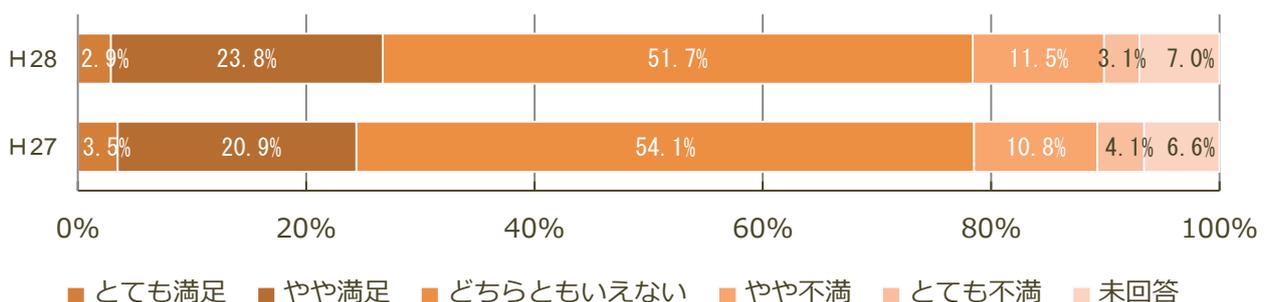
・ 改善していない各指標の要因

「景観計画」, 「地区計画」等の都市計画制度による良好な景観形成には時間を要すること, これまで想定できなかった高層建築物や再生可能エネルギー関連設備が景観に大きな影響を及ぼしていますが, それに対して実効性のある規制や指導を行うための基準が整備されていないこと, 及び屋外広告物の所有者及び占有者において, 屋外広告物制度がまだ十分には浸透していないことが要因と考えられます。

また, 市民アンケートにおいて, 誇れる景観がないとした理由として, 「関心がない」, 「どこにあるかわからない」といったことが挙げられていることから, 一般市民に対する景観意識向上に係る啓発や, 盛岡の特徴となる良好な景観を持った地域等の周知の不足も要因と考えられます。

■ 施策に対する市民の実感

「盛岡らしい景観が形成されている」と感じる市民の割合



■ これからの課題

- ・ 良好な景観形成の実現の実効性をさらに高めるため、住民合意を前提に、関係課と連携して「景観地区」、「地区計画」等の都市計画制度等の活用に取り組む必要があります。
- ・ 市域に残る貴重な歴史的建造物等は、重要な景観資源ですが、個々の建造物等の保全だけでなく、地域のまちづくりの視点で、市民協働による手法及び国の制度や補助金の導入等について、関係課と連携し、取り組む必要があります。
- ・ 高層建築物や再生可能エネルギー関連設備に関して実効性のある規制や指導を行うため、景観計画において、それらに関する設置基準を定める必要があります。
- ・ 屋外広告物について、違反広告物に対する適正化指導と制度に関する周知啓発活動を、継続的かつ効率的に進める必要があります。
- ・ 一般市民への景観意識向上対策や盛岡の特徴となる良好な景観の周知に、より一層取り組む必要があります。

■ 今後の方向性

- ・ 景観計画を変更し、景観形成重点地域の拡大により良好な景観形成の誘導を図り、太陽光発電施設等に対して設置基準等を定めるほか、行為届や事前相談による指導を行いません。
- ・ 官民が連携して、タウンミーティング等の啓発イベントを継続して行うなど、屋外広告物の制度に関する周知・啓発及び適正化に係る行動計画を引続き策定し、重点指導事項を中心に、効率的かつ継続的に取り組みます。
- ・ 一般市民に対する景観意識向上に係る啓発や、盛岡の特徴となる良好な景観を持った地域等の周知に継続的に取り組みます。

施策16 計画的な土地利用の推進

地域の特性をいかし、機能的で魅力的な都市を形成するため、自然環境の保全と人々の営みとの調和を考慮しながら、コンパクトで効率的な市街地を形成するなど、計画的で適正な土地利用を推進します。

■ 主要事業の実績

都市計画法に基づく区域区分等の見直しや開発許可制度、国土利用計画法に基づく土地取引事後届出制度を通じ、総合的で計画的な土地利用を進めました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
都市計画区域区分変更事業	一般		市内2箇所(高松地区, 大平地区)の区域区分の見直し	1	0	0
開発許可事務事業	一般		都市計画法に基づく開発・建築の許可事務, 大規模盛土造成地の把握と安全性の確認	7	7	0
施策の計(一般会計)				7	7	0

・ 都市計画区域区分変更事業

県が作成する区域区分変更の周知用リーフレットを市が全戸配布する予定でしたが、変更箇所が盛岡市のみである等の理由から、リーフレットを作成せずホームページ及び広報での周知に変更したため、実績額が0となりました。

■ まちづくり指標(成果指標)の状況

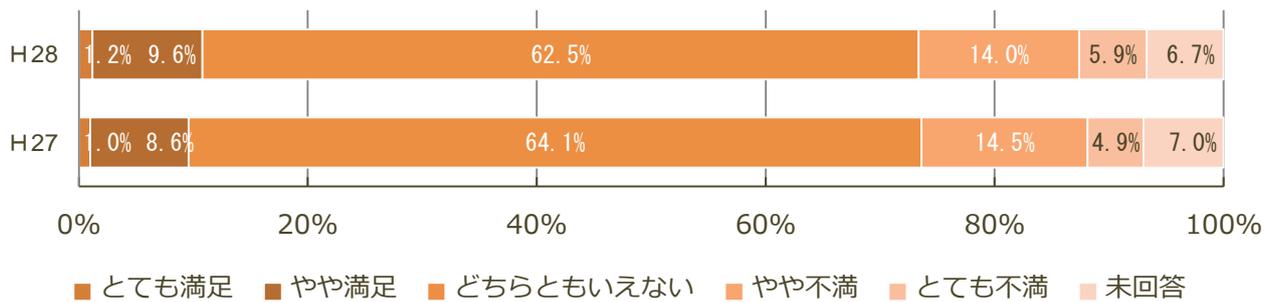
成果指標名(施策)	指標の性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
都市として計画的に整備し、開発し、保全する必要がある区域を指定する割合(市域における都市計画区域の割合 ^{*1})	→	%	
農用地として保全し土地利用する割合(市域における農用地区域の割合 ^{*2})	→	%	
森林として保全し土地利用する割合(市域における森林区域の割合)	→	%	

*1 都市計画区域内の市街化調整区域と農用地区域、森林区域とが重複している区域があるため、3区域の割合の合計は100.0%を超える。

*2 「農用地として保全し土地利用する割合」の当初値当初値は、26年度の速報値としている。

■ 施策に対する市民の実感

「地域の特性を生かした土地利用の計画，管理などが行われている」と感じる市民の割合



■ これからの課題

今後とも、各種法令に基づく事務事業を円滑に進めていくとともに、適正な土地利用が図られるよう基準等の見直しが必要です。

また、人口減少、少子高齢化等が進行する中、高齢者や子育て世代が安心して健康で快適な生活を送ることができる環境を実現するとともに、財政面、経済面において持続可能な都市経営を可能とすることが課題となっており、この課題解決に資する土地利用を図っていく必要があります。

■ 今後の方向性

中心市街地活性化、公共交通、公共施設、医療・福祉等、まちづくりと密接に関係する施策と連携し、市内横断的に総合的な調整を行うとともに、市民の意見等も伺いながら、将来のまちのあり方についての検討を進め、人口減少、少子高齢等の社会構造の変化に対応したコンパクトで持続可能なまちづくりに資する立地適正化計画を策定します。

基本目標3 人を育み未来につなぐまちづくり

施策17 子どもの教育の充実

子ども一人ひとりの個性をいかし、学力を定着させ、生きる力を育むことができるように、学校や家庭、地域などが連携しながら、子どもの教育の充実と健全な育成を図ります。

■ 主要事業の実績

教員の指導力向上のための取組を行い、子どもの学力向上を図るとともに、道徳教育・先人教育の充実などにより、豊かな心の育成を進めました。

また、盛岡地域生徒指導研究推進協議会を組織し、関係機関と連携を図りながら、児童・青少年の健全育成に取り組みました。学校施設については、小中学校の耐震補強工事や建設工事等を行ったほか、維持管理については、経年による機能低下に対する復旧措置を図り、適切な維持保全に努めました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
先人教育推進事業	一般		先人カレンダーの作成など	1	1	0
教育振興事業（小学校・中学校）	一般		児童生徒の学力検査，知能検査の実施，小学校社会科副読本「わたしたちの盛岡」の印刷など	44	44	0
生徒指導強化推進事業	一般		スクールアシスタント，不登校生徒等対策相談員の各小中学校への配置，スクールガードリーダーの委嘱など	49	49	0
教育活動推進事業	一般		少人数指導非常勤講師2名の配置，学校司書9名の配置など	11	10	0
小学校整備事業	一般	(★)	土淵小中（市道拡幅，テニスコート整備工事），向中野小（第二期増築工事）	481	390	15
中学校整備事業	一般	(★)	★巻掘中（校舎大規模改修，屋内運動場建設），仙北中（増築工事）	717	662	383
学校プール整備事業	一般	(★)	大宮中学校・黒石野中学校（実施設計）	13	10	262
小中学校施設防災対策事業	一般	(★)	中学校（非構造部材対策設計2校），城西中（屋内運動場改築工事）	87	86	95
施策の計（一般会計）				1,402	1,252	755

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

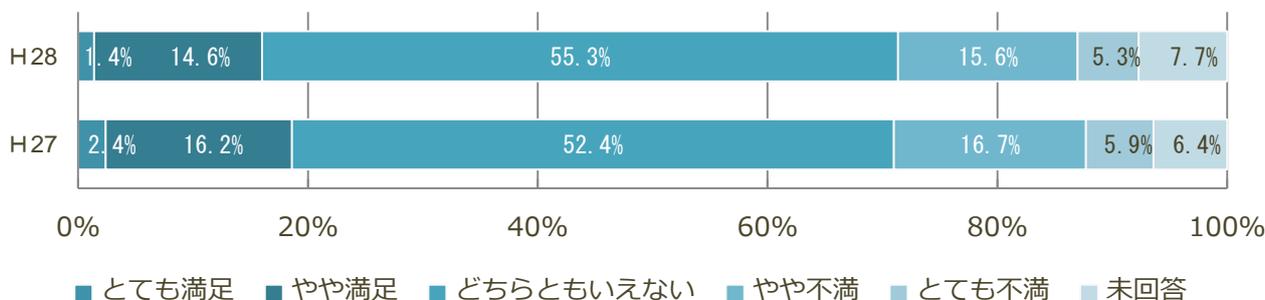
成果指標名(施策)	指標の性格	単位	施策の目標値・実績値の推移	
小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【小学校4年生】	↑	ポイント		
小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【中学校2年生】	↑	ポイント		
体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【小学校5年生】	↑	ポイント		
体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【中学校2年生】	↑	ポイント		

・ 一部指標においてポイントが低下

小中学校における学力向上については、学力調査結果の分析を踏まえた組織的な取組等、全市的に目指す授業像を共有し、授業改善に取り組むことが必要となります。

■ 施策に対する市民の実感

「将来を担う子どもたちを育てる小中学校の教育内容や施設の整備が充実している」と感じる市民の割合



■ これからの課題

・ 小中学校教育の充実

中学校の数学の学力を更に向上させるため、授業改善の徹底を図る必要があります。体力運動能力については、体力向上研修会の実施、指導者の派遣による実技指導などにより、学校における体育の指導力の向上が求められます。また、学校での体力向上の取組に加え、特に小学生の体力向上を図るため、帰宅後や休日の外遊びを家庭に奨励していく必要があります。

道徳教育では、授業の充実を図り、児童生徒の心を育てるとともに、学校での計画的、系統的な指導により、引き続き、いじめなどの問題行動の未然防止に取り組む必要があります。また、学校全体での情報の共有化や教育相談体制の更なる充実を図り、問題行動の早期発見や不登校児童生徒の減少が必要です。

要保護・準要保護児童生徒就学援助事業において、新入学児童生徒学用品費等の支給単価の増額や、追加3費目の段階的な導入を行い、保護者への支援を拡充する必要があります。

・ 幼稚園教育の充実

市立幼稚園における幼児教育については、児童理解に基づく個の特性に応じた指導や、幼小連携を意識した取組を進めていくことが求められています。

・ 高等学校教育の充実

市立高等学校については、教育の成果向上のためには、長期的な取組が必要であることから、引き続き、学力の向上を図る授業の推進と進路指導の充実に努めるとともに、他校視察や実践的教員研修による教員の能力向上を図る必要があります。

・ 学校施設の整備・充実

「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」に基づき、大規模改修による施設の長寿命化の着実な推進が必要です。また、予防保全的な修繕を実施することにより施設の維持管理を図る必要があります。

■ 今後の方向性

・ 小中学校教育の充実

「スクールサポート事業」「不登校生徒等対策事業」における支援員を増員するとともに、「要保護・準要保護児童生徒就学援助事業」における準要保護者に対する就学援助について、支給費目の追加及び支給単価の増額を図ります。

・ 幼稚園教育の充実

引き続き、一人一人の子どもに応じたきめ細かな幼児教育を提供するとともに、幼小連携を意識した取組を進めます。また、園だよりやクラスだよりなどにより、積極的に情報発信を行います。

・ 市立高等学校

進学を希望する者、就職を希望する者それぞれの進路希望が確実に達成できる学校を目指し、県内唯一の市立高等学校として、引き続き特色ある校風の創出に努めます。そのため、岩手大学教職大学院と連携し、教員の能力向上を図り、生徒の意欲が引き出される授業の改善へとつなげます。

・ 学校施設の整備・充実

事業費の精査を行い、限られた財源を効果的に活用し、将来にわたって様々なニーズに対応できる施設整備を行っていきます。

施策18 生涯学習の推進

誰もが楽しみや生きがいを持ち、豊かに暮らすことができるように、いつでもどこでも学ぶことができる環境の構築を図ります。

■ 主要事業の実績

市民が企画する生涯学習活動に市職員や大学教員等を講師として派遣するなど、学びの循環推進事業により、市民の学習活動の支援を行いました。

また、教育振興運動の中学生社会参加活動促進事業や、成人のつどい実行委員会の企画運営を通じて、中学生や青年を対象とした団体活動のリーダー育成を行ったほか、少年指導員の養成・登録を行い、子ども会活動に紹介するなど、地域での活用を図りました。

■ 主要事業の実績

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
社会教育促進事業	一般	★	学校・家庭・地域連携推進事業，生涯学習推進事業，社会教育団体活動支援，成人のつどい式典実施など	10	9	0
社会教育施設整備事業	一般		見前南地区公民館建築工事，蕨川地区公民館実施設計など	357	315	0
施策の計（一般会計）				367	325	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

成果指標名(施策)	指標の性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
まちづくり評価アンケート調査「この1年間に何らかの生涯学習をした」と答えた市民の割合	↑	%	<p>当初値 40.6 H27 41.7 H28 33.0 H31目標値(43.9) H36目標値(47.2)</p>

・ 「この1年間に生涯学習をしたと答えた市民の割合」が減少

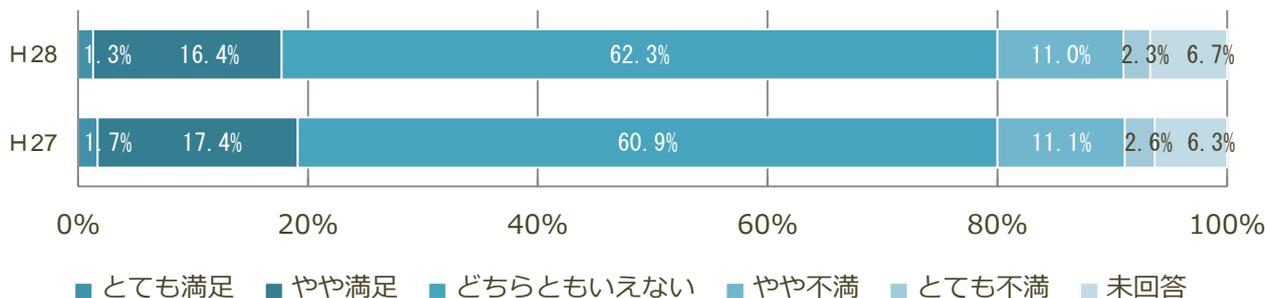
「学びの循環推進事業」において、市民のニーズに対して講座や講師が充足していないことや、公民館利用者の中心となるサークルの会員数が高齢化などの影響により減少し、それに伴ってサークル自体の数も減少していることなどが要因として挙げられます。

また、インターネットの活用など、情報機器の発達と普及により学習形態が多様化していることや、社会情勢の変化に伴って学習課題が多様化していることに伴い、市民の学習ニーズも変化してきており、従来の設備や運営方法では対応できない場合があることも利用者減少の原因と考えられます。

平成28年度は岩手国体が開催されたことから、市民が、各競技の観戦や、大会のボランティア活動などに余暇を活用したことの影響も推測されます。

■ 施策に対する市民の実感

「いつでもどこでも学ぶことができる各種講座の開設や生涯学習環境が整っている」と感じる市民の割合



■ これからの課題

- ・ 「学びの循環推進事業」については、講師の登録数が増えていないことや、防犯や環境問題などの必要課題に係る講座に対する参加者の減少に対応する必要があります。
- ・ 公民館講座の受講者や、社会教育施設の利用者における、勤労青年層の割合を増加することが課題となっています。
- ・ 社会教育施設の整備においては、老朽化している市立図書館や、市民ニーズに対応した施設整備についての方向性の検討が必要です。

■ 今後の方向性

- ・ 「学びの循環推進事業」や、公民館講座については、利用者アンケートなどからニーズを把握し、講座や講師を積極的に発掘するよう努めます。また、勤労青年層の利用促進のため、講座の開催時間の工夫や、世代的に興味を持たれるように内容を工夫します。
- ・ 防災や環境などのほか、情報機器利用に係るモラル学習など、現代社会の課題に対応した講座を企画するよう努めます。また、受講者が少ない講座であっても、必要と位置づけたものは、継続して開催します。
- ・ 社会教育施設の整備においては、市立図書館についてその在り方を整理し、今後の方向性を定めます。また、各施設の整備についても実現に向けて様々な角度から継続的に検討を行います。

施策19 社会を担う人材の育成・支援

将来を担う若い世代や女性がライフスタイルに合わせ、社会のさまざまな場面で活動できるように、人材の育成や情報の提供などの支援に取り組みます。

■ 主要事業の実績

ジョブカフェいわて、若者サポートステーション、新社会人就職定着支援等により、若い世代に対して、就業や職場定着などに係る情報提供や各種支援を行い、就学等から就業へ円滑に移行できる環境を整える取組を実施しました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
若者の就業支援事業	一般		ジョブカフェいわて、若者サポートステーションの運営業務委託、新社会人就職定着支援など	12	12	0
施策の計（一般会計）				12	12	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

成果指標名(施策)	指標の性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
地域若者サポートステーションの支援を受けて就職を決定した人数*	↑	人	
ジョブカフェいわての利用者数	↑	人	

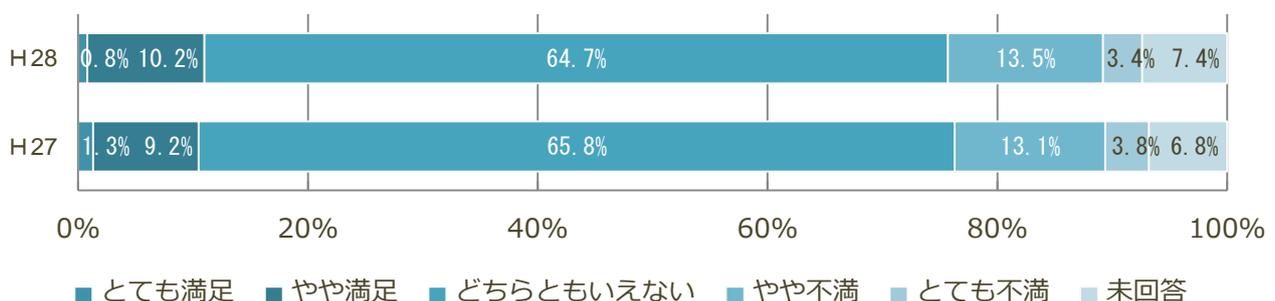
* 厚生労働省への報告が義務付けられている対象者の人数を採用しているが、H27から報告対象が変更されたため、指標も見直しました。

・ 地域若者サポートステーションの支援を受けて就職を決定した人数

若者サポートステーションの新規登録者数・延利用者数とも減少傾向にあり、伴って就職決定者数も減少しています。これは、有効求人倍率の改善により、求職者が就職しやすい状況あることから、サポートステーションの登録者・利用者が減少しているからと考えられます。

■ 施策に対する市民の実感

「ライフスタイルに合わせた、若い世代や女性の活躍を支援する取組が行われている」と感じる市民の割合



■ これからの課題

引きこもり（いわゆるニート）の実態把握と「ジョブカフェいわて」、「もりおか若者サポートステーション」に関するさらなる周知を図る必要があります。

■ 今後の方向性

広報やホームページに「もりおか若者サポートステーション」に関する記事を掲載する等、受託団体との連携による周知活動を強化します。

「多機関の協働による包括的相談支援体制構築事業」において、引きこもりを含め包括的な支援体制のシステムの構築を図ります。

施策20 地球環境の保全と自然との共生

地球環境や豊かな自然を次世代に引き継ぐため、地球温暖化対策やごみの減量化・資源化の推進、水や緑の保全などに取り組み、地球環境の保全と自然との共生を推進します。

■ 主要事業の実績

「盛岡市住宅用太陽光発電システム設置費補助制度」の補助の対象を蓄電池にも広げたほか、公共施設10ヶ所に太陽光発電設備を設置し、再生可能エネルギー設備等の導入を促進しました。

また、「もりおかエネルギーパーク」が、経済産業省より次世代エネルギーパークとして認定され、市内外へその取組を発信したほか、環境啓発イベントを開催し、環境意識の向上に努めました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
地球環境啓発事業	一般		環境啓発イベント及び環境学習講座の開催、環境部ウェブサイト保守管理委託など	7	6	0
資源集団回収報奨金交付事業	一般		資源集団回収を行う団体に対する報奨金の交付など	37	34	0
地域循環型生ごみ処理推進事業	一般		集合住宅における地域循環型生ごみ処理機の維持管理など、地域循環型モデル地区の推進	2	2	0
地球温暖化対策実行計画推進事業	一般		太陽光発電システム設置への補助、地球温暖化対策実行計画推進基金の積立てなど	18	23	0
生出地域エコタウン事業	一般	★	電気自動車のリース	1	1	0
施策の計（一般会計）				64	66	0

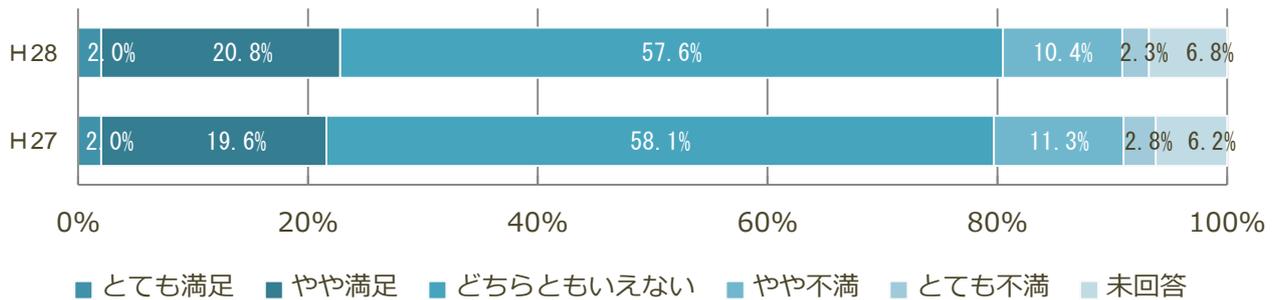
■ まちづくり指標（成果指標）の状況

成果指標名(施策)	指標の性格	単位	施策の目標値・実績値の推移																		
まちづくり評価アンケート調査「自然が守られていると思う」と答えた市民の割合	↗	%	<table border="1"> <caption>まちづくり評価アンケート調査「自然が守られていると思う」と答えた市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>80.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>82.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>82.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>83.0</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td></td> <td>86.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	80.8		H27	82.6		H28	82.7		H31		83.0	H36		86.0
年度	実績値	目標値																			
当初値	80.8																				
H27	82.6																				
H28	82.7																				
H31		83.0																			
H36		86.0																			
まちづくり評価アンケート調査「CO ₂ の発生抑制やごみの減量など、地球環境にやさしい生活を常に心がけている」と答えた市民の割合	↗	%	<table border="1"> <caption>まちづくり評価アンケート調査「CO₂の発生抑制やごみの減量など、地球環境にやさしい生活を常に心がけている」と答えた市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>80.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>78.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>79.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>83.0</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td></td> <td>86.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	80.7		H27	78.4		H28	79.2		H31		83.0	H36		86.0
年度	実績値	目標値																			
当初値	80.7																				
H27	78.4																				
H28	79.2																				
H31		83.0																			
H36		86.0																			
ごみ総排出量*	↘	t	<table border="1"> <caption>ごみ総排出量*</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>118,398</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>114,318</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>111,703</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>111,770</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td></td> <td>105,880</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	118,398		H27	114,318		H28	111,703		H31		111,770	H36		105,880
年度	実績値	目標値																			
当初値	118,398																				
H27	114,318																				
H28	111,703																				
H31		111,770																			
H36		105,880																			

* 盛岡市一般廃棄物処理基本計画の改訂にあわせ、28年度に目標値を変更しました。

■ 施策に対する市民の実感

「エネルギーの有効利用や廃棄物の発生抑制など、環境への負荷を軽減する取組が行われている」と感じる市民の割合



■ これからの課題

・ 自然の保護と活用

登山道管理費用について、補助金額が事業開始当時から半額以下になっていることから、これ以上補助金額が減額されることなく、維持していく必要があります。

草刈り等維持管理を継続して行う必要があります。

環境保護地区や近郊自然歩道について、住民のニーズに応えるために、新規設定の検討が必要です。

・ 環境を大切に作る心の育成

環境学習講座の内容を更に魅力あるものにすることが求められます。

環境部ホームページの内容を充実させる必要があります。

「環境モニター事業」に代わる新たな取組の検討が必要です。

・ 資源循環型社会の形成

事業系ごみの資源化を促進するための方策の検討が必要です。

・ 地球温暖化対策の推進

再生可能エネルギー発電設備設置を希望する事業者への支援継続が必要です。

太陽光以外の再生可能エネルギーの普及促進が課題となっています。

地球温暖化対策実行計画推進基金の活用事業の内容について、見直しが必要です。

■ 今後の方向性

・ 自然の保護と活用

次期保全計画の策定及び環境保護地区や近郊自然歩道の新規設定に向けて、岩手県の古い調査資料や地元の情報（玉山村誌などの書籍）を活用して玉山地域（主に薮川地区）の自然資源の調査を行います。

・ 環境を大切に作る心の育成

「地球環境啓発事業」において、環境学習講座やエコライフ推進イベントなどを市民のニーズに即した内容にして参加者数を増やすとともに、環境部ホームページを随時更新して新しい情報を発信します。

・ 資源循環型社会の形成

事業系ごみの処理について実態を把握し、排出事業者と連携して減量、資源化方策を検討します。また、家庭ごみの減量について、生ごみの水きり徹底を周知します。

・ 地球温暖化対策の推進

「再生可能エネルギー等普及促進事業」において、発電事業者への支援を継続して再生可能エネルギー設備の増加を促すとともに、関係機関との協議を進め、「木質バイオマスエネルギー利用推進アクションプラン」を策定し、木質バイオマスエネルギーの普及促進につなげます。

「地球温暖化対策実行計画推進事業」において、地球温暖化対策実行計画推進基金の活用事業の内容を精査し、より効果が望める事業に絞ることで、基金の適切な運用を図ります。

基本目標4 人が集い活力を生むまちづくり

施策21 農林業の振興

生産地であり、かつ消費地である地域特性をいかし、都市部との交流を図りながら、地産地消をベースとした付加価値の増大につながる農林業を推進するとともに、山林農地の有する国土保全・水源かん養などの多面的機能を維持・発揮するため、農林業者の経営力の向上や後継者の育成などの支援に取り組みます。

■ 主要事業の実績

安全・安心な食料への消費者ニーズの高まりに応え、米やりんごの減農薬、減化学肥料による栽培を促進するとともに、短角牛、アロニア、行者ニンニクなどの地域特産物の生産及び消費拡大の推進を図りました。

また、農業用水路、農道、林道などの農林業施設の整備や、農村地域の生活環境の保全に向けた地域一体となった取組を推進したほか、「市産材流通推進アクションプラン」の基づき市産材の利用拡大と地域林業の活性化に取り組みました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
水田農業構造改革事業	一般		米の計画的生産と水田を有効に活用した麦、大豆などの生産の定着と拡大に対する助成	14	14	0
いわて地域農業マスタープラン実践支援事業	一般		生産から流通までの条件整備を支援するため、農業機械導入・施設整備などに係る経費を補助する	10	4	0
果樹産地化事業	一般		早期多収及び省力化を図ることができるりんごの「わい化栽培」のための苗木、支柱などの購入経費補助	1	1	0
盛岡の食材プロモーション事業	一般		地産地消・地域食材流通促進に向けた取組、いわて国体・いわて大会を通じた食の魅力発信	4	4	0
中山間地域等直接支払事業	一般		中山間地域で耕作放棄防止を内容とする協定に基づき継続して農業生産活動を行う農業者などを支援するための交付金の支給	56	53	0
環境保全型農業直接支払交付金事業	一般		農業に有用な生物多様性の保全に効果の高い営農活動に対して補助金を交付	18	13	0
畜産振興事業	一般		畜産農家に対する畜産技術の指導・普及の支援	22	21	53
有害鳥獣対策事業	一般		市鳥獣被害防止計画に掲げる有害鳥獣による農作物被害の軽減を図るため、対象鳥獣の捕獲および被害防除の取組を行う	4	4	0
市産材利用拡大推進事業	一般	★	市産材の利用拡大に向けた取組として、市産材利用住宅の新築等への補助や町内会などが行う公共的な施設整備への市産材提供	3	3	0
多面的機能支払交付金事業	一般		農地の多面的な機能を維持するため、水路や農道などの管理や補修等の活動に交付金を支出	256	227	0
農業基盤整備事業	一般	(★)	農業者などが組織する団体が行う農道整備や土地改良への助成を行い、農業生産基盤の整備を支援	95	80	0

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
森林適正管理推進事業	一般	★	森林の造林や除間伐，林内作業道の開設などに対する助成など	18	18	0
市有林造成事業	一般	★	市有林の造成と公益的機能の充実のために行う森林の保育，間伐など	68	40	0
地籍調査事業	一般		根田茂，砂子沢及び梁川地区の境界の立会及び測量並びに27年度に調査した根田茂及び梁川地区の測量成果の閲覧及び地籍図の作成	40	40	15
施策の計（一般会計）				608	519	68

- いわて地域農業マスタープラン実践支援事業**
 補助事業の要望調査後に事業の取下げがあったため，実績額が小さくなりました。
- 畜産振興事業**
 畜産クラスター事業（牛舎の整備補助）の採択により実績額（繰越額含む）が大きくなりました。
- 市有林造成事業**
 県予算配分の減額に伴う代替事業の補助要件（保育間伐から除伐）を満たす事業地の選定等が難航し，事業執行期間が不足したため，実績額が小さくなりました。
- 地籍調査事業**
 国の経済対策補正予算を活用し，実施地区を追加したため，実績額（繰越額含む）が大きくなりました。

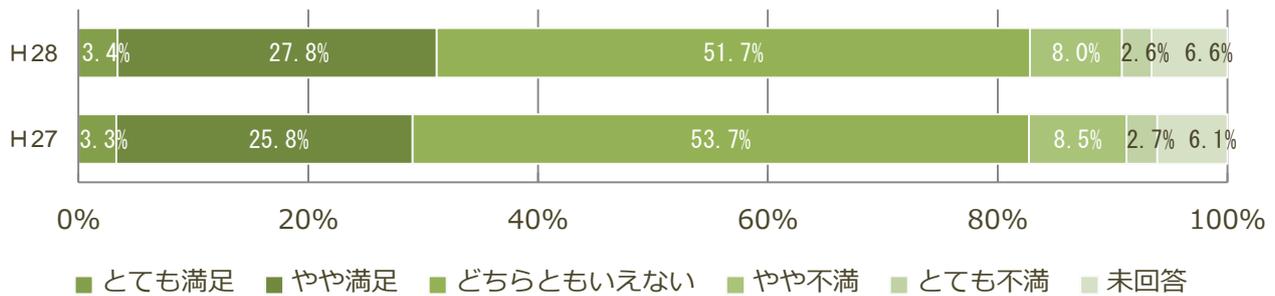
■ まちづくり指標（成果指標）の状況

成果指標名(施策)	指標の性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
農業総生産額	↗	百万円	<p>当初値 8,357 H27 8,318 H28 8,220 H31目標値(8,876) H36目標値(9,053)</p>
林業総生産額	↗	百万円	<p>当初値 411 H27 816 H28 864 H31目標値(922) H32目標値(966)</p>
新規就農者数	↗	人	<p>当初値 71 H27 97 H28 111 H31目標値(121) H36目標値(171)</p>
農用地の利用集積面積	↗	ha	<p>当初値 2,476 H27 3,029 H28 3,044 H31目標値(4,230) H36目標値(4,581)</p>

- 農業総生産額の減少**
 盛岡産農畜産物生産者の高齢化が要因の一つにあげられます。また，金銭面，環境面において，農業従事に係る理想と現実のギャップが存在し，新規就農者の定着に課題があることも一因と考えられます。

■ 施策に対する市民の実感

「地域特性を生かした、地産地消の取組が進んでいる」と感じる市民の割合



■ これからの課題

県内最大の消費地である地域特性を生かした都市型農林業の展開と、持続可能な農林業による食料自給体制の強化や資源循環型社会の実現に向けて、次の課題があります。

- ・ 高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など、地域における「人と農地の問題」への対応
- ・ 農業基盤施設の整備促進及び長寿命化等の適正な維持管理
- ・ 経営所得安定対策や中山間地域等直接支払制度等の活用
- ・ 減農薬、減化学肥料による特別栽培など環境保全型農業の推進
- ・ 農商工連携や6次産業化、ブランド化による農畜産物の高付加価値化と販路拡大、産直施設の経営強化への支援
- ・ 有機物資源活用施設の有効利用の推進
- ・ シカなど新たな有害鳥獣被害への対策の強化
- ・ 市産材利用拡大による地域林業の活性化と健全な森林の育成
- ・ 松くい虫被害地域の拡大阻止
- ・ 原子力発電所の事故に伴う放射能物質拡散への対策

■ 今後の方向性

- ・ 「もりおかの食と農バリューアップ推進事業」により、推進戦略の作成や生産者が効果的に6次産業化に取り組めるよう加工製造業者、飲食業等との異業種連携や販路拡大に係る支援、魅力発信に取り組み、盛岡産農畜産物の高付加価値化と本市農業の振興を図ります。
- ・ 親元就農給付金制度やもりおか短角牛肥育農家への補助制度等により、担い手の育成・確保を図ります。
- ・ 地権者等の協力を得て、農道の整備や用排水路の改修等を進めます。
- ・ 豊富な森林資源の循環利用を図るため、担い手の育成・確保、再生林の推進、市産材の利用拡大等を推進します。
- ・ 多くの市民や林業関係者が参加する市民育樹祭及び緑の募金活動において、森林・林業の重要性を周知します。
- ・ 伐採業者等から理解と協力を得て、森林整備計画に適合した伐採を進めます。
- ・ 山林所有者による境界立会を行い、筆界未定地を減少させることで、山林の境界の明確化を進めます。

施策22 商業・サービス業の振興

商業の活発な事業活動を展開させるため、地域特性をいかしたにぎわいのある商店街の形成や、生産者、消費者、商業者等の連携の促進、多様なサービス業の育成・活性化の支援など、商業・サービス業の振興を図ります。

■ 主要事業の実績

第2期盛岡市中心市街地活性化基本計画に基づき、中心市街地の回遊性を向上させるための各種事業に関係団体と連携して取り組んだほか、地域カード（MORIO-Jカード）を活用した地域共通ポイント発行事業を実施しました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
商店街活性化支援事業	一般	(★)	商店街のイベント、商店街からの情報発信、個店の魅力アップ、空き店舗対策などの支援	9	8	0
商工団体育成事業	一般		商工団体に対する事業費補助などの活動支援	36	36	0
商店街等指導事業	一般		商店街や業界団体などに対する経営指導、商店街の組織強化に対する支援	1	1	0
中央卸売市場活性化事業	市場		市場活性化ビジョンの推進	1	1	0
施策の計（一般会計）				45	43	0
施策の計（一般会計以外）				1	1	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

成果指標名(施策)	指標の性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
卸・小売の年間販売額	↗	億円	<p>13,000 12,000 11,000 10,000 9,000</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>10,724 10,220 H31目標値(11,300) H36目標値(11,800)</p>
サービス業の事業所数	↗	事業所	<p>5,400 5,000 4,600 4,200</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>4,639 5,207 H31目標値(4,900) H36目標値(5,100)</p>

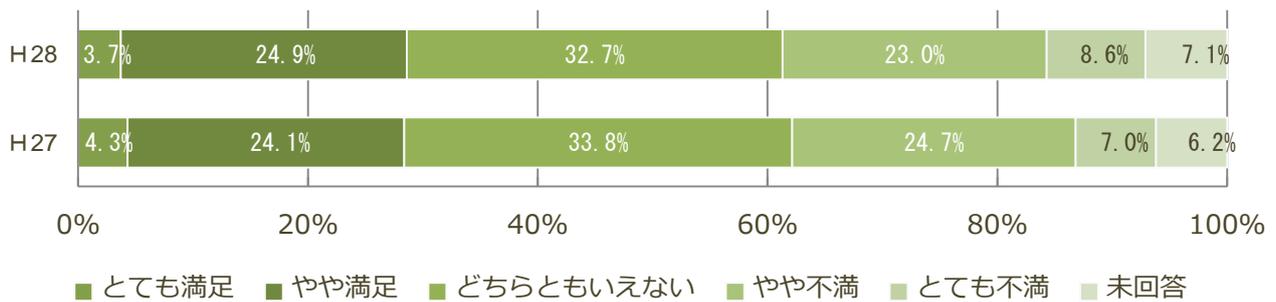
※ 28年度の経済センサスの調査結果は30年3月に公表されるため、28年度実績は空欄となっています。

・ 卸・小売の年間販売額の減少

消費者ニーズの多様化により拡大している通信販売やインターネット販売による県外の事業者からの購買が多いことが主要因と考えており、卸の機能が他県へ移動したことや、デフレの影響・人口減少もその背景にあると考えています。

■ 施策に対する市民の実感

「商店街で買い物がしやすい」と感じる市民の割合



■ これからの課題

第2期中心市街地活性化基本計画に位置付けられた盛岡バスセンター再整備事業等の事業を着実に実施し、にぎわいの創出や回遊性の向上を図り、商店街・個店の新たな魅力発信に向けた効果的な支援策について、各商店街へのヒアリング等を通じて検討を進める必要があります。また、盛岡三大麺普及の取組については、業界団体が主体となり、さらに展開されるように支援していく必要があります。

■ 今後の方向性

平成29年度に策定予定の商業振興ビジョンにおいて、課題解決に向けた改革改善について、関係団体からの意見を踏まえて検討し、課題の解決に取り組めます。

施策23 工業の振興

製造業等の活発な事業活動を展開させるため、大学や公的研究機関などとの連携を進めるとともに、企業の新技術や商品開発、海外展開を支援するほか、新事業創出や起業の支援、産業集積基盤の整備、ものづくり人材の育成など、工業の振興を図ります。

■ 主要事業の実績

産学官連携研究センターなどを拠点に、入居企業の研究開発支援や大学等との共同研究の助成などにより、産学官連携の強化や新事業の創出を図るとともに、国から認定を受けた「創業支援計画」により、細かな起業家支援を行いました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
工業振興事業	一般		製造業者や事業者に対する助成制度の運用、企業訪問による企業経営課題への助言・指導支援など	16	17	0
産業支援事業	一般		経営相談窓口の設置及び専門家派遣、新分野進出企業の支援	2	2	0
産学官連携研究センター管理運営事業	一般		産学官連携研究センターの管理運営	19	19	0
新事業創出支援センター管理運営事業	一般		新事業創出支援センターの管理運営	8	9	0
産業支援センター管理運営事業	一般		産業支援センターの管理運営	16	16	0
施策の計（一般会計）				61	62	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

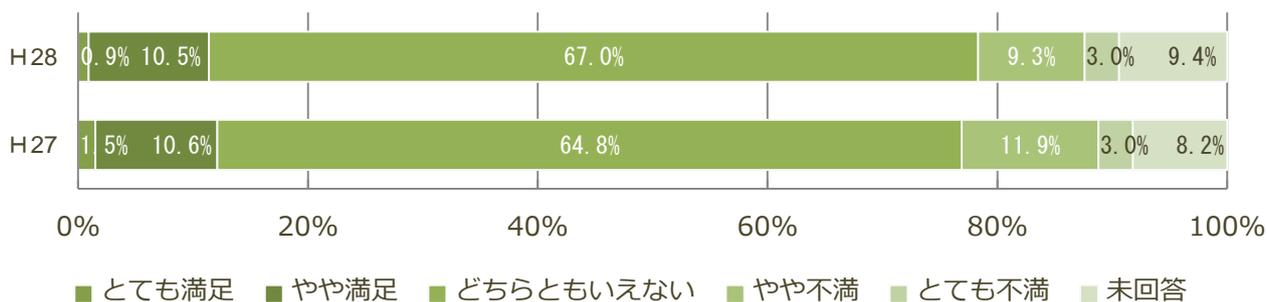
成果指標名(施策)	指標の性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
製造品出荷額等*	↗	千万円	<p>12,000 11,000 10,000 9,000</p> <p>当初値 10,171 H27 10,107 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(10,511) H36目標値(11,017)</p>

* 計画策定時は、速報値を当初値に用いて目標値を設定していましたが、確定値が目標値を超えたため、平成28年度に目標値を変更しています。

※ 29年12月に工業統計調査の結果が公表されるため、28年度実績は空欄となっています。

■ 施策に対する市民の実感

「大学や公的研究機関などとの連携や、新事業創出や起業の支援など、工業の振興への取組が行われている」と感じる市民の割合



■ これからの課題

製造品出荷額等の向上のためには、既存企業の事業の拡大及び新たな企業の誘致が必要不可欠ですが、当市においては、誘致しようとする企業や産業支援施設の卒業企業が市内展開するための産業等用地が不足していることから、平成28年度に策定した新産業等用地整備基本計画に基づきスピード感を持って新たな産業等用地の整備を進める必要があります。

盛岡市工業振興ビジョンについて、企業を取り巻く環境は、策定時と変化してきていることから、企業ニーズに即した支援策を実施するためアクションプランの見直しを行い、PDCAサイクルに基づき着実に推進することが求められます。

中小企業の事業拡大のためには、経営基盤安定化が重要であり、「県保証協会保証付の市及び県の一部の融資制度利用者に対し信用保証料の一部又は全部を市が負担する」支援を継続するとともに、生産の効率化や販路開拓等に向けた支援が必要です。

また、産業支援施設である産業支援センター、産学官連携研究センター、新事業創出支援センターを活用した起業家支援及び製品・技術開発支援など、各ステージでの支援の継続を行いながら、岩手大学を主とする大学等との産学官連携を一層強化することで、他都市との差別化を図ることが必要です。

■ 今後の方向性

- ・ 誘致しようとする企業や産業支援施設の卒業企業が市内展開するための産業等用地整備を推進します。
- ・ 企業を取り巻く環境変化に即した事業支援を行うため、工業振興ビジョンのアクションプランの見直しを行います。
- ・ 岩手大学を主とする大学等との産学官連携を一層強化します。
- ・ 「起業家塾@もりおか」を継続し、起業家の発掘に努めるとともに、産業支援施設の情報発信を行い、利用促進を図ります。

施策24 観光の振興

盛岡に多くの人を訪れるようにするため、地域資源を活用した観光地域づくりと広域的な観光交流の促進に努め、積極的な情報発信により、国内外の旅行者やコンベンションの誘致を推進するとともに、祭り・イベントの充実や特産品などの物産の振興、おもてなしの心の醸成や受入態勢の整備など、観光の振興を図ります。

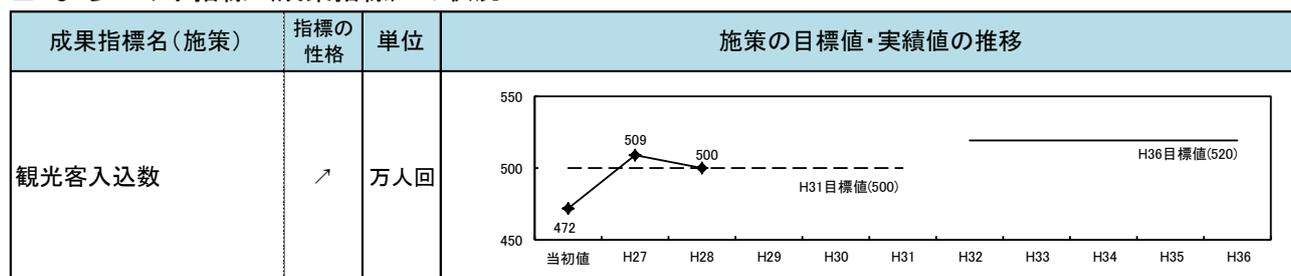
■ 主要事業の実績

盛岡さんさ踊りやチャグチャグ馬コ等の祭り・イベントの実施、首都圏等での盛岡デーの開催などに加え、広域連携での滞在型観光の促進や海外でのさんさ踊りの披露などにより、盛岡の観光や特産品、文化・暮らしを情報発信するとともに、盛岡ブランド認証商品の販路拡大を図りました。

(単位 百万円)

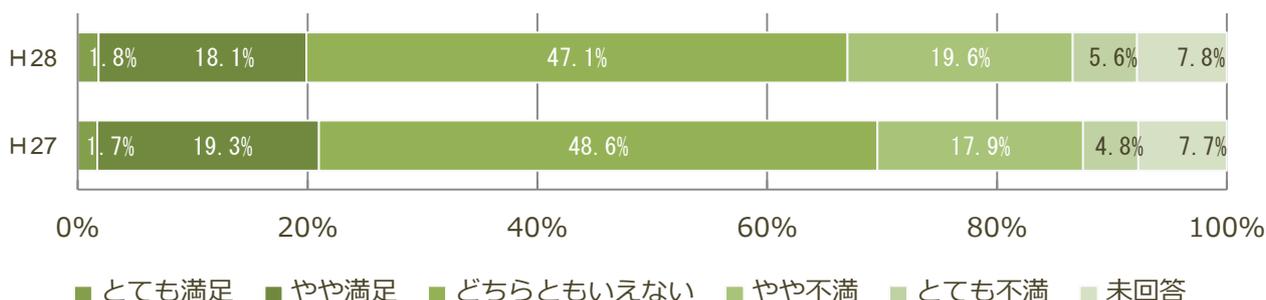
主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
盛岡デー等観光PR事業	一般	(★)	盛岡デーなどの開催による総合的な観光PR活動	24	23	0
祭り・イベント振興事業	一般		伝統行事・祭り支援（盛岡さんさ踊り、チャグチャグ馬コ、盛岡秋まつり山車など）、イベント開催支援（盛岡花火の祭典など）	53	51	0
物産振興事業	一般	(★)	物産と観光展の開催、産業まつりの開催、盛岡特産品ブランドの認証	3	3	0
MICE誘致推進事業	一般		盛岡広域圏内を主会場として開催する一定規模以上の会議やコンベンションなどに対する補助	24	17	0
広域観光推進事業	一般		関係団体（岩手県観光協会、八幡平国立公園協会、盛岡駅観光案内所など）への支援・補助	15	15	0
施策の計（一般会計）				119	109	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況



■ 施策に対する市民の実感

「観光地としての魅力が溢れている」と感じる市民の割合



■ これからの課題

観光推進計画において、他の施策への波及効果が期待される「まちなか観光の推進」、「MICE誘致の推進」、「外国人観光客の受入環境の整備」の3項目を重点化施策に位置付けていますが、特に、観光客入込数が低迷する冬期間の誘客、外国人観光客の誘致に取り組む必要があります。

■ 今後の方向性

冬期間における市内最大のイベントである「もりおか雪あかり」について、SNS等を活用した積極的・効果的な情報発信を継続して行うほか、外国人観光客のニーズを把握し、戦略を持って広域連携による海外プロモーションの強化や効果的な情報発信に努めます。

施策25 雇用の創出

若い世代を中心とした市民の多様な働く場を確保するため、商工団体等との連携を図るとともに、積極的な企業誘致を展開するほか、創業支援などにより、多様な雇用の創出を図ります。

また、勤労者が安心して働くことができるように、労働環境の向上を促進します。

■ 主要事業の実績

「立地セミナー」の開催などにより、県と連携した企業誘致を推進するとともに、就職面談会や高校生向けの研修等の実施、企業に対する雇用拡大要請などにより、雇用対策を行いました。

また、安心して働くことができる環境の整備のため、勤労者福祉対策を行いました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
盛岡広域企業誘致推進事業	一般	(★)	情報関連・研究開発・食料品製造系企業などの誘致	6	6	0
雇用対策推進事業	一般		もりおか就職面接会の開催、正規雇用など雇用拡大に向けた取組	2	2	0
勤労者対策事業	一般		勤労者福祉団体への補助、勤労者向け融資制度の預託	75	75	0
施策の計（一般会計）				82	82	0

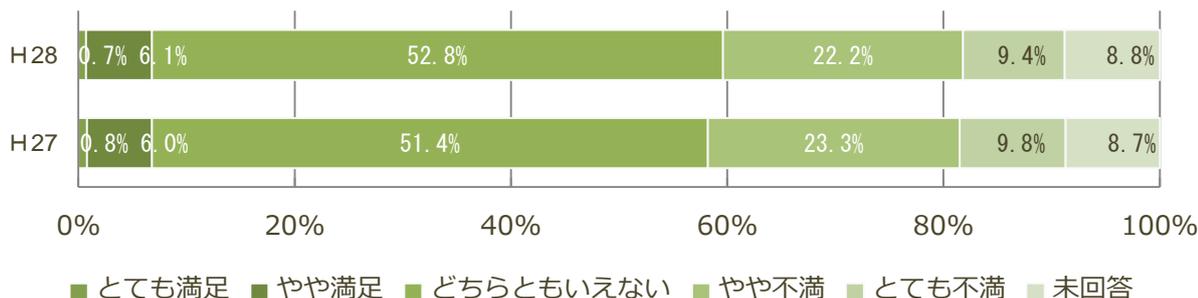
■ まちづくり指標（成果指標）の状況

成果指標名(施策)	指標の性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
盛岡公共職業安定所管内の有効求人倍率	↗	倍	<p>当初値 0.94 (H27), 1.13 (H28), 1.19 (H28)</p> <p>H31目標値(1.00), H36目標値(1.00)</p>
盛岡公共職業安定所管内の就職率*	↗	%	<p>当初値 37.4 (H27), 37.6 (H27), 38.1 (H28)</p> <p>H31目標値(40.0), H36目標値(42.5)</p>

* 就職率＝就職件数÷新規求職申込件数

■ 施策に対する市民の実感

「企業の誘致や雇用対策の取組が行われている」と感じる市民の割合



■ これからの課題

企業誘致については、IT関連企業や食料品製造業を中心にした企業訪問や、新たな産業等用地の整備を図る必要があります。

雇用対策の推進については、有効求人倍率が目標値を上回る1.0倍超で推移している状況にありますが、求人を充足できない企業もあることから、人材確保及び雇用のミスマッチ等へ対応が課題となっています。

勤労者福祉の充実については、勤労者が活用しやすい融資制度の設計のほか、中小企業勤労者の福利厚生への充実に向け、勤労者福祉サービスセンターの支援内容の周知を図る必要があります。

■ 今後の方向性

新産業等用地整備基本計画に基づく用地整備等を進めながら、企業の誘致を図るとともに、平成28年度より実施している「企業の採用力・情報発信力の強化に資する研修」の成果を地元企業に広く波及させるなどの取組により、企業の人材確保に向けた支援を行います。

また、勤労者福祉サービスセンターの会員数の拡大に向け、より一層の周知を図ります。

施策26 都市基盤施設の維持・強化

快適な市民生活と活発な産業活動を支えるため、道路や橋りょう、公園、上下水道施設などの都市基盤施設の適切な維持管理と機能強化を図ります。

■ 主要事業の実績

道路や橋梁、上下水道について、計画的に整備・補修を行ったほか、市民要望を踏まえ、除雪路線を延長しました。

また、公園の整備やハンギングバスケットの設置により、都市の緑化を進めるとともに、土地区画整理事業、生活環境整備事業、再開発事業等により、良好な市街地環境の形成を推進しました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
建築指導事務	一般		建築指導・確認審査等に係る事務、啓発活動など	4	4	0
耐震診断・改修促進事業	一般		木造住宅の耐震診断及び耐震改修に対する補助など	2	2	0
道路橋りょう維持管理事業	一般		市道舗装補修、点検や道路照明灯電気料など	620	625	4
橋りょう維持補修事業	一般		上の橋、御厩橋、葛西橋、前潟橋、川原橋、盛岡袴線橋の改修工事	415	233	86
道路除排雪事業（除排雪委託ほか）	一般		バス路線及び通学路等の除排雪、主要交差点及び急坂部への凍結防止剤の散布など	649	694	0
道路除排雪事業（除雪車両等購入費）	一般	(★)	町内会等へ貸し出す小型除雪機の購入など	41	3	0
身近な暮らしを支える道路整備	一般	(★)	★岩手飯岡駅南公園線、★下田生出線（生出工区）、★柘沢橋線、盛岡駅前通線、★尻志田線など	2,110	784	582
都市公園整備事業	一般		中央公園・高松公園・岩山公園、盛岡南地区公園の整備など	581	315	167
旧盛岡競馬場跡地（自由広場ゾーン）整備事業	一般		クレイグラウンド整備工事、トイレ兼倉庫実施設計、用地取得など	339	332	0
お城を中心としたまちづくり事業	一般		盛岡城跡石垣修復実施設計及び工事、史跡整備基本設計など	45	42	0
公園等維持管理事業	一般		公園施設の修繕、街路樹の維持管理など	188	165	46
花と緑のまちづくり事業	一般	(★)	★花と緑のガーデン都市づくり、地域緑化支援など	20	19	0
上水道安全対策事業	水道		重要給水施設配水管の整備	481	369	83
配水管整備事業	水道		配水能力増強事業、経年管対策事業、未給水地域解消事業、配水調整ブロック整備事業など	1,698	957	376
水道水源水質保全促進事業	水道		水源かん養林の保全、水源の水質保全など	7	7	0
浄配水場施設整備事業	水道		浄水場（米内、中屋敷、沢田など）の設備更新、工事など	615	424	159
鉛製給水管解消事業	水道		鉛製給水管の布設替工事に対する補助	3	2	0
公共下水道汚水施設整備事業	下水	(★)	汚水管渠の整備など	933	302	564

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
流域下水道建設負担金事業	下水		北上川上流流域下水道都南処理区の整備（流域幹線，ポンプ場整備及び処理場施設整備）への負担金	227	175	0
公共下水道改築更新事業	下水		既存施設の耐震化，更新工事	361	81	180
浄化槽整備事業	一般	(★)	浄化槽設置に対する補助	31	24	0
公共下水道雨水施設整備事業	下水	★	雨水管渠の整備など	789	412	494
太田地区整備事業	一般		建物等移転補償，道路築造，宅地造成など	1,470	1,232	304
都南中央地区整備事業	一般		建物等移転補償，道路築造など	425	241	140
道明・下飯岡地区整備事業	一般		建物等移転補償，道路築造，宅地造成など	640	362	253
優良建築物等整備事業	一般		優良建築物等整備事業への補助（中央通三丁目地区）	13	13	0
施策の計（一般会計）				7,593	5,090	1,581
施策の計（一般会計以外）				5,115	2,729	1,856

- ・ 橋りょう維持補修事業，道路除排雪事業（除雪車両等購入費），身近な暮らしを支える道路整備
公共下水道改築更新事業
国からの交付金の交付額が当初の見込みを下回ったことに伴い，事業費を減額したため，実績額が小さくなりました。
- ・ 配水管整備事業
入札不調に伴う工事の取り止めや他事業の計画変更に伴う工事の取り止め，施工規模の縮小などにより，事業費が減額になりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

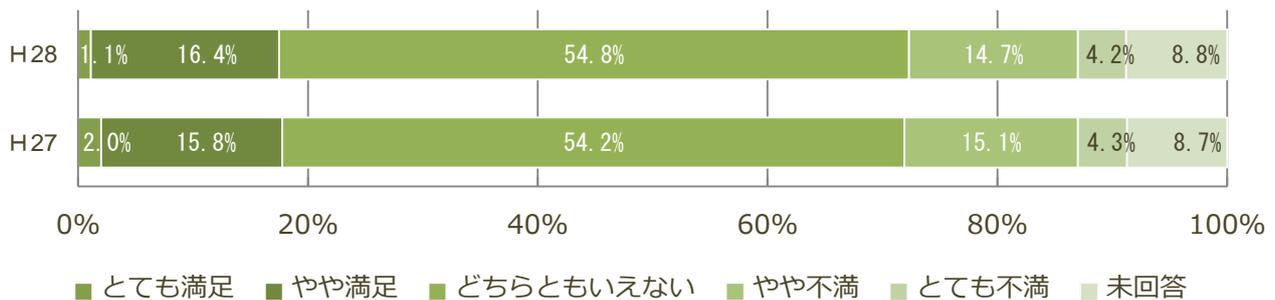
成果指標名(施策)	指標の性格	単位	施策の目標値・実績値の推移																		
市道改良率*	↗	%	<table border="1"> <caption>市道改良率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>73.9</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>74.4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>74.6</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>74.8</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>75.7</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	73.9	-	H27	74.4	-	H28	74.6	-	H31	-	74.8	H36	-	75.7
年度	実績値	目標値																			
当初値	73.9	-																			
H27	74.4	-																			
H28	74.6	-																			
H31	-	74.8																			
H36	-	75.7																			
まちづくり評価アンケート調査「公園や街路樹などの街の中の緑が多いと思う」と答えた市民の割合	↗	%	<table border="1"> <caption>まちづくり評価アンケート調査の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>74.2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>74.7</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>78.1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	74.2	-	H27	74.7	-	H28	78.1	-	H31	-	80.0	H36	-	80.0
年度	実績値	目標値																			
当初値	74.2	-																			
H27	74.7	-																			
H28	78.1	-																			
H31	-	80.0																			
H36	-	80.0																			
水道管路の耐震化率	↗	%	<table border="1"> <caption>水道管路の耐震化率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>23.3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>24.9</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>25.5</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>29.6</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>34.6</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	23.3	-	H27	24.9	-	H28	25.5	-	H31	-	29.6	H36	-	34.6
年度	実績値	目標値																			
当初値	23.3	-																			
H27	24.9	-																			
H28	25.5	-																			
H31	-	29.6																			
H36	-	34.6																			
汚水処理人口普及率(処理区域内人口/行政区内人口)	↗	%	<table border="1"> <caption>汚水処理人口普及率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>95.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>95.2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>95.3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>96.0</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>97.8</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	95.0	-	H27	95.2	-	H28	95.3	-	H31	-	96.0	H36	-	97.8
年度	実績値	目標値																			
当初値	95.0	-																			
H27	95.2	-																			
H28	95.3	-																			
H31	-	96.0																			
H36	-	97.8																			
面的整備による生活環境整備率(整備済路線延長/整備計画路線延長)	↗	%	<table border="1"> <caption>面的整備による生活環境整備率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>29.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>30.5</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>31.7</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>63.0</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>97.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	29.0	-	H27	30.5	-	H28	31.7	-	H31	-	63.0	H36	-	97.0
年度	実績値	目標値																			
当初値	29.0	-																			
H27	30.5	-																			
H28	31.7	-																			
H31	-	63.0																			
H36	-	97.0																			

* 平成28年度に新しく追加した指標です。

- 面的整備による生活環境整備率（整備済路線延長/整備計画路線延長）の微増
 国庫補助金や交付金といった国費を含めた事業費が十分確保できていないこと（財源不足）等により、指標の推移が微増に留まっています。

■ 施策に対する市民の実感

「快適で暮らしやすい居住環境が整っている」と感じる市民の割合



■ これからの課題

・ 良好な住宅地の誘導

熊本地震の影響により耐震診断に対する意識が高まっていると推測されることから、戸別訪問を継続実施し耐震診断の必要性について啓発を図る必要があります。

・ 安全・快適な道路環境向上や既成市街地の環境整備

国からの交付金の含む財源が十分確保できていないことから、国へ安定的な財源確保の要望を継続すると共に、更に効率的な事業実施を図る必要があります。

・ 都市公園の整備と利用促進及び都市緑化の推進

公園整備の促進や、市民がより緑化に取り組みやすくするために市としての支援が必要です。また、公園や街路樹の維持管理について市民からの要望が多く、市として実施しなければならない部分は確実に実行する必要があります。

・ 安定給水の確保

計画した工事を実施できるよう、不調になりにくい発注方法について検討する必要があります。

・ 汚水処理の充実

未整備地区は郊外が多く投資効果が低いことから、効率的な管路整備を実施する必要があります。また、整備済み地区においても下水道への接続促進を図る必要があります。

・ 雨水浸水対策の推進

雨水幹線の整備による浸水対策には時間を要することから、短期的に対応できる対策を検討し、対応する必要があります。

■ 今後の方向性

・ 良好な住宅地の誘導

木造住宅の耐震診断及び耐震改修工事の実施に向けて、これまで行っていた盛岡地方振興局・建築士会盛岡支部との合同による住宅訪問のほか、盛岡市単独の住宅訪問を実施します。

・ 安全・快適な道路環境の向上

国への要望活動を引き続き行い交付金の安定的な確保につなげます。また、道路、橋梁の補修、維持管理において、優先順位を定め、計画的かつ効率的に実施します。

・ 都市公園の整備と利用促進及び都市緑化の推進

予算の確保及び公民連携による公園整備や公園活性化プランを共催し、公園の魅力向上を図り、利活用を推進し、緑化意識の向上を図ります。

・ 安定給水の確保

年間を通じて安定して工事を発注し、工事業者が受注しやすい環境とするため、工事規模、発注時期を調整し、場合により繰越による発注も行います。

- **汚水処理の充実**

効率的・効果的な污水管整備計画の見直しを行います。また、下水道への接続を促進するため、新たな助成制度の創設や効率的な戸別訪問を行います。

- **雨水浸水対策の推進**

浸水被害箇所に対して、短期的に対応できる側溝整備や柵改良等を行います。

- **既成市街地の再整備**

国への要望活動を引き続き行い交付金の安定的な確保につなげます。また、事業計画の見直しや工事発生材の利用等事業費圧縮を進めるとともに、効率的に事業を進めるため関係部署との役割分担の再度検討を行います。また、生活環境整備事業や市街地再開発事業を効果的に実施します。

施策27 交通環境の構築

幹線道路の整備や公共交通機関の利便性の向上を図るほか、自転車走行環境や歩行環境の整備などに取り組むことにより、総合的な交通体系を確立するとともに、マイカー利用の抑制と公共交通や自転車利用の促進を図り、環境にやさしく快適な交通環境を構築します。

■ 主要事業の実績

公共交通機関の利便性向上と利用促進のため、「まちなか・おでかけパス」や駅周辺の施設整備などを実施しました。

また、幹線街路の整備を進めたほか、自転車走行空間の整備を行い、安全と利用促進を図りました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
公共交通利用促進対策事業 (整備関連)	一般	(★)	バス停上屋整備工事，盛岡駅西口交通 広場連絡路工事，モビリティマネジメ ント業務委託など	16	8	7
公共交通利用促進対策事業 (ハード以外)	一般		盛岡駅前広場誘導業務委託，まちな か・おでかけパス事業補助金，広域生 活路線維持事業補助金など	58	60	0
自転車の安全と利用促進に関 する事業（整備関係）	一般		旧国道46号の市へ移管された一部区間 において，国土交通省が整備を実施	0	0	0
自転車の安全と利用促進に関 する事業（ソフト事業）	一般		自転車ネットワーク計画のパンフレッ ト作成	1	1	0
都市の骨格を形成する街路事 業	一般	(★)	★梨木町上米内線（第Ⅱ工区），★治 橋大沢川原線（大通工区），★盛岡駅青 山線（前九年Ⅱ工区）など	841	460	354
施策の計（一般会計）				915	529	361

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

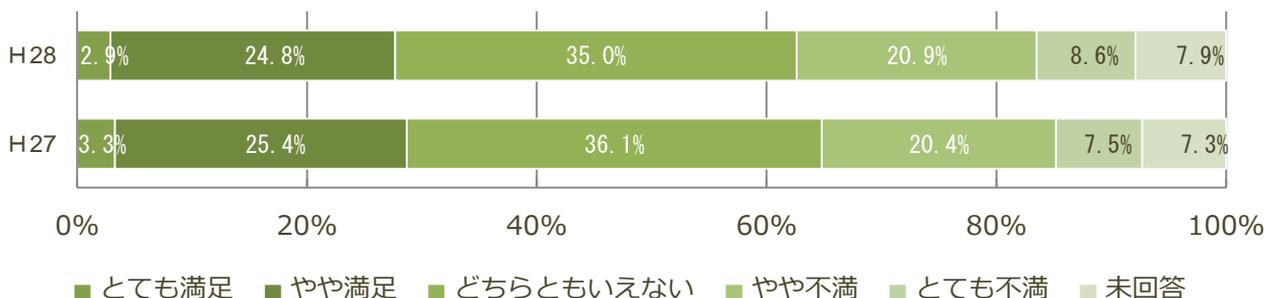
成果指標名(施策)	指標の性格	単位	施策の目標値・実績値の推移												
平日の主要幹線道路の混雑度	↓	割合	<table border="1"> <caption>平日の主要幹線道路の混雑度</caption> <tr><th>年</th><th>値</th></tr> <tr><td>当初値</td><td>1.11</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1.04</td></tr> <tr><td>H28</td><td>1.03</td></tr> <tr><td>H31目標値</td><td>1.09</td></tr> <tr><td>H36目標値</td><td>1.08</td></tr> </table>	年	値	当初値	1.11	H27	1.04	H28	1.03	H31目標値	1.09	H36目標値	1.08
年	値														
当初値	1.11														
H27	1.04														
H28	1.03														
H31目標値	1.09														
H36目標値	1.08														
交通の手段分担率の変化(自動車)	↓	%	<table border="1"> <caption>交通の手段分担率の変化(自動車)</caption> <tr><th>年</th><th>値</th></tr> <tr><td>当初値</td><td>59.3</td></tr> <tr><td>H27</td><td>63.9</td></tr> <tr><td>H28</td><td>64.7</td></tr> <tr><td>H31目標値</td><td>56.0</td></tr> <tr><td>H36目標値</td><td>53.0</td></tr> </table>	年	値	当初値	59.3	H27	63.9	H28	64.7	H31目標値	56.0	H36目標値	53.0
年	値														
当初値	59.3														
H27	63.9														
H28	64.7														
H31目標値	56.0														
H36目標値	53.0														
交通の手段分担率の変化(バス, 鉄道)	↑	%	<table border="1"> <caption>交通の手段分担率の変化(バス, 鉄道)</caption> <tr><th>年</th><th>値</th></tr> <tr><td>当初値</td><td>14.7</td></tr> <tr><td>H27</td><td>12.5</td></tr> <tr><td>H28</td><td>12.6</td></tr> <tr><td>H31目標値</td><td>17.0</td></tr> <tr><td>H36目標値</td><td>19.0</td></tr> </table>	年	値	当初値	14.7	H27	12.5	H28	12.6	H31目標値	17.0	H36目標値	19.0
年	値														
当初値	14.7														
H27	12.5														
H28	12.6														
H31目標値	17.0														
H36目標値	19.0														
交通の手段分担率の変化(徒歩, 自転車など)	↑	%	<table border="1"> <caption>交通の手段分担率の変化(徒歩, 自転車など)</caption> <tr><th>年</th><th>値</th></tr> <tr><td>当初値</td><td>26.0</td></tr> <tr><td>H27</td><td>23.6</td></tr> <tr><td>H28</td><td>22.7</td></tr> <tr><td>H31目標値</td><td>27.0</td></tr> <tr><td>H36目標値</td><td>28.0</td></tr> </table>	年	値	当初値	26.0	H27	23.6	H28	22.7	H31目標値	27.0	H36目標値	28.0
年	値														
当初値	26.0														
H27	23.6														
H28	22.7														
H31目標値	27.0														
H36目標値	28.0														
1日当たりのバス・鉄道利用者数	↑	人	<table border="1"> <caption>1日当たりのバス・鉄道利用者数</caption> <tr><th>年</th><th>値</th></tr> <tr><td>当初値</td><td>71,962</td></tr> <tr><td>H27</td><td>76,192</td></tr> <tr><td>H28</td><td>75,191</td></tr> <tr><td>H31目標値</td><td>74,400</td></tr> <tr><td>H36目標値</td><td>74,600</td></tr> </table>	年	値	当初値	71,962	H27	76,192	H28	75,191	H31目標値	74,400	H36目標値	74,600
年	値														
当初値	71,962														
H27	76,192														
H28	75,191														
H31目標値	74,400														
H36目標値	74,600														

・ 交通の手段分担率の変化（自動車の増加，バス，鉄道の微増）

調査方法が抽出アンケート方式でばらつきもあるため経年の傾向として見ていく必要がありますが、「まちなか・おでかけパス」による高齢者のバス利用が増加している一方、通勤者に対する「マイカーから公共交通に転換」の取組が十分行き渡っていない可能性もあり、更なる検証が必要と考えられます。

■ 施策に対する市民の実感

「幹線道路や公共交通機関が利用しやすい」と感じる市民の割合



■ これからの課題

・ 公共交通機関の利便性向上と利用促進

これまでどおり「まちなか・おでかけパス」やバス待ち環境の改善などのバス利用促進策を継続するとともに、通勤時の交通手段分担率が十分な成果を上げていないことから、利用者の属性別、目的別などの利用状況を分析し、通勤者・高齢者等ターゲットを絞った効果的な利用促進施策の検討や、将来に渡る人口減少や高齢化に対応した持続可能な公共交通に再構築する必要があります。

また鉄道利用については、利用者数が増加に転じるよう駅周辺の施設整備や鉄道利用促進に係る支援などの施策を推進するとともに、効果的なモビリティ・マネジメントによる利用促進に取り組む必要があります。

・ 自転車、歩行者のための交通環境の充実

快適な自転車の走行環境を整えるため、平成27年度に策定した『盛岡市自転車ネットワーク計画』を基に、自転車走行空間の整備を今後も進めます。また、整備促進のため経済的、効果的な整備手法の検討を行います。

・ 都市活動を支える幹線道路の整備

厳しい財政事情の中、今後は大幅な事業費の伸びは期待できず、近年は国の交付金事業の内示率が低下していることから、事業費確保が厳しいものと見込まれます。また、盛岡広域圏では、人口減少及び人口構造の変化に対応するため連携中枢都市圏形成の取組を進めており、これを支える幹線道路ネットワークの形成が必要となっています。

■ 今後の方向性

- ・ 鉄道利用促進に関する事業については、地域公共交通網形成計画の策定により、バスと鉄道の結節強化による利便性向上や、潜在的な公共交通利用転換のある地域の把握調査に取り組みます。
- ・ 自転車の安全と利用促進に関する事業では、国、県と連携した自転車走行空間のネットワーク化の推進について、引き続き、関係機関との整備時期の調整や、国の補助制度を活用した整備など、財源確保の検討も合わせながら整備に取り組みます。
- ・ 都市活動を支える幹線道路の整備については、国への要望活動により財政支援を働きかけるとともに、盛岡広域圏における幹線道路ネットワークの形成については、都市計画道路整備プログラムの見直しで位置付けた広域関連路線の整備に取り組みます。

施策28 国際化の推進

産業や教育、文化、スポーツなど幅広い分野において、諸外国との交流を促進し、市民の国際感覚の醸成を図るとともに、外国人が訪れやすく、暮らしやすい環境の整備を進めます。

また、企業の国際競争力向上への支援や国際的に活躍できる人材の育成など、国際化の推進を図ります。

■ 主要事業の実績

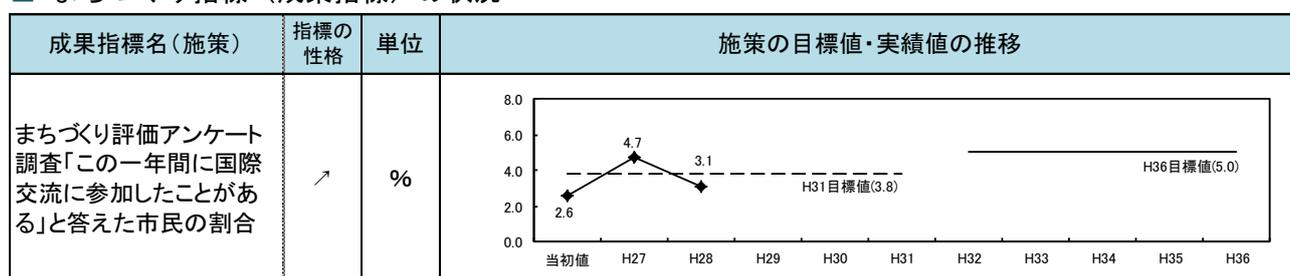
姉妹都市カナダ・ビクトリア市との交流事業や諸外国との各種交流事業を行い、国籍や文化の違いを超えた相互理解に対する市民意識の醸成を図りました。

また、国際リニアコライダーの建設実現を目指した活動としては、国際学術会議LCWS2016の開催支援や児童を対象とした出前講座の実施などを通して、市民の機運の醸成に繋がる取組を進めました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
姉妹都市等国際交流事業	一般	★	姉妹都市カナダ・ビクトリア市との交流や諸外国との各種交流事業	12	12	0
国際交流関係事業	一般		アールム大学からの短期留学生の受入れ、市立中高生をアールム大学へ派遣	2	2	0
施策の計（一般会計）				14	14	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

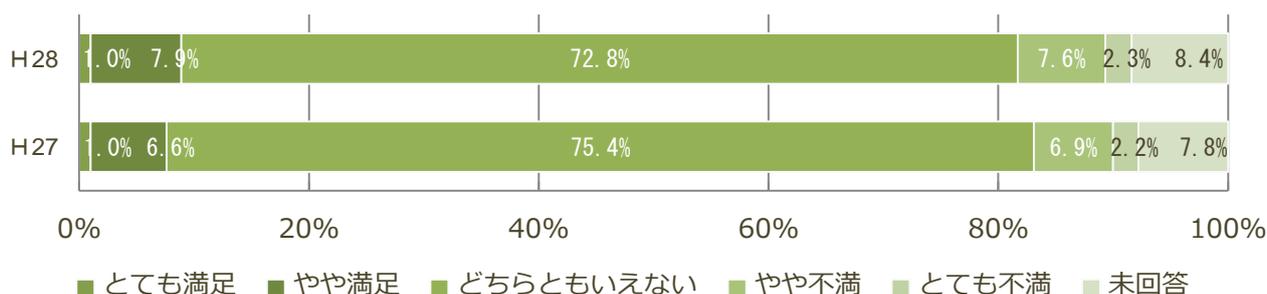


・ 「この一年間に国際交流に参加したことがある」市民の割合の減少

市民の国際交流への理解及び関心が低く、国際交流が日常的な存在となるまで至っていないことが要因と考えられます。

■ 施策に対する市民の実感

「異文化にふれ国際交流に参加する機会が充実している」と感じる市民の割合



■ これからの課題

・ 国際交流の推進

国際交流の事業が固定化しており、さらに多くの市民の参加が必要なことから、魅力ある事業の展開と情報発信が必要となります。

・ 国際都市づくりの推進

本市においては、外国人観光客の増加とともに、2020東京オリンピック・パラリンピック開催や国際リニアコライダーの誘致実現など、将来を見据えながら、国際化に向けたまちづくりを進める必要があります。

■ 今後の方向性

・ 国際交流の推進

市や盛岡市国際交流協会の交流事業のほか、市民団体が行う事業に支援することで、魅力ある事業の展開を図るとともに、SNSを活用した情報発信に努めます。また、2020年東京オリンピックのホストタウンとして事前キャンプの支援を行うとともに、交流事業を実施します。

・ 国際都市づくりの推進

国際化に向けた本市のまちづくりの方向性を検討します。

国際リニアコライダーの誘致実現に関係機関とともに取り組みます。

施策29 都市間交流の促進

にぎわいのあるまちを創出するとともに、市民生活の質を高めるため、市民とさまざまな都市や地域の人々との交流を促進します。

■ 主要事業の実績

友好都市の沖縄県うるま市や南部氏ゆかりの山梨県身延町などとの交流事業を行い、都市間の相互理解と交流を促進しました。

また、みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンに掲げる事業を推進しました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
地域連携交流事業	一般		宮古市から潟上市までを結ぶ秋田・岩手地域連携軸推進協議会の交流事業に参画	1	1	0
広域連携推進事業	一般		みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンに掲げる事業の推進	0	0	0
施策の計（一般会計）				1	1	0

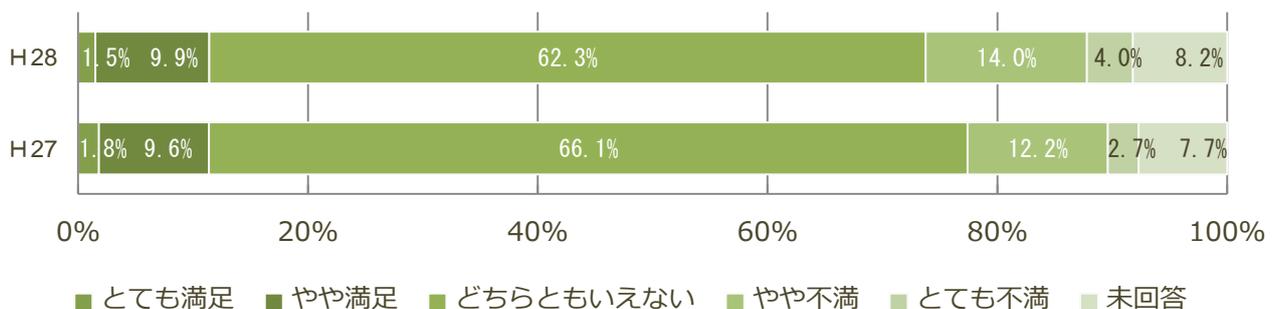
■ まちづくり指標（成果指標）の状況

成果指標名(施策)	指標の性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
都市間交流を促進するための協定等の締結数	↑	件	
みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン事業数*	↑	件	

* 平成28年度に「にぎわいや産業振興につながる自治体連携の取組数」から「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン事業数」に変更しています。

■ 施策に対する市民の実感

「都市間の交流が盛んになり、まちのにぎわい」を感じる市民の割合



■ これからの課題

・ 都市間交流の促進

友好都市や本市にゆかりのある都市との市民交流は、その機会が少ないことから、市民への周知や交流機会の創出を図る必要があります。

・ 地域間連携の推進

みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンに掲げる事業について、国からの財政支援がより図られるように、事業内容を更に検討する必要があります。

■ 今後の方向性

・ 都市間交流の促進

各都市等との市民レベルの交流を促進するため、事業内容や交流機会を増やすことなどを検討します。

うるま市や文京区、函館市など、既に交流のある都市との継続した交流事業を深めます。

・ 地域間連携の推進

圏域の市町との連携を強化するとともに、「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」に掲げる事業を推進するため、事業実施に係る交付税の効果的な活用を検討するなど、事業効果が広域に及ぶための事業スキームを構築します。

(2) 総括

まちづくりの取組では、盛岡市総合計画の基本構想に掲げる「目指す将来像」の実現に向け、4つの基本目標のもと、29の施策の中に、90の小施策、約1,000の事業を位置づけ、毎年度改革改善しながら事業を進めています。

その中でも、各施策において、優先的かつ重点的に実施する事業を「主要事業」に位置づけて施策の推進を図っています。

また、施策の推進に当たっては、「まちづくり指標」として目標を定めて進捗を図っているほか、施策の取組状況などについて、市民の皆さんがどのように感じているか毎年アンケート調査を行い、その結果を「市民の実感」として把握しながら進捗を図っています。

■ 主要事業の実績（基本目標別）

平成28年度は、158事業を主要事業に位置づけながら施策の推進を図り、主要事業の実績額は、全会計合計で106,878百万円となりました。

内訳は下の表のとおりです。

(単位 百万円)

基本目標	会計区分	計画額	実績額	翌年度繰越額
1 人がいきいきと暮らすまちづくり (63事業)	一般会計	37,880	35,924	591
	一般会計以外	58,950	57,970	0
2 盛岡の魅力があふれるまちづくり (16事業)	一般会計	2,415	2,152	0
	一般会計以外	0	0	0
3 人を育み未来につなぐまちづくり (16事業)	一般会計	1,844	1,654	755
	一般会計以外	0	0	0
4 人が集い活力を生むまちづくり (63事業)	一般会計	9,437	6,448	2,011
	一般会計以外	5,116	2,729	1,856
計 (158事業)	一般会計	51,576	46,178	3,356
	一般会計以外	64,065	60,700	1,856
	合計	115,641	106,878	5,211

(備考) 1 計画額はH28年度当初予算額です。

2 計画額、実績額とも、四捨五入しているため、計と合致しない場合があります。

3 計画額及び実績額が100万円未満の場合は、切り上げています。

基本目標1 人がいきいきと暮らすまちづくり（施策1～10）

盛岡に定住する人口を保ち、活力ある社会を築いていくため、若い世代や子育て世代が住みたい、住み続けたいと思うとともに、豊富な経験を持つ高齢者が社会のさまざまな分野で活躍できるまちづくりを進めました。

また、誰もが、心身ともに健やかで自分らしさを発揮しながら、人がつながり、互いに支え合う共生社会の中で、充実感を持っていきいきと安全に暮らすことのできるまちづくりを進めました。

■ 主要事業の実績（施策別）

（単位 百万円）

施策	会計区分	計画額	実績額	翌年度繰越額
1 地域福祉の推進	一般会計	150	151	0
	一般会計以外	11	9	0
2 子ども・子育て、若者への支援	一般会計	7,136	6,857	0
3 高齢者福祉の充実	一般会計	3,990	3,425	377
	一般会計以外	24,397	24,039	0
4 健康づくり・医療の充実	一般会計	6,787	6,564	0
	一般会計以外	34,542	33,922	0
5 障がい者福祉の充実	一般会計	5,880	6,099	0
6 生活困窮者への支援	一般会計	9,269	8,545	22
7 人権尊重・男女共同参画の推進	一般会計	4	4	0
8 安全・安心な暮らしの確保	一般会計	4,142	3,826	192
9 地域コミュニティの維持・活性化	一般会計	295	234	0
10 生活環境の保全	一般会計	228	218	0
計	一般会計	37,880	35,924	591
	一般会計以外	58,950	57,970	0

■ 主な取組

※ 詳細については、「(2) 施策別（P2～28）」に掲載しています。

1 地域福祉の推進（P2～4）

フォーラムや研修会を開催し、地域福祉の担い手の育成を図ったほか、地域の課題解決に結びつく、多機関の協働による包括的支援体制構築モデル事業を実施し、的確なサービスを提供する仕組みづくりに取り組みました。

2 子ども・子育て、若者への支援（P5～7）

認可保育所や小規模保育施設等の新規相談、保育所等の新設や整備補助の実施、定員の弾力化などに取り組み、待機児童の解消を図りました。

また、子育て世代包括支援センター事業やつどいの広場事業を実施したほか、「子ども未来基金」を創設し、子ども・子育て支援活動の助成しました。

さらに、子どもの医療費助成を小学生の入院まで拡充し、子育てしやすい環境づくりを推進しまし

た。

3 高齢者福祉の充実（P8～10）

地域包括支援センターによる相談体制の充実、介護予防の推進や地域ケア会議などを通じた地域団体や民生委員等との協働により、地域ケア体制の構築を進めました。

4 健康づくり・医療の充実（P11～13）

各種健診の受診勧奨，健康教育及び健康相談など，身近な地域での保健活動に努めました。

また，市医師会等と連携・協力し，各医療機関の持つ機能をより明確にし，役割分担と連携による医療提供体制の構築を進めました。

5 障がい者福祉の充実（P14～16）

障がい者への理解と交流の促進，障がい者福祉サービスの充実に向けた各種事業を実施し，障がいのある人もない人も，相互に人格と個性を尊重しあう共生社会の実現を進めました。

6 生活困窮者への支援（P17，18）

ハローワークとの連携を強化し，就労支援事業活用プログラムを充実させるとともに，稼働能力活用プログラム等を積極的に推進し，生活保護受給者を対象に経済的自立や社会参加を促進しました。

また，生活相談窓口「盛岡市くらしの相談支援室」を通じ，住居確保給付金の実施，就学相談や中学生に対する学習支援を行い，生活困窮者の自立の促進を図りました。

7 人権尊重・男女共同参画の推進（P19，20）

平和や人権啓発の推進を図るとともに，男女共同参画意識の高揚に努めました。

また，男女参画サポーター養成講座や男女共同参画推進リーダー育成事業を実施したほか，配偶者暴力相談支援センターにおいては，DVに対する相談や支援を行いました。

8 安全・安心な暮らしの確保（P21～24）

自然災害に備え，被害を軽減するため，防災・減災意識の高揚，自主防災組織の結成促進に取り組むとともに，河川や急傾斜地の整備を進めました。

また，空き家等対策として，空き家に係る講座の実施や専門家による相談会を実施しました。

9 地域コミュニティの維持・活性化（P25，26）

協働推進奨励金制度の創設により，自治会・町内会の事務負担を軽減しました。

また，地域と市とのパイプ役を果たす地域担当職員を地区毎に配置し，市民協働の推進を支援するとともに，コミュニティ推進地区に対して情報提供や活動助成を行いました。

10 生活環境の保全（P27，28）

公害防止対策として，大気，水質，騒音，振動，臭気の測定・監視を行い，その結果を公表したほか，クリーンセンターの設備改修を行い，廃棄物が適切に処理されるよう努めました。

基本目標2 盛岡の魅力があふれるまちづくり (施策11~16)

盛岡を行き交う交流人口を増やし、にぎわいを創出していくため、雄大な自然や美しい景観、城下町の歴史、芸術文化、スポーツ、温かい人情など、盛岡の魅力を守り育てるとともに、まちづくりにいかし、盛岡らしさが光る、魅力あふれるまちづくりを進めました。

■ 主要事業の実績 (施策別)

(単位 百万円)

施策	会計区分	計画額	実績額	翌年度繰越額
11 歴史・文化の継承	一般会計	70	67	0
12 芸術文化の振興	一般会計	33	33	0
13 スポーツの推進	一般会計	2,296	2,037	0
14 「盛岡ブランド」の展開	一般会計	3	3	0
15 良好な景観の形成	一般会計	6	6	0
16 計画的な土地利用の推進	一般会計	7	7	0
計	一般会計	2,415	2,152	0
	一般会計以外	0	0	0

■ 主な取組

※ 詳細については、「(2) 施策別 (P29~41)」に掲載しています。

11 歴史、文化の継承 (P29, 30)

「志波城跡」の整備、「盛岡城跡」石垣の変位調査等を進め、史跡の保護に努めるとともに、発掘調査現場の積極的な公開などにより、保護活用への機運の醸成を図りました。

12 芸術文化の振興 (P31, 32)

コンサート、演劇、美術展などの芸術鑑賞や各種講座など、芸術文化に親しむ機会を提供するとともに、市民の発表機会の支援にも努め、芸術文化活動を推進しました。

13 スポーツの推進 (P33, 34)

盛岡広域でのスポーツツーリズムの推進や、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の開催準備や施設整備などを戦略プロジェクトに位置付け、すべての市民がスポーツに親しみ、健康でいきいきと暮らすことができるまちづくりを推進しました。

14 「盛岡ブランド」の展開 (P35, 36)

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会に伴い、盛岡を訪れる選手・役員等大会関係者や市外に在住する方が盛岡と継続的に関わるきっかけとなるよう、プロモーション動画を制作し、盛岡駅前滝の広場や一部国体会場等で放映し、盛岡ブランドの認知度の向上を図りました。

15 良好な景観の形成 (P37~39)

都市景観シンポジウムや都市景観賞を実施し、景観形成の啓発に努めたほか、屋外広告物の許可等を通じて、景観に配慮した快適で美しい街並みの形成を進めました。

16 計画的な土地利用の推進 (P40, 41)

都市計画法に基づく区域区分等の見直しや開発許可制度等を通じ、総合的で計画的な土地利用を進めました。

基本目標3 人を育み未来につなぐまちづくり（施策17～20）

長い歴史とともに築いてきた文化や環境などを次世代に引き継ぐため、未来の盛岡を支え、創り、つなぐことのできる人を育むまちづくりを進めました。

また、環境への意識が高まる中、豊かな自然環境と快適な都市機能との調和が続く、持続可能なまちづくりを進めました。

■ 主要事業の実績（施策別）

（単位 百万円）

施策	会計区分	計画額	実績額	翌年度繰越額
17 子どもの教育の充実	一般会計	1,402	1,252	755
18 生涯学習の推進	一般会計	367	325	0
19 社会を担う人材の育成・支援	一般会計	12	12	0
20 地球環境の保全と自然との共生	一般会計	64	66	0
計	一般会計	1,844	1,654	755
	一般会計以外	0	0	0

■ 主な取組

※ 詳細については、「(2) 施策別（P42～51）」に掲載しています。

17 子どもの教育の充実（P42～44）

教員の指導力向上のための取組を行い、子どもの学力向上を図るとともに、道徳教育・先人教育の充実などによる豊かな心の育成を進めました。

また、関係機関と連携し、児童・青少年の健全育成に取り組んだほか、学校施設の建設工事や耐震補強工事による教育環境の整備を進めました。

18 生涯学習の推進（P45, 46）

学びの循環推進事業による市民の学習活動の支援や、中学生や青年を対象に、団体活動のリーダー養成を行いました。

19 社会を担う人材の育成・支援（P47, 48）

ジョブカフェいわて、若者サポートステーション、新社会人就職定着支援等により、若い世代に対して、就業や職場定着などに係る情報提供や各種支援を行いました。

20 地球環境の保全と自然との共生（P49～51）

「盛岡市住宅用太陽光発電システム設置費補助制度」により、再生可能エネルギー設備の導入を促進するとともに、環境学習講座や環境啓発イベントを通じて、環境意識の向上に努めました。

基本目標4 人が集い活力を生むまちづくり (施策21~29)

人口減少、少子高齢社会の進行とともに、地方の衰退が懸念されている中であっても、活力を生み出し、拠点都市としての役割を十分に果たしていくため、産業の振興や中心市街地の活性化を図るとともに、高次の都市機能の集積を推進し、求心力のあるまちづくりを進めました。

また、国際化が進展する中で、世界に通用する優れた人材を育むとともに、多文化共生のまちづくりを進め、世界に開かれた、活力を生むまちづくりを進めました。

■ 主要事業の実績 (施策別)

(単位 百万円)

施策	会計区分	計画額	実績額	翌年度繰越額
21 農林業の振興	一般会計	608	519	68
22 商業・サービス業の振興	一般会計	45	43	0
	一般会計以外	1	1	0
23 工業の振興	一般会計	61	62	0
24 観光の振興	一般会計	119	109	0
25 雇用の創出	一般会計	82	82	0
26 都市基盤施設の維持・強化	一般会計	7,593	5,090	1,581
	一般会計以外	5,115	2,729	1,856
27 交通環境の構築	一般会計	915	529	361
28 国際化の推進	一般会計	14	14	0
29 都市間交流の促進	一般会計	1	1	0
計	一般会計	9,437	6,448	2,011
	一般会計以外	5,116	2,729	1,856

■ 主な取組

※ 詳細については、「(2) 施策別 (P52~74)」に掲載しています。

21 農林業の振興 (P52~54)

「盛岡の食の魅力」の全国発信と市内の食産業と食材のビジネスマッチングによる地産地消の推進を図ったほか、「市産材流通推進アクションプラン」に基づく市産材の利用拡大の推進、農林道などの農林業施設の維持管理に取り組みました。

22 商業・サービス業の振興 (P55, 56)

関係団体と連携し、中心市街地の回遊性を向上させるための各種事業に取り組んだほか、地域カード(MORIO-Jカード)を活用した地域共通ポイント発行事業を実施しました。

23 工業の振興 (P57, 58)

市産学官連携研究センターを拠点に、入居企業の研究開発支援や大学等との共同研究の助成などを行い、産学官連携の強化を図るとともに、広域連携での起業家支援や、中小企業の経営安定化支援を行いました。

24 観光の振興（P59, 60）

盛岡さんさ踊りやチャグチャグ馬コ等の祭り・イベントを実施したほか、MICE誘致への取組や観光プロモーション、市場調査などを戦略プロジェクトに位置づけ、重点的に振興を図りました。

25 雇用の創出（P61, 62）

「立地セミナー」の開催などにより、県と連携した企業誘致を推進するとともに、就職面接会や高校生向けの研修等の実施、企業に対する雇用拡大要請などにより、雇用対策を行いました。

26 都市基盤施設の維持・強化（P63～67）

道路や橋梁，上下水道について，計画的に整備・補修を行ったほか，市民要望を踏まえ，除雪路線を延長しました。

また，公園の整備やハンギングバスケットの設置により，都市の緑化を進めるとともに，土地区画整理事業，生活環境整備事業，再開発事業等により，良好な市街地環境の形成を推進しました。

27 交通環境の構築（P68～70）

公共交通機関の利便性向上と利用促進のため、「まちなか・おでかけパス」や駅周辺の施設整備，幹線道路の整備などを実施しました。

28 国際化の推進（P71, 72）

姉妹都市カナダ・ビクトリア市との交流事業や諸外国との各種交流事業を行い，国籍や文化の違いを超えた相互理解に対する市民意識の醸成を図りました。

また，国際リニアコライダーの建設実現を目指した活動としては，国際学術会議LCWS2016の開催支援や児童を対象とした出前講座の実施などを通して，市民の機運の醸成に繋がる取組を進めました。

29 都市間交流の促進（P73, 74）

友好都市でのイベントなどを通じ，都市間の相互理解を促進したほか，平成28年3月に盛岡広域圏を構成する市町で策定した「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」に位置づけられた事業を着実に進めるなど，圏域の一体的な発展に向けて取組を進めました。

2 戦略プロジェクト

子育て応援プロジェクト（取組期間：平成27年度～29年度）

若い世代や子育て世代が、希望を持って子どもを産み育てることができ、盛岡に住みたい、住み続けたいと思えるよう、さまざまな保育ニーズに柔軟に対応するための支援を行うなど、子育て環境の充実を図ります。

また、子どもの健やかな成長の支援や育児不安の解消を通じて子育て世代を応援し、子育てにやさしいまち盛岡を実現します。

■ 指標の状況

指標項目	性格	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度目標
待機児童数	↓	人	54 (H26. 4. 1)	9 (H27. 4. 1)	0 (H28. 4. 1)	0 (H29. 4. 1)	0
まちづくり評価アンケート調査「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合	↓	%	19.2	19.3	22.0	24.0	16.4
まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合	↑	%	17.0	15.5	13.3	15.2	30.2

（要因分析）「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合

28年度実績の内訳は、①「楽しい」と感じる人が多い：33.5%、②どちらかといえば「楽しい」と感じる人が多い：40.5%、③「楽しい」と「つらい」が同じくらい：17.0%、④どちらかといえば「つらい」と感じる人が多い：5.0%、⑤「つらい」と感じる人が多い：2.0%となっており、上記の実績24.0%は、③④⑤の合計値となります。④⑤合わせて7%が「つらい」と感じており、その要因として、閉塞的な環境の中で子育てしている世帯の増加などが考えられます。

■ 主な取組と課題（29年度の取組内容を含んでいます。）

・ 待機児童解消への取組

待機児童解消強化事業において、定員の弾力化に取り組んだことにより、入所児童数の定員が8園で40人分拡大したほか、認可保育所や小規模保育施設の新規開設等の整備に積極的に関わり、保育所定員を274人増やすことに大きく貢献しています。

これにより、4月1日時点での国の定義に基づく待機児童数は0人となりましたが、女性の社会進出や育児休業後職場復帰するため保育所の入所希望者が増加し、年度が進むに従い待機児童は発生し、年度末に向けて増加する傾向にあることから、さらに定員の拡大を進める必要があります。

また、定員拡大を進めることで保育士も必要になることから、雇用を増やすために保育士が働きやすい環境を整備する必要があります。

・ 育児不安解消への取組

子育て応援プラザを設置し、室内遊び場、託児室、リラックスルーム等を備えた公共エリアを4月に開所し、7月末までに2,000人を超える多くの市民・市民団体等に利用されたことにより、子育ての不安感・孤独感の解消を図りました。

子ども未来基金を活用し、市民、団体、企業などが主体的に行う子ども・子育て支援活動に対し、平成28年度は6件の助成を行い、平成29年度は10件の助成を行う予定としており、社会全体で子ども・子育てを支えるまちづくりの取組を推進しました。

一方で、「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合が平成28年度で24.0%となっており、子育て中の親が気軽に相談できる拠点づくりや、子どもの居場所作りの取組など、地域、民間団体、行政など多様な主体が連携した、社会で子育てを応援する取組の推進が必要です。

■ 今後の方向性

・ 待機児童解消への取組

今までは社会福祉法人等からの相談に応じながら、私立保育所等の新設や増改築等の整備を進めてきましたが、幼稚園へ認定こども園への移行の積極的な働きかけ、認可外保育所が地域型保育事業へ転換できるよう助言・指導を行うなど積極的に定員拡大に取り組んでいきます。

保育士の資格を取得した若い世代が、市内の保育施設に就労しやすいような補助制度の検討など、保育士の確保のための施策に取り組んでいきます。

・ 子育て世帯の孤立等による育児不安の解消

子育て応援プラザについて、公共エリアの利用促進を図るとともに、民間事業エリアの早期運営開始を支援し、公共エリアと民間事業エリアの相乗効果が得られる事業を推進します。また、子ども・子育て支援事業補助金の成果発表の場の活用や、ふるさと納税等活用により、子ども未来基金の更なる周知を図り、寄附が継続して寄せられる取組を推進します。

・ 市の子育て支援策の充実

医療費給付事業について、市民等から中学校卒業までの対象拡大、自己負担額の全額無料化及び現物給付方式を小学生まで拡大することについての要望があり、これらについて継続的に検討を行います。また、中学校卒業までの対象拡大、自己負担額の全額無料化については、継続的に多額な経費を要することから、平成28年度から実施している小学生の通院までの拡充による実績を見極めながら、検討を進めます。

医療費給付事業の現物給付方式については、未就学児及び妊産婦について県及び県内市町村が協議し、平成28年8月から実施しています。適用の拡大については、引き続き、県内市町村と連携を図り県に現物給付方式の導入を要請します。

国民健康保険療養費等国庫負担金の減額措置撤廃については、これまでも国に対しては、全国市長会、中核市市長会、県市長会を通じて要望を行っており、引き続き要望を行っていきます。

■ 重点事業の実績

(単位 千円)

重点事業	施策 番号	計画額	実績額	翌年度 繰越額
子ども未来基金造成事業	2	100,000	102,952	0
子育て世代包括支援センター事業	2	10,289	9,313	0
予防接種事業 (幼児・児童インフルエンザ予防接種補助事業 の拡充)	4	31,814	29,523	0
子ども・子育て支援事業計画推進事業	2	1,218	772	0
私立児童福祉施設整備助成事業	2	369,249	467,411	0
待機児童解消強化事業	2	7,215	6,051	0
特別保育事業 (延長保育実施施設の拡充)	2	120,265	103,894	0
私立児童福祉施設等運営事業 (保育士等の処遇改善)	2	122,790	89,287	0
認定こども園等運営費給付事業	2	1,144,923	1,545,001	0
地域児童クラブ等運営事業 (放課後児童クラブ整備費補助)	2	0	0	0
乳児家庭全戸訪問等事業	2	4,959	2,238	0
小児救急輪番制病院事業	2	154,182	27,740	0
夜間急患診療所管理運営事業	4	70,929	70,289	0
医療費給付事業 (妊産婦, 乳幼児, 小学生)	2	642,097	671,821	0
計		2,779,930	3,126,292	0

- ・ **私立児童福祉施設整備助成事業**
当初予算で予定していなかった整備助成が必要となり、実績額が大きくなりました。
- ・ **私立児童福祉施設等運営事業（保育士等の処遇改善）**
認定こども園に3園が移行したことにより、処遇改善に要する実績額が小さくなりました。
- ・ **認定こども園等運営費給付事業**
認定こども園3園の新設、人事院勧告に伴う公定価格の改定等により実績額が大きくなりました。
- ・ **乳児家庭全戸訪問等事業**
非常勤職員（1人）が確保できず、実績額は小さくなりました。

※平成 28 年 3 月補正（前倒し補正）により実施した事業

(単位 千円)

重点事業	施策 番号	計画額	28年度 実績額
子育て応援プラザ設置事業 (少子化対策(子育て支援)事業)	2	0	28,982
ワーク・ライフ・バランス推進事業	19	0	9,430
計			38,412

- ・ 子育て応援プラザ設置事業(少子化対策(子育て支援)事業)、ワーク・ライフ・バランス推進事業については、平成 28.3 月補正により、前倒しによる実施となりました。

きらり盛岡おでんせプロジェクト（取組期間：平成27年度～29年度）

歴史、自然、文化、先人、まち並みをはじめとする、本市の恵まれた観光資源を生かし、盛岡の魅力に触れ、満足してもらうため、新たな観光資源の開発や掘り起こし、ブラッシュアップを推進します。

また、北陸、北海道新幹線の開業による環境の変化に対応するとともに、更なる交流人口の増加と盛岡ファンづくりを推進します。

■ 指標の状況

指標項目	性 格	単 位	25年度 実績	26年度 実績	27年度 実績	28年度 実績	29年度 目標
観光客入込数	↑	万人 回	472	497	509	500	490
まちづくり評価アンケート調査「盛岡が好き」と答えた市民の割合	↑	%	78.0	68.7	77.7	78.5	79.4
地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」	↑	位	74	58	63	117	53

（要因分析）魅力度における盛岡市の順位の低下

指標は、民間シンクタンクが、認知度や情報接触度、地域資源に対する評価など25項目をアンケート調査した結果であります。当市の順位低下は、前回調査と比較すると、認知度や情報接触度、居住意欲度、産品購入意欲度の項目が順位を落としています。その要因は、「旅行やグルメのテレビ番組」、「旅行観光サイト」などの情報系の接触機会の低下等が考えられます。

なお、平成29年度は、62位と上昇しており、認知度や情報接触度、観光意欲度の項目がそれぞれ順位を上げていることによるものです。

■ 主な取組と課題（29年度の取組内容を含んでいます。）

・ M I C E 誘致への取組

M I C E 開催助成制度については、想定される団体の情報収集に努めた結果、平成28年度は18件の助成申請があり、同制度の活用による大会参加者数は、約17,000人となりました。今後においてもM I C E の誘致を図るため、利用しやすい制度の見直しや周知に努め、コンベンションシティとしての認知度を向上させる必要があります。

・ 盛岡ブランドの普及啓発

プロモーション動画を製作し、テレビCMや希望郷いわて国体の会場、youtube動画広告など、ターゲットの異なるメディアで掲出したことで、幅広い年齢層への普及啓発につながりました。しかしながら、盛岡ブランドのブランドイメージに関する市民・事業者の意識共有までには至っておらず、盛岡ブランドのイメージを分かりやすく伝える機会を増やす必要があります。

・ 魅力度向上の取組

テレビCMや希望郷いわて国体の会場、youtube動画広告など、ターゲットの異なるメディアを利用したことで、幅広い年齢層へ普及啓発を行いました。しかし、地域ブランド調査の魅力度における盛岡市の順位は、28年度に117位と後退しました。過去の傾向で見ると、魅力度と認知度、情報接触度及び観光意欲度は、強い相関関係にあることから、観光資源のブラッシュアップや、盛岡広域などエリアとして連携した取組の推進を行い、観光地としての認知度を向上させる必要があります。また、情報発信の手法や機会の設定再検討も課題に挙げられます。

・ 交流人口増加に向けた取組

観光客入込数は500万人回と、27年度に引き続き高い水準を維持できました。希望郷いわて国体・希望郷いわて大会で全国各地から来盛した方に盛岡の魅力を発信できたことが要因として考えられます。また、外国人観光客入込数は、1.4万人回（H27）から2.4万人回と、前年に比べ7割余り増加しました。今後においては、更なる外国人観光客の誘致促進に向けて、観光案内板などの多言語表記などの受入環境の整備を図るとともに、台湾やタイ等への積極的な海外プロモーションや多言語による情報発信など外国人観光客の誘致活動の強化を図り、外国人観光客に選ばれるまち・エリアを目指します。

■ 今後の方向性

- ・ 観光資源のブラッシュアップを図るとともに、盛岡市内に点在する観光スポットを有機的につなげる取組を行います。また、広域12市町の枠組みによる盛岡・八幡平広域観光推進協議会の活動を通じ、圏域の歴史や自然、文化、グルメなどテーマ別の広域観光ルートの提案等周遊型・滞在型観光を促進します。
- ・ 各種調査や地域経済分析システム（RESAS）などによる分析を行うとともに、SNSを活用した盛岡のホットな情報、観光客向けの地域行事や周遊コースを発信します。
- ・ 外国人観光客については、盛岡広域や東北六都市誘客ネットワーク等で連携し、様々な機会を捉え、積極的に台湾やタイ等への海外プロモーションを展開し、誘客促進を進めます。また、ホームページの多言語化などによる情報発信の強化を進めます。さらに、外国語表記によるインフォメーションについても順次対応します。
- ・ MICE誘致制度の周知について、もりおかMICE誘致推進機構と協働で産学官への周知を図ります。また、MICE推進機関が一堂に会して開催される国際ミーティング・エキスポにブース出展し、全国に周知を図ります。
- ・ 「盛岡ブランド確立事業」において、ブランドイメージを分かりやすく伝える情報発信に努めるとともに、各種媒体への情報発信の機会を増やすなど、盛岡ブランドに関する情報に市民や事業者の方が触れる頻度を増やします。また、盛岡の価値や魅力を特に訴求する相手方（ターゲット）を設定し広告宣伝の対象を明確にするとともに、様々な情報発信の手法の試行、検証等を通じて、盛岡と関わりがある人と連携するための情報発信の手法を確立します。

■ 重点事業の実績

(単位 千円)

重点事業	施策 番号	計画額	実績額	翌年度 繰越額
外国人観光客等受入環境整備・情報発信事業	24	0	9,314	0
盛岡デー等観光PR事業 (盛岡市の物産と観光展開催事業)	24	1,000	1,500	0
盛岡デー等観光PR事業 (盛岡デー開催事業)	24	2,600	2,600	0
盛岡ブランド確立事業	14	3,393	3,244	0
盛岡三大麺普及事業	22	795	795	0
盛岡デー等観光PR事業 (誘客重点市場・物産販路新規開拓調査事業)	24	1,000	1,000	0
盛岡デー等観光PR事業 (北海道新幹線開業による観光交流・誘客促進 事業)	24	1,537	1,544	0
盛岡デー等観光PR事業 (東北六都市連携による誘客・地域産品プロ モーション事業)	24	450	450	0
M I C E 誘致推進事業	24	24,000	16,946	0
計		34,775	37,393	0

・ 外国人観光客等受入環境整備・情報発信事業

海外でのプロモーション活動や外国人観光客の受入態勢の整備, 「東北観光復興対策交付金」を活用した海外発信用ホームページの作成等を補正予算により実施しました。

・ M I C E 誘致推進事業

コンベンション等の開催が多く行われる9から10月に「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」が開催され, 宿泊施設や会場の確保が難しかったため, 助成対象となるコンベンション等が開催されず, 実績額が小さくなりました。

いわて国体おもてなしプロジェクト（取組期間：平成27年度～28年度）

「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」に来盛する方々を「おもてなしの心」で温かく迎え、盛岡の魅力を全国に発信するとともに、すべての市民がスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康でいきいきと暮らすことができるまちづくりを推進しました。

また、ボランティアや市民協働による組織等が一体となって「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」を成功へと導きました。

■ 指標の状況

指標項目	性 格	単 位	25年度 実績	26年度 実績	27年度 実績	28年度 実績	29年度 目標
ボランティア登録者数	↑	人	—	148	2,016	2,096	2,000
まちづくり評価アンケート調査「週1回以上スポーツをしている」と答えた市民の割合	↑	%	31.1	28.8	28.9	27.3	47
地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」	↑	位	74	58	63	117	53

■ 主な取組

・ 大会の成功

多くの市民がボランティアで参加するなど、市民一丸となって全国から訪れる方々を心のこもったおもてなしでお迎えするとともに、特色ある地元の食材を紹介するなど盛岡の魅力を十分に全国にアピールすることができ、「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」が大成功に終わりました。

・ スポーツ環境等の整備

通年型スケートリンクであるみちのくコココーラボトリングリンクの新設により、冬季大会が円滑に実施されたほか、国体開催を契機に、太田テニスコート、盛岡タカヤアリーナの整備が推進され、スポーツ環境の向上が図られました。

また、盛岡駅東口の駅前広場（タクシープール側）の改善や、盛岡駅東口及び盛岡駅西口バス乗り場へのエレベーターの設置など、バリアフリー化が図られました。

■ 重点事業の実績

(単位 千円)

重点事業	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
国民体育大会開催事業	13	1,541,857	1,308,742	
市民運動総括事業	9	1,489	1,489	
国民体育大会開催関連スポーツ施設整備事業	13	232,628	241,058	
生涯スポーツ推進事業 (スポーツ・パル制度事業)	13	383	493	
盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業	13	1,476	3,984	
盛岡の食材プロモーション事業	21	3,688	3,688	
身近な暮らしを支える道路事業 (盛岡駅東口駅前広場整備事業)	26	28,000	42,467	18,820
公共交通利用促進対策事業 (盛岡駅西口バス乗り場整備事業)	27	8,000	1,106	6,894
都市公園整備事業 (木伏緑地施設改修整備事業)	26	45,000	44,517	
計		1,862,521	1,647,544	25,714

- ・ **国民体育大会開催事業 (希望郷いわて国体・希望郷いわて大会盛岡市実行委員会補助金)**
10競技14種目の大会運営に関し、会場の仮設及び撤去並びに管理業務委託等の契約差金等が生じたため事業費が小さくなりました。
- ・ **盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業**
ホストタウン第3次登録に向け、カナダ訪問、プロモーションビデオ製作など、新たな誘致活動を行ったことから、事業費が大きくなりました。
- ・ **身近な暮らしを支える道路事業 (盛岡駅東口駅前広場整備事業)**
横断歩道の設置等、整備内容の追加により、事業費が大きくなりました。

3 計画額と実績額の差が1億円以上となった主要事業

計画額との差が1億円以上となった主要事業と、その主な増減理由は、次のとおりです。

(単位 百万円)

基本目標 施策 主要事業名	計画額 A	実績額 B	増減額 B-A	主な増減理由
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 2 子ども・子育て、若者への支援 私立児童福祉施設等運営事業	5,234	5,093	△141	他市町村保育所委託児童数が見込みより減となったため。
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 2 子ども・子育て、若者への支援 小児救急輪番制病院事業	154	28	△126	特別交付税措置制度の改正による交付額の減少に伴い、事業規模を縮小したため。
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 3 高齢者福祉の充実 介護保険事業（施設整備）	528	383	△145	公募に応募する事業者が想定よりも少なく、補助金額が減少したため。
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 3 高齢者福祉の充実 介護保険事業（特別会計）	23,980	23,638	△342	介護サービス給付費が計画額を下回ったため。
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 4 健康づくり・医療の充実 国民健康保険事業（繰出金）	2,106	1,932	△174	国保税収納率向上等により国民健康保険特別会計への繰出金が計画額を下回ったため。
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 4 健康づくり・医療の充実 国民健康保険事業（特別会計）	31,649	31,059	△590	医療費が見込みより伸びず、保険給付費が計画額を下回ったため。
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 5 障がい者福祉の充実 介護給付等給付事業	2,727	2,832	105	利用実績が当初の見込より増加したため。
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 5 障がい者福祉の充実 訓練等給付事業	1,929	2,061	132	利用実績が当初の見込より増加したため。
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 6 生活困窮者への支援 生活保護事業	7,910	7,385	△525	生活保護基準の見直し及び稼働年齢層世帯の減により、被保護者数等が見込を下回ったため。
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 6 生活困窮者への支援 公営住宅整備事業	1,111	935	△176	社会資本整備総合交付金の内示額が予定を下回ったため。また、入札差金が発生したため。

(単位 百万円)

基本目標 施策 主要事業名	計画額 A	実績額 B	増減額 B-A	主な増減理由
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 8 安全・安心な暮らしの確保 盛岡地区広域消防組合負担 金事務	3,415	3,308	△107	消防吏員の人件費（共済費）及び各種契約差金等により減額となったため。
2 盛岡の魅力があふれるまちづくり 13 スポーツの推進 国民体育大会開催事業	1,550	1,316	△234	リハーサル大会や本大会の運営に関し、会場設営業務委託等の契約差金が生じたことから、国民体育大会盛岡市開催事業補助金が減額となったため。
3 人を育み未来につなぐまちづくり 17 子どもの教育の充実 中学校整備事業	717	1,045	328	国の補正予算を活用し、平成29年度実施事業を前倒ししたため。 (仙北中学校)
3 人を育み未来につなぐまちづくり 17 子どもの教育の充実 学校プール整備事業	13	273	260	国の補正予算を活用し、平成29年度実施事業を前倒ししたため。 (緑が丘小学校, 大宮中学校, 黒石野中学校)
4 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 身近な暮らしを支える道路 整備	2,110	1,366	△744	社会資本整備総合交付金の内示額が予定を下回ったため。
4 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 配水管整備事業	1,698	1,333	△365	入札不調に伴う工事の取り止めや他事業の計画変更に伴う工事の取り止め、施工規模の縮小などにより、事業費が減額になったため。
4 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 公共下水道改築更新事業	361	261	△100	国の社会資本整備総合交付金の交付額が当初の見込みを下回ったことに伴い、事業費を減額したため。
4 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 公共下水道雨水施設整備事業	789	906	117	近年多発している浸水被害軽減のため予算確保を図った事により事業費を増額したため。

(備考) 「実績額」は、平成29年度への繰越額を含む額を記載しています。

4 平成28年度完了事業

平成28年度をもって事業が完了した主要事業は、次のとおりです。

■ 事業自体が完了したもの（2事業）

(単位 百万円)

施策の柱 施策 主要事業名	事業内容	全 体 事 業 費	H28 実 績 額	備考 (繰越内訳 等)
2 盛岡の魅力があふれるまちづくり 13 スポーツの推進 国民体育大会開催事業	第71回国民体育大会の盛岡市開催競技等に係る開催事業補助金	1,872	1,316	
2 盛岡の魅力があふれるまちづくり 13 スポーツの推進 国民体育大会開催関連スポーツ施設整備事業	第71回国民体育大会の盛岡市開催競技等に係る開催関連施設の建設, 改修等			
アイスアリーナ改修事業	盛岡市アイスアリーナを通年アリーナにするため, アリーナ床の改修工事及び新プロリーグ規格に適合したバスケットボール用ゴール等の備品購入	363	177	
総合プール整備事業	メインプールに係るボイラーの更新, 可動床関連修繕, 空調設備関係修繕, 高飛込プールの飛込台マットの更新等	108	60	
南公園球技場整備事業	屋根避雷設備修繕及び移動式得点盤故障修繕, サッカーゴール等の備品購入	9	4	

■ 事業は継続するが、構成事業が完了したもの（7事業）

(単位 百万円)

施策の柱 施策 主要事業名	事業内容	全 体 事 業 費	H28 実 績 額	備考 (繰越内訳 等)
3 人を育み未来につなぐまちづくり 17 子どもの教育の充実 小学校整備事業				
向中野小学校増築	向中野小学校増築 (鉄筋コンクリート造3階建校舎増築, 既存昇降口の増築)	505	243	

(単位 百万円)

施策の柱 施策 主要事業名	事業内容	全体 事業費	H28 実績額	備考 (繰越内訳 等)
3 人を育み未来につなぐまちづくり 18 生涯学習の推進 社会教育施設整備事業				
(仮称) 見前南地区 区公民館	(仮称) 盛岡市見前南地区公民館 建築工事	345	303	
4 人が集い活力を生むまちづくり 21 農林業の振興 農業基盤整備事業				
かんがい排水事業 (好摩地区)	用排水路の整備	15	4	
4 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 身近な暮らしを支える 道路整備				
南大通一丁目5号 線	中ノ橋通一丁目八幡町線から盛岡 劇場前を結ぶ市道の歩行者通行帯 を色分けや融雪装置により整備 延長 165m 幅員 9m	120	82	道路改良工 事等
芋田線	好摩地区から芋田地区、姫神地区 を結ぶ幹線道路の歩道整備 延長 450m	118	7	
4 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 公園等維持管理事業				
総合公園等整備事 業 (その他)	木伏緑地の施設改修 (花壇, 遊歩道, 樹木整備)	74	45	
4 人が集い活力を生むまちづくり 27 交通環境の構築 公共交通利用促進対 策事業(整備関連)				
盛岡駅西口バス乗 場整備	盛岡駅西口交通広場のバス乗り場 整備及びエレベーター整備	108	8	バス乗り場 連絡路舗装 工事

- (備考) 1 全体事業費及び実績額ともに、四捨五入しています。
2 全体事業費及び実績額が 100万円未満の場合は、切り上げています。
3 「実績額」は、平成29年度への繰越額を含む額を記載しています。
4 平成29年度へ繰越す事業についても、28年度の完了事業扱いとします。

5 自治体経営の取組

自治体経営の取組では、盛岡市総合計画の基本構想に掲げる「目指す将来像」の実現に向け、4つの自治体経営の理念のもと、5つの方針を定め、必要な取組を推進しています。

また、取組の推進に当たっては、まちづくりの取組と同様に指標を設定し、目標を定めて進捗を図っています。

方針1 市民参画や協働によるまちづくり

市民、町内会・自治会、NPO、企業、行政といったさまざまな主体がそれぞれの特性をいかし、連携・役割分担しながら市民参画や協働によるまちづくりに取り組みました。

■ 主な取組、指標の状況

推進項目Ⅰ 協働の環境整備																					
取組名		主な取組内容																			
協働推進のための仕組みづくり		平成27年度に策定した「第2次盛岡市地域協働推進計画」に基づき、地域担当職員を配置したほか、市民協働推進センターを6公民館に設置しました。																			
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移																		
市民協働による事業の件数	↑	件	<table border="1"> <caption>市民協働による事業の件数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>233</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>226</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>232</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>260</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>280</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	233	-	H27	226	-	H28	232	-	H31	-	260	H36	-	280
年度	実績値	目標値																			
当初値	233	-																			
H27	226	-																			
H28	232	-																			
H31	-	260																			
H36	-	280																			

推進項目Ⅱ 公民連携の推進																					
取組名		主な取組内容																			
民間委託、指定管理者制度等の活用		全229施設において指定管理者制度による管理運営を行いました。また、民間委託については、可燃ごみ収集車3台の委託を実施しました。																			
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移																		
公の施設に対する指定管理者制度導入率*	→	%	<table border="1"> <caption>公の施設に対する指定管理者制度導入率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>61.6</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>61.5</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>61.6</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>61.6</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>61.6</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	61.6	-	H27	61.5	-	H28	61.6	-	H31	-	61.6	H36	-	61.6
年度	実績値	目標値																			
当初値	61.6	-																			
H27	61.5	-																			
H28	61.6	-																			
H31	-	61.6																			
H36	-	61.6																			

* 28年度に公の施設の集計方法を見直し、開発行為等により整備される街区公園を1としたため、当初値及び目標値を変更しています。

推進項目Ⅲ 広聴機能の充実																																							
取組名		主な取組内容																																					
市民ニーズの積極的な把握		まちづくり懇談会の開催，市民の提案箱等による市民ニーズの把握のほか，パブリックコメント制度及びパブリックインボルブメント制度の活用による政策形成過程における公正の確保と透明性の向上に努めました。																																					
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移																																				
まちづくり評価アンケート調査「市民意見が市政に反映されている」と答えた市民の割合	↑	%	<table border="1"> <caption>目標値・実績値の推移 (指標: 市民意見が市政に反映されている)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>21.4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>24.7</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>17.9</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>30.0</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H33</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H34</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H35</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>40.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値 (%)	目標値 (%)	当初値	21.4	-	H27	24.7	-	H28	17.9	-	H29	-	-	H30	-	-	H31	-	30.0	H32	-	-	H33	-	-	H34	-	-	H35	-	-	H36	-	40.0
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																																					
当初値	21.4	-																																					
H27	24.7	-																																					
H28	17.9	-																																					
H29	-	-																																					
H30	-	-																																					
H31	-	30.0																																					
H32	-	-																																					
H33	-	-																																					
H34	-	-																																					
H35	-	-																																					
H36	-	40.0																																					

推進項目Ⅳ 分かりやすい行政情報の提供																																							
取組名		主な取組内容																																					
伝わる情報提供の推進		「広報もりおか」の発行，公式ホームページ，ツイッター，フェイスブック及びラジオ放送などを活用し，市政広報を行いました。また，職員の意識向上を図るため，パブリシティ研修，ホームページ作成研修等を実施しました。																																					
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移																																				
まちづくり評価アンケート調査「「広報もりおか」をいつも読んでいます」と答えた市民の割合	↑	%	<table border="1"> <caption>目標値・実績値の推移 (指標: 「広報もりおか」をいつも読んでいます)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>50.1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>50.3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>48.2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>60.0</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H33</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H34</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H35</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>60.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値 (%)	目標値 (%)	当初値	50.1	-	H27	50.3	-	H28	48.2	-	H29	-	-	H30	-	-	H31	-	60.0	H32	-	-	H33	-	-	H34	-	-	H35	-	-	H36	-	60.0
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																																					
当初値	50.1	-																																					
H27	50.3	-																																					
H28	48.2	-																																					
H29	-	-																																					
H30	-	-																																					
H31	-	60.0																																					
H32	-	-																																					
H33	-	-																																					
H34	-	-																																					
H35	-	-																																					
H36	-	60.0																																					
盛岡市公式ホームページのページ内アンケートで問題点があると回答した数*	↓	件	<table border="1"> <caption>目標値・実績値の推移 (指標: ページ内アンケートで問題点があると回答した数)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (件)</th> <th>目標値 (件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>2,670</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>2,670</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>2,670</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>2,555</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H33</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H34</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H35</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>2,270</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値 (件)	目標値 (件)	当初値	2,670	-	H27	2,670	-	H28	2,670	-	H29	-	-	H30	-	-	H31	-	2,555	H32	-	-	H33	-	-	H34	-	-	H35	-	-	H36	-	2,270
年度	実績値 (件)	目標値 (件)																																					
当初値	2,670	-																																					
H27	2,670	-																																					
H28	2,670	-																																					
H29	-	-																																					
H30	-	-																																					
H31	-	2,555																																					
H32	-	-																																					
H33	-	-																																					
H34	-	-																																					
H35	-	-																																					
H36	-	2,270																																					

* 28年度に指標を「盛岡市公式ホームページのトップページのアクセス数」から「盛岡市公式ホームページのページ内アンケートで問題点があると回答した数」に変更しています。28年9月1日のホームページのリニューアルから集計を開始しているため，当初値，実績値及び目標値については，29年度に把握・設定しました。

方針2 経営資源配分の最適化

行政評価システムの活用やアセットマネジメントの推進により、限られた経営資源配分の最適化を図るとともに、常に仕事の進め方を見直し、事務改善を進めることにより、低コストで高品質なサービスの提供に努めました。

■ 主な取組, 指標の状況

推進項目Ⅰ 予算配分の最適化			
取組名		主な取組内容	
行政評価システムの運用・改善		29の施策及び90の小施策を対象とした事後評価や、3つの「戦略プロジェクト」をの事中評価、平成29年度の新たな取組に対する事前評価を実施しました。	
予算編成方法の改善		「戦略プロジェクト」の推進を図るため、従来の施策別に重点化を行う予算編成方法を見直すこととしました。見直しの一環として29年度の当初予算編成においては、事務事業単位の予算査定を実施し、経費の総点検を行いました。	
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移
小施策評価における改革改善案の実施率*	↑	%	

* 27年度に新しく設定した指標です。当初値は、29年度中に把握します。

推進項目Ⅱ アセットマネジメントの推進			
取組名		主な取組内容	
公共施設保有の最適化と長寿命化（建築物系施設）		平成28年3月に策定した「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」及び「同実施計画」の取組を推進しました。	
公有財産の適正管理		財産台帳の整備を進めたほか、庁舎については、老朽化や社会環境の変化に対応した機能の維持・向上に努めました。	
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移
施設保有量の適正化（人口一人当たりの公共施設延べ床面積）	↓	m ²	

推進項目Ⅲ 事務改善の推進

取組名			主な取組内容																		
業務プロセス・手段の改善			第7回業務改革改善事例発表会を開催しました。																		
窓口サービスの向上の推進			職員接遇セルフチェック、窓口利用者アンケートの実施・評価を行いました。また、接遇マイスターを中心とした職場接遇研修を行いました。																		
証明書等コンビニ交付サービスの導入			マイナンバーカードを活用する証明書コンビニ交付サービスの開始に向けて、システム構築仕様の準備を行いました。																		
電子市役所の構築			総合型GISによる市内の地理情報の利活用に係る支援を実施するとともに公開データの更新を行いました。																		
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移																		
職員アンケート調査「この一年間に自らの業務の改善に取り組んだ」と答えた職員の割合	↑	%	<table border="1"> <caption>職員アンケート調査「この一年間に自らの業務の改善に取り組んだ」と答えた職員の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>50.1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>50.1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>59.9</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値 (%)	目標値 (%)	当初値	50.1	-	H27	50.1	-	H28	59.9	-	H31	-	80.0	H36	-	100.0
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																			
当初値	50.1	-																			
H27	50.1	-																			
H28	59.9	-																			
H31	-	80.0																			
H36	-	100.0																			
窓口利用者アンケート調査「職員の対応が満足」と答えた市民の割合	→	%	<table border="1"> <caption>窓口利用者アンケート調査「職員の対応が満足」と答えた市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>95.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>94.8</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>98.8</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>95.0</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>95.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値 (%)	目標値 (%)	当初値	95.0	-	H27	94.8	-	H28	98.8	-	H31	-	95.0	H36	-	95.0
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																			
当初値	95.0	-																			
H27	94.8	-																			
H28	98.8	-																			
H31	-	95.0																			
H36	-	95.0																			
窓口利用者アンケート調査「窓口が便利」と答えた市民の割合	→	%	<table border="1"> <caption>窓口利用者アンケート調査「窓口が便利」と答えた市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>95.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>91.2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>96.9</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>95.0</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>95.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値 (%)	目標値 (%)	当初値	95.0	-	H27	91.2	-	H28	96.9	-	H31	-	95.0	H36	-	95.0
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																			
当初値	95.0	-																			
H27	91.2	-																			
H28	96.9	-																			
H31	-	95.0																			
H36	-	95.0																			

方針3 健全な財政運営の実現

自治体経営の基本である「最少の経費で最大の効果」を念頭に置きながら、歳入確保の強化、徹底した歳出の見直しにより、中長期にわたり計画的な収支のバランスを図った健全な財政運営を行いました。

■ 主な取組、指標の状況

推進項目Ⅰ 将来負担を意識した財政運営																					
取組名		主な取組内容																			
財政指標の目標管理		市債を財源とする事業及び借入額を精査し、「実質公債費比率」及び「将来負担比率」の適正化の持続に努めました。																			
市債残高の縮減		市債を財源とする事業及び借入額を精査し、臨時財政対策債を除き予算総額の8%以内かつ元金償還額以内とするよう努めました。																			
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移																		
実質公債費比率	→	%	<table border="1"> <caption>実質公債費比率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>12.6</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>10.4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>9.6</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>14.0以下</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>14.0以下</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	12.6	-	H27	10.4	-	H28	9.6	-	H31	-	14.0以下	H36	-	14.0以下
年度	実績値	目標値																			
当初値	12.6	-																			
H27	10.4	-																			
H28	9.6	-																			
H31	-	14.0以下																			
H36	-	14.0以下																			
将来負担比率	→	%	<table border="1"> <caption>将来負担比率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>89.4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>73.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>68.6</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>149.4以下</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>149.4以下</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	89.4	-	H27	73.0	-	H28	68.6	-	H31	-	149.4以下	H36	-	149.4以下
年度	実績値	目標値																			
当初値	89.4	-																			
H27	73.0	-																			
H28	68.6	-																			
H31	-	149.4以下																			
H36	-	149.4以下																			
予算総額に対する新規市債発行額(臨時財政対策債を除く)の割合	→	%	<table border="1"> <caption>予算総額に対する新規市債発行額の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>5.4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>7.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>6.2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>8.0以内</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>8.0以内</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	5.4	-	H27	7.0	-	H28	6.2	-	H31	-	8.0以内	H36	-	8.0以内
年度	実績値	目標値																			
当初値	5.4	-																			
H27	7.0	-																			
H28	6.2	-																			
H31	-	8.0以内																			
H36	-	8.0以内																			
元金償還額に対する新規市債発行額の割合	→	%	<table border="1"> <caption>元金償還額に対する新規市債発行額の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>92.9</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>110.7</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>104.3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>100.0以内</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>100.0以内</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	92.9	-	H27	110.7	-	H28	104.3	-	H31	-	100.0以内	H36	-	100.0以内
年度	実績値	目標値																			
当初値	92.9	-																			
H27	110.7	-																			
H28	104.3	-																			
H31	-	100.0以内																			
H36	-	100.0以内																			

推進項目Ⅱ 自主財源の確保																		
取組名		主な取組内容																
収納率向上対策 (市税)		郵便局窓口納付を，平成28年4月から東北地区の郵便局で納付できるように実施しました。																
収納率向上対策 (国民健康保険税)																		
収納率向上対策 (保育料)		納付相談の実施や，夜間・休日催告の強化，口座振替促進の取組及びコンビニエンスストア収納等の納付機会拡大を実施しました。																
収納率向上対策 (住宅使用料)																		
未利用財産の有効活用		未利用市有地，保留地の売却処分，貸付等の業務のほか，大規模画地の処分に向けて，関係団体等からの情報収集や営業活動を行いました。																
使用料・手数料の見直し		使用料については，適正な受益者負担に主眼を置いた見直しの検討を全庁的に実施し，それぞれの施設の持つ特性及び使用料を見直した場合の影響等を考慮し，2施設において，使用料の見直しを行いました。																
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移															
収納率(市税)	↑	%	<table border="1"> <caption>収納率(市税)の推移</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>94.3</td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td>95.9</td><td>H31目標値(96.0)</td></tr> <tr><td>H28</td><td>96.9</td><td></td></tr> <tr><td>H36</td><td></td><td>H36目標値(98.0)</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	94.3		H27	95.9	H31目標値(96.0)	H28	96.9		H36		H36目標値(98.0)
年度	実績値	目標値																
当初値	94.3																	
H27	95.9	H31目標値(96.0)																
H28	96.9																	
H36		H36目標値(98.0)																
収納率(国民健康保険税)	↑	%	<table border="1"> <caption>収納率(国民健康保険税)の推移</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>86.6</td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td>88.5</td><td>H31目標値(89.5)</td></tr> <tr><td>H28</td><td>89.7</td><td></td></tr> <tr><td>H36</td><td></td><td>H36目標値(92.0)</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	86.6		H27	88.5	H31目標値(89.5)	H28	89.7		H36		H36目標値(92.0)
年度	実績値	目標値																
当初値	86.6																	
H27	88.5	H31目標値(89.5)																
H28	89.7																	
H36		H36目標値(92.0)																
収納率(保育料)	↑	%	<table border="1"> <caption>収納率(保育料)の推移</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>92.0</td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td>92.0</td><td>H31目標値(95.8)</td></tr> <tr><td>H28</td><td>92.7</td><td></td></tr> <tr><td>H36</td><td></td><td>H36目標値(97.7)</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	92.0		H27	92.0	H31目標値(95.8)	H28	92.7		H36		H36目標値(97.7)
年度	実績値	目標値																
当初値	92.0																	
H27	92.0	H31目標値(95.8)																
H28	92.7																	
H36		H36目標値(97.7)																
収納率(住宅使用料)	↑	%	<table border="1"> <caption>収納率(住宅使用料)の推移</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>73.0</td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td>83.3</td><td>H31目標値(75.5)</td></tr> <tr><td>H28</td><td>86.8</td><td></td></tr> <tr><td>H36</td><td></td><td>H36目標値(78.0)</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	73.0		H27	83.3	H31目標値(75.5)	H28	86.8		H36		H36目標値(78.0)
年度	実績値	目標値																
当初値	73.0																	
H27	83.3	H31目標値(75.5)																
H28	86.8																	
H36		H36目標値(78.0)																
未利用財産の処分・活用額(5年ごとの累計額)	→	百万円	<table border="1"> <caption>未利用財産の処分・活用額の推移</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値</td><td>3,282</td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td>277</td><td>H31目標値(1,870)</td></tr> <tr><td>H28</td><td>773</td><td></td></tr> <tr><td>H36</td><td></td><td>H36目標値(1,620)</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	3,282		H27	277	H31目標値(1,870)	H28	773		H36		H36目標値(1,620)
年度	実績値	目標値																
当初値	3,282																	
H27	277	H31目標値(1,870)																
H28	773																	
H36		H36目標値(1,620)																

推進項目Ⅲ 出資等法人の健全経営の確保			
取組名		主な取組内容	
経営状況調査の実施・公表		市の出資等割合が法人の出資等額全体の概ね4分の1以上を占める18法人を対象に経営状況調査を実施し、取りまとめ結果を市ホームページで公表しました。	
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移
繰越損益(正味財産期末残高)の赤字団体数	↓	団体	<p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>

推進項目Ⅳ 地方公営企業の経営の効率化及び健全化			
取組名		主な取組内容	
水道事業基本計画の推進		水道料金の見直しを行うため、先進事業体への視察を行うなど、安定した財源確保と負担の公平性を考慮した適正な料金水準の検討を進め、平成29年4月1日適用の料金改定を行いました。また、上水道施設の長寿命化のための個別施設計画を策定しました。	
下水道事業の経営計画の推進		27年3月に策定した「下水道事業中長期経営計画」を29年3月に見直し、新たに農業集落排水事業と浄化槽事業、個別施設計画を追加する内容で改訂を行いました。	
病院事業の経営改善計画の推進		「盛岡市立病院第3次経営改善計画」に基づき、地域包括ケア病棟の増床を図るなど、高齢社会で求められる役割に対応し、他医療機関との連携のもと地域医療を推進するなどの取組を行いました。	
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移
純資本利益率(上水道)*	↑	%	<p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>
自己資本構成比率(上水道)	↑	%	<p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>
経費回収率(下水道)	↑	%	<p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>
純損益(病院)	↑	百万円	<p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>
経常収支比率(病院)	↑	%	<p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>

* 26年度決算から新会計制度に移行したため、25年度と27年度以降では計算方法が異なります。

方針4 信頼される市政の確立

組織目標の着実な達成を可能とする組織力の向上を中心とした組織マネジメントを推進するなど、持続可能なまちづくりを支えるとともに、公務員としての資質の向上及び公務員倫理に関する意識の高揚を図るなど、職員の公正な職務の遂行を徹底し、市民に信頼される市政の確立に努めました。

■ 主な取組、指標の状況

推進項目Ⅰ 組織・人事の適正化																																							
取組名		主な取組内容																																					
組織機構の見直し		重要課題への取組として、行政経営課の業務を事務移管の上、企画調整課へ統合したほか、子ども未来課を再編し、子ども未来課と子育てあんしん課の2課体制とし、子育て世代包括支援センターを新設したほか、商工観光部の課を再編し、経済企画課、ものづくり推進課及び観光交流課を新設し、新たな行政課題や多様化する行政ニーズに対応した組織機構の見直しを行いました。																																					
定員の適正化		組織統合や事務の効率化、民間委託等の推進による定数削減に取り組んだほか、施策推進に向けた組織体制の整備や、被災自治体支援のための職員派遣に係る体制整備などに必要な職員を配置しました。																																					
職員給与の適正化		地方公務員法の改正に伴う人事評価制度を実施し、能力評価及び業績評価による人事評価を行いました。																																					
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移																																				
市民千人当たりの職員数 (一般行政職)	↓	人	<table border="1"> <caption>市民千人当たりの職員数 (一般行政職) の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>3.8</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>4.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>4.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>4.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>4.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>4.0</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H33</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H34</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H35</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>3.6</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	3.8	-	H27	4.0	-	H28	4.0	-	H29	4.0	-	H30	4.0	-	H31	4.0	3.7	H32	-	-	H33	-	-	H34	-	-	H35	-	-	H36	-	3.6
年度	実績値	目標値																																					
当初値	3.8	-																																					
H27	4.0	-																																					
H28	4.0	-																																					
H29	4.0	-																																					
H30	4.0	-																																					
H31	4.0	3.7																																					
H32	-	-																																					
H33	-	-																																					
H34	-	-																																					
H35	-	-																																					
H36	-	3.6																																					

推進項目Ⅱ 職員人材育成の推進																																							
取組名		主な取組内容																																					
「人を活かす人事システム」の運用		地方公務員法の改正に伴う人事評価制度を実施し、能力評価及び業績評価による人事評価を行いました。																																					
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移																																				
研修参加率	↑	%	<table border="1"> <caption>研修参加率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>83.8</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>87.4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>91.6</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>91.6</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>91.6</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>91.6</td> <td>87.0</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H33</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H34</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H35</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>90.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	83.8	-	H27	87.4	-	H28	91.6	-	H29	91.6	-	H30	91.6	-	H31	91.6	87.0	H32	-	-	H33	-	-	H34	-	-	H35	-	-	H36	-	90.0
年度	実績値	目標値																																					
当初値	83.8	-																																					
H27	87.4	-																																					
H28	91.6	-																																					
H29	91.6	-																																					
H30	91.6	-																																					
H31	91.6	87.0																																					
H32	-	-																																					
H33	-	-																																					
H34	-	-																																					
H35	-	-																																					
H36	-	90.0																																					
研修内容が有益だと感じた職員の割合	↑	%	<table border="1"> <caption>研修内容が有益だと感じた職員の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>98.7</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>97.7</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>98.1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>98.1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>98.1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>98.1</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H33</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H34</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H35</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	98.7	-	H27	97.7	-	H28	98.1	-	H29	98.1	-	H30	98.1	-	H31	98.1	100.0	H32	-	-	H33	-	-	H34	-	-	H35	-	-	H36	-	100.0
年度	実績値	目標値																																					
当初値	98.7	-																																					
H27	97.7	-																																					
H28	98.1	-																																					
H29	98.1	-																																					
H30	98.1	-																																					
H31	98.1	100.0																																					
H32	-	-																																					
H33	-	-																																					
H34	-	-																																					
H35	-	-																																					
H36	-	100.0																																					

推進項目Ⅲ 公正な行政事務の確保																																							
取組名		主な取組内容																																					
公務員倫理，法令遵守及び公正な職務執行に関する職員の意識の徹底		新採用職員，中級職員，管理職等をそれぞれ対象としたコンプライアンス研修を実施したほか，月1回以上の職場におけるサービスミーティングを実施しました。																																					
内部監査の充実・強化		監査専門員の任用を引き続き行い，特に，企業会計の決算審査意見書については公認会計士としての視点での助言も参考とし作成しました。また，定期監査においては，5つの重点項目を中心に優先度を勘案した監査を実施しました。																																					
外部監査の活用		「水道事業に係る財務事務の執行及び管理の状況について」を監査テーマとして実施し，監査結果及び意見に対して措置計画を策定しました。また，過去に策定した措置計画に基づき措置を講ずるなど，行政経営の効率化に努めました。																																					
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移																																				
まちづくり評価アンケート調査「市の職員は責任を持って仕事に取り組んでいる」と答えた市民の割合	↑	%	<table border="1"> <caption>指標1: まちづくり評価アンケート調査「市の職員は責任を持って仕事に取り組んでいる」と答えた市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>49.2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>49.7</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>44.8</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>60.0</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H33</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H34</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H35</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>70.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	49.2	-	H27	49.7	-	H28	44.8	-	H29	-	-	H30	-	-	H31	-	60.0	H32	-	-	H33	-	-	H34	-	-	H35	-	-	H36	-	70.0
年度	実績値	目標値																																					
当初値	49.2	-																																					
H27	49.7	-																																					
H28	44.8	-																																					
H29	-	-																																					
H30	-	-																																					
H31	-	60.0																																					
H32	-	-																																					
H33	-	-																																					
H34	-	-																																					
H35	-	-																																					
H36	-	70.0																																					
包括外部監査結果に対する措置計画に基づいて措置した割合(過去5年間において)	↑	%	<table border="1"> <caption>指標2: 包括外部監査結果に対する措置計画に基づいて措置した割合(過去5年間において)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>92.5</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>87.3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>91.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>94.0</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H33</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H34</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H35</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>95.5</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	92.5	-	H27	87.3	-	H28	91.0	-	H29	-	-	H30	-	-	H31	-	94.0	H32	-	-	H33	-	-	H34	-	-	H35	-	-	H36	-	95.5
年度	実績値	目標値																																					
当初値	92.5	-																																					
H27	87.3	-																																					
H28	91.0	-																																					
H29	-	-																																					
H30	-	-																																					
H31	-	94.0																																					
H32	-	-																																					
H33	-	-																																					
H34	-	-																																					
H35	-	-																																					
H36	-	95.5																																					

方針5 自律した経営の推進

他の自治体との連携や相互協力のもとに、自律した経営を推進しました。

■ 主な取組、指標の状況

推進項目Ⅰ 地方分権の推進																																							
取組名		主な取組内容																																					
権限移譲の推進		建築基準法に係る建築審査会委員の任期設定について権限移譲を受けました。また、全国市長会等を通じて、要望活動等を行いました。																																					
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移																																				
平成23年度以降の国・県からの移譲事務数	↑	事務	<table border="1"> <caption>目標値・実績値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>77</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>80</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>81</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H33</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H34</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H35</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>117</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	77	-	H27	80	-	H28	81	-	H29	-	-	H30	-	-	H31	-	97	H32	-	-	H33	-	-	H34	-	-	H35	-	-	H36	-	117
年度	実績値	目標値																																					
当初値	77	-																																					
H27	80	-																																					
H28	81	-																																					
H29	-	-																																					
H30	-	-																																					
H31	-	97																																					
H32	-	-																																					
H33	-	-																																					
H34	-	-																																					
H35	-	-																																					
H36	-	117																																					

推進項目Ⅱ 他の自治体との連携の推進																																							
取組名		主な取組内容																																					
自治体連携の推進		みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンに掲載されている事業の進捗を図ったほか、成果指標の見直し等の改訂を行いました。																																					
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移																																				
自治体連携により新たな課題に取り組むため協議会等の設置数	↑	協議会	<table border="1"> <caption>目標値・実績値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H33</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H34</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H35</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	2	-	H27	1	-	H28	1	-	H29	-	-	H30	-	-	H31	-	7	H32	-	-	H33	-	-	H34	-	-	H35	-	-	H36	-	12
年度	実績値	目標値																																					
当初値	2	-																																					
H27	1	-																																					
H28	1	-																																					
H29	-	-																																					
H30	-	-																																					
H31	-	7																																					
H32	-	-																																					
H33	-	-																																					
H34	-	-																																					
H35	-	-																																					
H36	-	12																																					